令和二年度 四日市市 三重大学 共同研究

南島組感應丸一隻実測調査報告書

目 次

概要

01 …… 調査概要
02 …… 組立概略図・部材表　①船体
03 …… 組立概略図・部材表　②船体
04 …… 組立概略図・部材表　③艫
05 …… 組立概略図・部材表　④屋形

船体

06 …… 船体 - 平面図
07 …… 船体 - 台車見上平面図
08 …… 船体 - 桁行断面図
09 …… 船体 - 梁間断面図
10 …… 船体 - 立面図

① 船体に設置する部材 1

11 …… ①船体 - 横幕・波幕
12 …… ①船体 - 横幕おさえ（前後）
13 …… ①船体 - 差板（前後）
14 …… ①船体 - 寄掛かり装飾板・横幕おさえ（後端）
15 …… ①船体 - 水押後
16 …… ①船体 - ブンダイ・波幕

② 船体に設置する部材 2

17 …… ②船体 - 下貫木・銛もたせの芯棒
18 …… ②船体 - コベリ
19 …… ②船体 - 馬乗立・馬乗立と水押の繋材
20 …… ②船体 - 五尺（左下）
21 …… ②船体 - 五尺（右下）
22 …… ②船体 - 五尺（左上）
23 …… ②船体 - 五尺（右上）
24 …… ②船体 - 銛もたせ
25 …… ②船体 - 水押
26 …… ②船体 - 水押の竜彫刻
27 …… ②船体 - 水押御紋・水押サガリ
28 …… ②船体 - 銛もたせに設置するモリ・トドメノモリ
29 …… ②船体 - 櫓

③ 艫を構成する部材

30 …… ③艫 - 艫立柱
31 …… ③艫 - 艫立の飾り彫刻
32 …… ③艫 - 艫立
33 …… ③艫 - 扁額

④ 屋形を構成する部材

34 …… ④屋形 - 屋根伏図・天井伏図
35 …… ④屋形 - 立面図
36 …… ④屋形 - 断面図
37 …… ④屋形 - 柱
38 …… ④屋形 - 無目鴨居
39 …… ④屋形 - 欄間（左右下）
40 …… ④屋形 - 欄間（前後下）
41 …… ④屋形 - 欄間（上）
42 …… ④屋形 - 虹梁
43 …… ④屋形 - 棟木・棟木下の梁
44 …… ④屋形 - 屋根・苫
45 …… ④屋形 - 庇（左右）
46 …… ④屋形 - 庇（前後）・苫
47 …… ④屋形 - 破風板
48 …… ④屋形 - 破風壁（前）
49 …… ④屋形 - 破風壁（後）
50 …… ④屋形 - 隅棟彫刻（左前）・隅木
51 …… ④屋形 - 隅棟彫刻（他）
52 …… ④屋形 - 大棟
53 …… ④屋形 - 横幕

⑤ その他の部材

54 …… ⑤付属 - 団扇・サンパライ・銛
55 …… ⑤付属 - 番傘・梵天（板）
56 …… ⑤付属 - 旗・吹流し
57 …… ⑤付属 - 太鼓・提灯
58 …… 鯨ハリボテ

（1）調査参加者

本研究は、四日市市と三重大学との共同研究（令和二年度）である。担当者及び研究者は以下の通りである。

四日市市
堀越光信（四日市市教育委員会社会教育・文化財課　主事・学芸員）
三厨浩希（四日市市教育委員会社会教育・文化財課）

三重大学：実測および作図
研究代表者：大井隆弘（三重大学大学院工学研究科建築学専攻　助教）
研究協力者：菅原洋一（三重大学　名誉教授）
研究補助者：荒木菜月海、大河原剛、荻野真雪、中島宏徳（大学院生）
小川聖平、竹本調、谷口賛（学部生）

（2）日程

実測調査：令和 2 年 7 月 17 日（金）～令和 2 年 7 月 19 日（火）
令和 2 年 9 月 26 日（土）～令和 2 年 9 月 28 日（月）
図化作業：令和 2 年 7 月～令和 3 年 2 月

場所
実測調査：南島組感應丸鯨船格納庫前
（三重県四日市市東富田町 17-12）
作図　　：三重大学総合工学科建築学コース（4 号棟）等
（三重県津市栗真町屋町 1577）

（3）調査方法

調査は以下 4 つの方法によって実施した。

調査①　パーツの取り外し
パーツの取り外しの様子を動画撮影し記録した。また、取外したパーツは、『北勢鯨船行事調査報告書』（四日市市教育委員会 ,2002）所収の古川町の実測調査記録及び令和元年度の共同研究『北嶋組神社丸一隻実測調査報告書』（四日市市教育委員会 , 三重大学 ,2020）を参照し、整理番号としてナンバリングを行った上でビニールシート上に整列した。なお、動画撮影は、一眼レフカメラ（Nikon D3300）を使用している。

調査②　撮影記録
鯨船格納庫側面に模造紙を貼り付けて背景とし、パーツ各面を正面から撮影した。撮影は、一眼レフカメラ（Canon EOSm6）を使用した。

調査③　実測 A：輪郭の把握
特に曲面のあるパーツを対象として、原寸で輪郭を確認した。輪郭は、模造紙（50mm 方眼）上にパーツを置き、画用紙で保護した上でなぞって確認している。複数面に彫刻が施されたパーツは適宜厚手のスポンジで保護して進めた。また、輪郭をなぞることが困難なパーツは、部分的に点で位置をおさえた。なお、布や縄類、台船本体はこの調査を省略している。輪郭図も撮影の上記録を残している。

調査④　実測 B：野帳図による記録
調査②による写真データを印刷し、必要に応じて野帳図として各部寸法を記録した。形状が単純なパーツについては、方眼紙（5mm）を用いて野帳図を作成した。船体については、レーザー水平器を用いて台車部分の水平を確保して計測を行った。

（4）　図化作業

アドビ･イラストレータを使用してパソコン上で図化作業を行った。彫刻などの複雑な部分は、調査②の写真を下敷きとして図像をトレースし、輪郭図および野帳図の寸法に整合させた。図中には、下記の凡例の通り、実測寸法と仕上げ、色、木材以外の材料、墨書等の内容を加えている。

数字：寸法（mm）を示す
彩色（色）：表面の色を示す
墨書「表記内容」：墨書の内容を示す
油性ペン「表記内容」：主に油性ペンによる表記の内容を示す

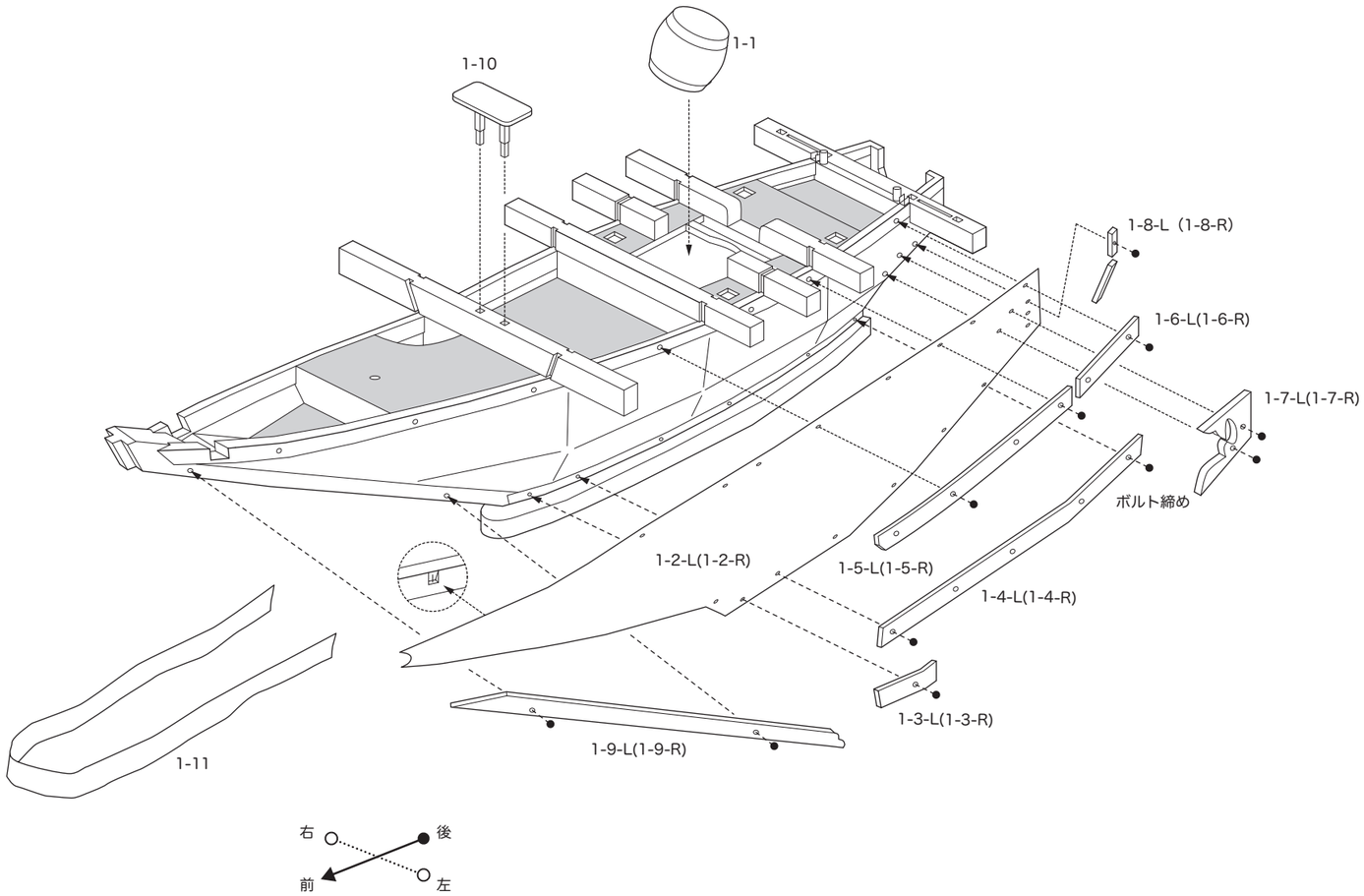
なお、この調査では、彩色については金泥や漆などの詳細な検討は行っていない。また、全体を通じた図面の表現方法や部材名は、原則として『北勢鯨船行事調査報告書』（四日市市教育委員会 ,2002）等、先行する報告書に倣っている。

（5）提出データ

①南島組感應丸実測調査報告書
：本報告書
②南島組感應丸全パーツ記録写真一式
：ファイル名は本報告書 p.2-p.5 の「整理番号」と一致
③南島組感應丸解体記録映像一式

謝辞

調査にあたって、南島組の皆様には大変お世話になりました。この場を借りて深謝いたします。



①船体部分（1）

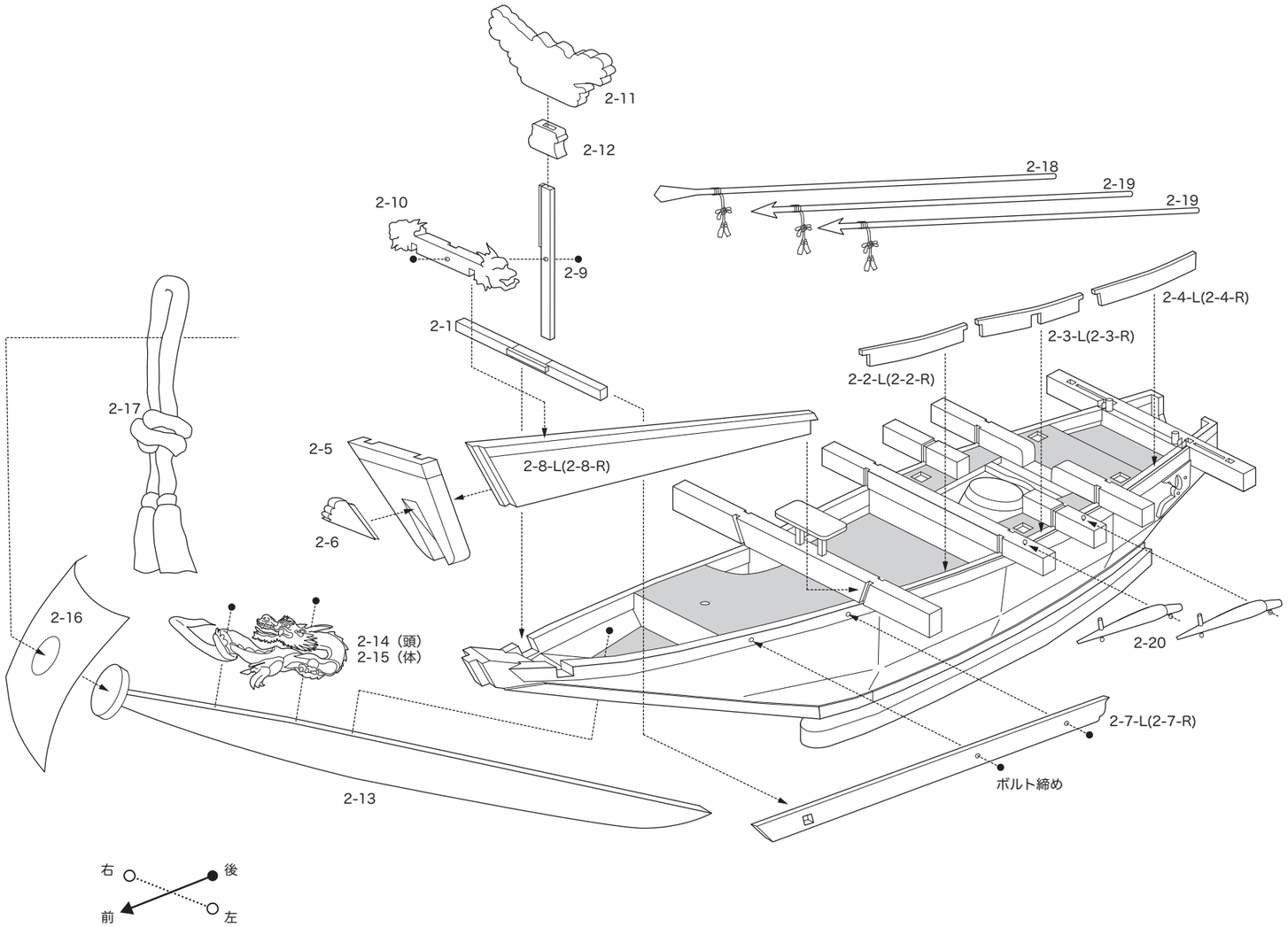
番号	整理番号	部材名称	頁
1-1	1-1	太鼓	56
1-2-L	1-2-L	船体横幕（左・緋羅紗に波千鳥と鯱）	11
1-2-R	1-2-R	船体横幕（右・緋羅紗に波千鳥と鯱）	11
1-3-L	1-5-2-L	横幕おさえ　（左前）	12
1-3-R	1-5-2-R	横幕おさえ　（右前）	12
1-4-L	1-5-L	横幕おさえ　（左後）	12
1-4-R	1-5-R	横幕おさえ　（右後）	12
1-5-L	1-4-L	差板（左前）	13
1-5-R	1-4-R	差板（右前）	13
1-6-L	1-3-L	差板（左後）	13
1-6-R	1-3-R	差板（右後）	13
1-7-L	1-6-L	寄掛かり装飾板（左）	14
1-7-R	1-6-R	寄掛かり装飾板（右）	14
1-8-L	1-6-2,3L	横幕おさえ（左後端）	14
1-8-R	1-6-2,3R	横幕おさえ（右後端）	14
1-9-L	2-10-L	水押後（左・波彫刻）	15
1-9-R	2-10-R	水押後（右・波彫刻）	15
1-10	2-25	ブンダイ	16
1-11	1-8	波幕	16

整理番号は、『北勢鯨船行事調査報告書』（四日市市教育委員会 ,2002）所収の古川町の実測調査記録を参照して、実測時に仮に割り振ったもの。写真データの番号は、整理番号と対応している。

⑤その他

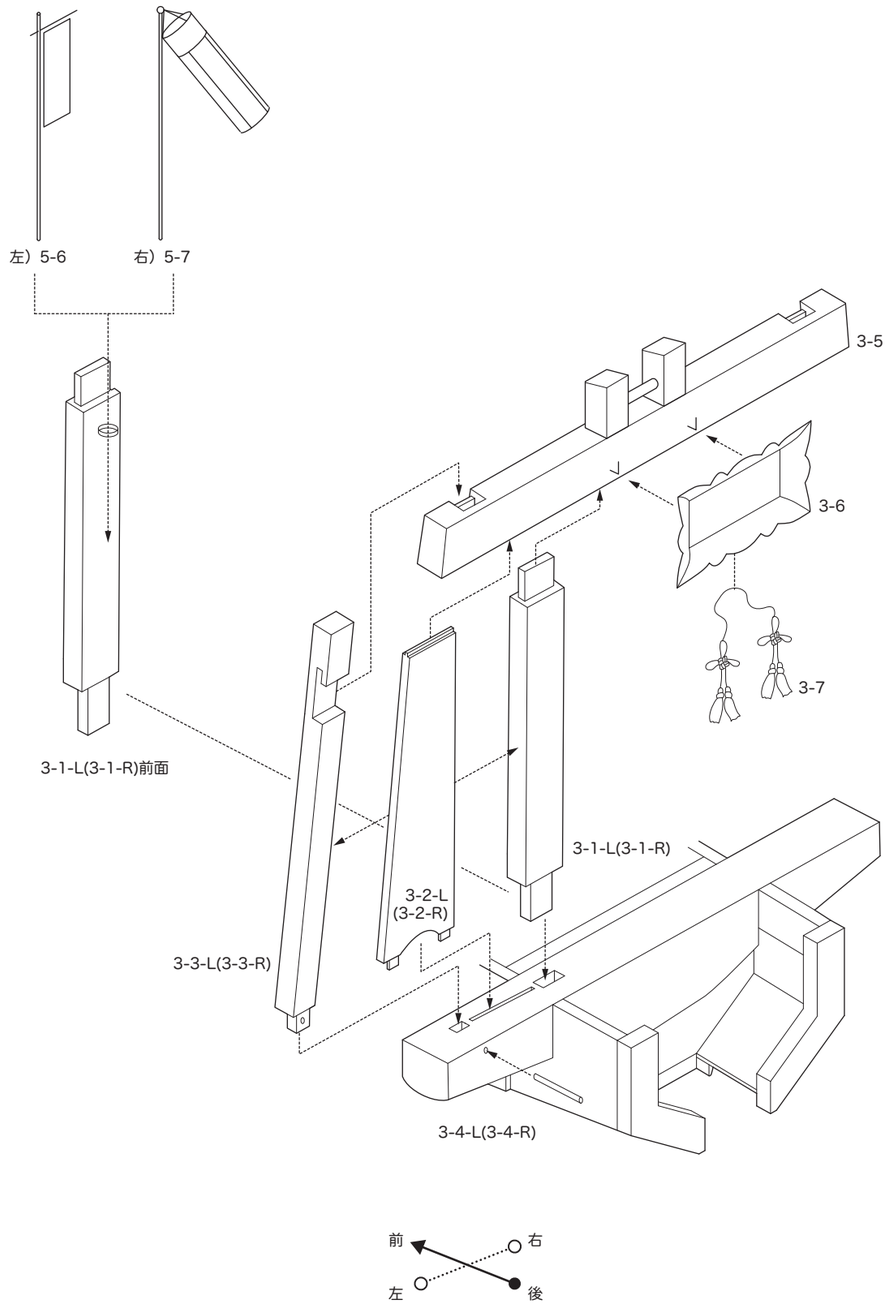
番号	整理番号	部材名称	頁
5-1	5-1	団扇	54
5-2	5-2	サンパライ（ハタキの意）	54
5-3	5-3	番傘	55
5-4	5-4	梵天（板）「北島組 神社丸」	55
5-5	5-5	羽刺の使用する銛	54
5-6	5-6	旗「鯨取根元 感應丸」	56
5-7	5-7	吹流し	56
5-8	5-8	扇子	ー
5-9	5-9	提灯	57
ー	ー	鯨ハリボテ	58

梵天や旗、番傘等の道具は①～④の図中に分けて表示している。ただし、船体に固定しない道具は図中に示していない。



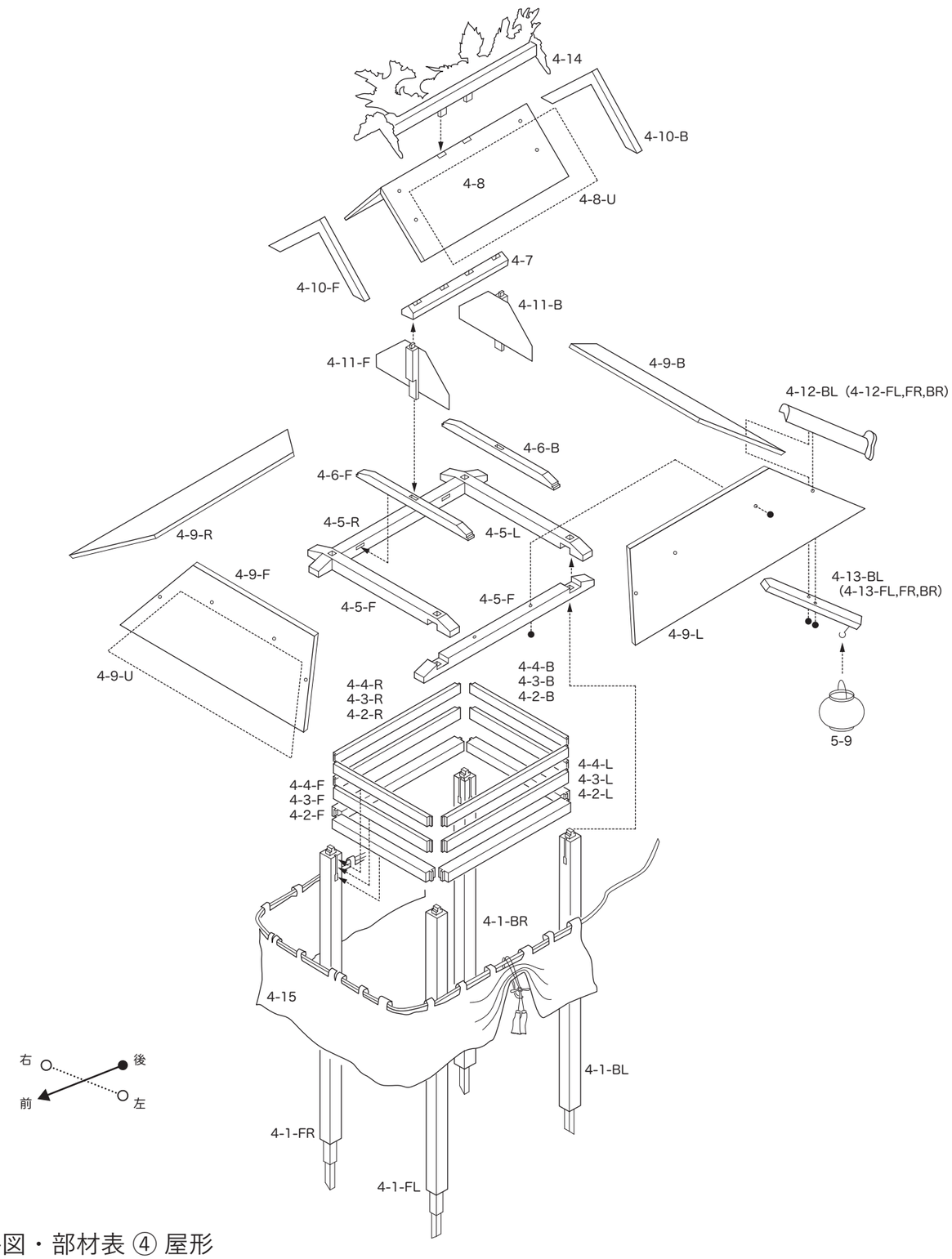
②船体部分（2）

番号	整理番号	部材名称	頁
2-1	2-1	下貫木	17
2-2-L	2-2-L	コベリ（左前・三つ巴紋）	18
2-2-R	2-2-R	コベリ（右前・三つ巴紋）	18
2-3-L	2-4-L	コベリ（左中・三つ巴紋）	18
2-3-R	2-4-R	コベリ（右中・三つ巴紋）	18
2-4-L	2-3-L	コベリ（左後・三つ巴紋）	18
2-4-R	2-3-R	コベリ（右後・三つ巴紋）	18
2-5	2-8-1	馬乗立	19
2-6	2-8-2	馬乗立と水押の繋材（波彫刻）	19
2-7-L	2-11-下L	五尺（左下・波彫刻）	20
2-7-R	2-11-下R	五尺（右下・波彫刻）	21
2-8-L	2-11-L	五尺（左上・波と雲気文に竜彫刻・阿）	22
2-8-R	2-11-R	五尺（右上・波と雲気文に竜彫刻・吽）	23
2-9	2-12	銛もたせの芯棒	17
2-10	2-13	木鼻に竜頭彫刻の閂（左阿・右吽）	17
2-11	2-16	銛もたせ（上・雲気文に竜の彫刻）	24
2-12	2-14	銛もたせ（下・雲気文の彫刻）	24
2-13	2-17-1	水押（波千鳥と三つ巴紋）	25
2-14	2-17-2	水押の竜彫刻（頭）	26
2-15	2-17-3	水押の竜彫刻（体）	26
2-16	2-18	水押御紋（三つ巴紋）	27
2-17	2-19	水押サガリ	27
2-18	2-20	銛もたせに設置するトドメノモリ	28
2-19	2-21	銛もたせに設置するモリ	28
2-20	2-24	櫓	29



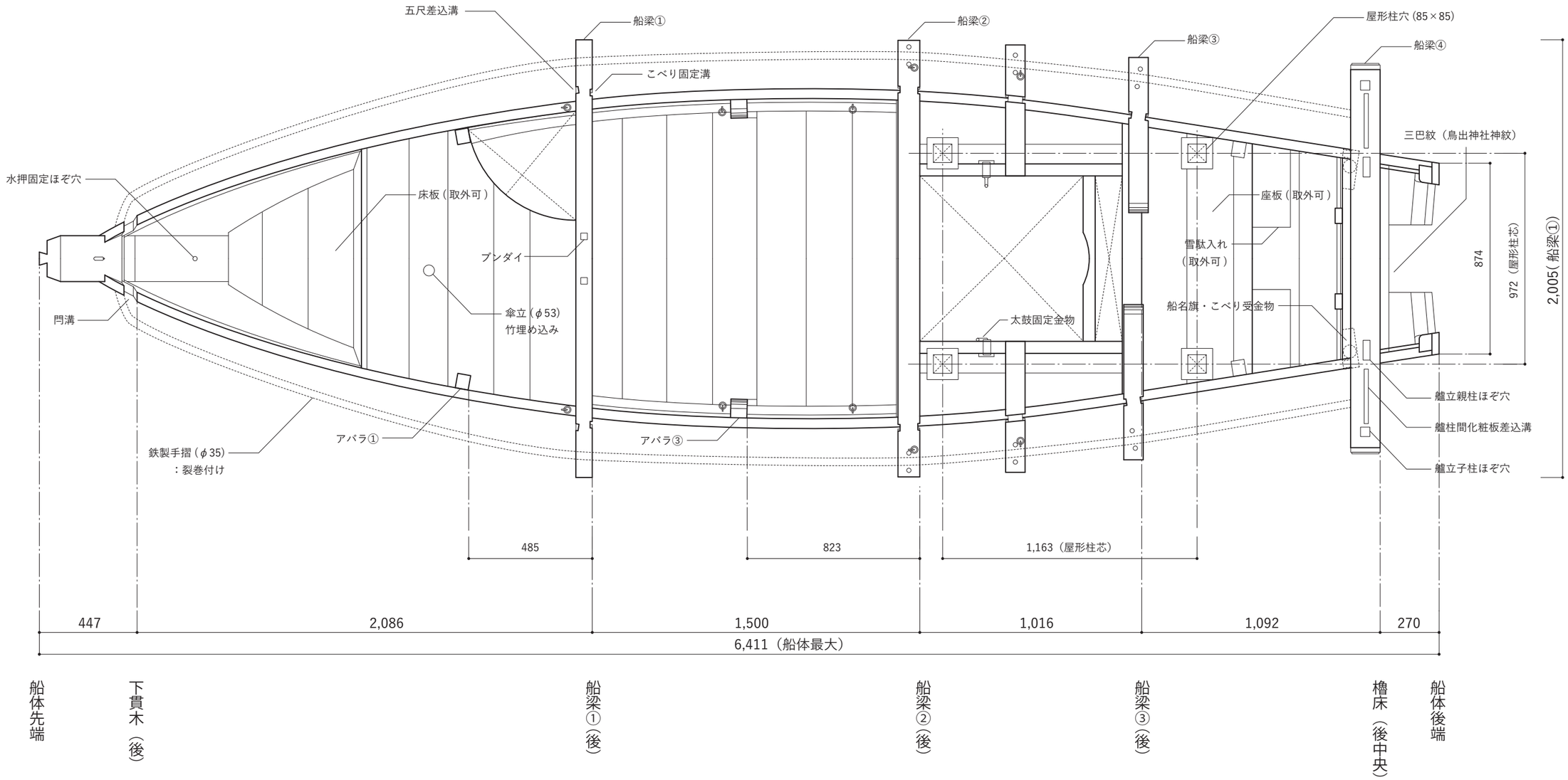
③艫部分

番号	整理番号	部材名称	頁
3-1-L	3-1-L	艫立柱（左中・上り藤と三つ巴紋）	30
3-1-R	3-1-R	艫立柱（右中・上り藤と三つ巴紋）	30
3-2-L	3-2-L	艫立の飾り彫刻（左・雲気文に獅子と牡丹の彫刻、阿）	31
3-2-R	3-2-R	艫立の飾り彫刻（右・雲気文に獅子と牡丹の彫刻、阿）	31
3-3-L	3-3-L	艫立柱（左外）	30
3-3-R	3-3-R	艫立柱（右外）	30
3-4-L	3-3-付L	艫立柱固定丸棒（左）	30
3-4-R	3-3-付R	艫立柱固定丸棒（右）	30
3-5	3-4	艫立	32
3-6	3-8	扁額「感應丸」（船名額）	33
3-7	3-9	艫立の飾房	33

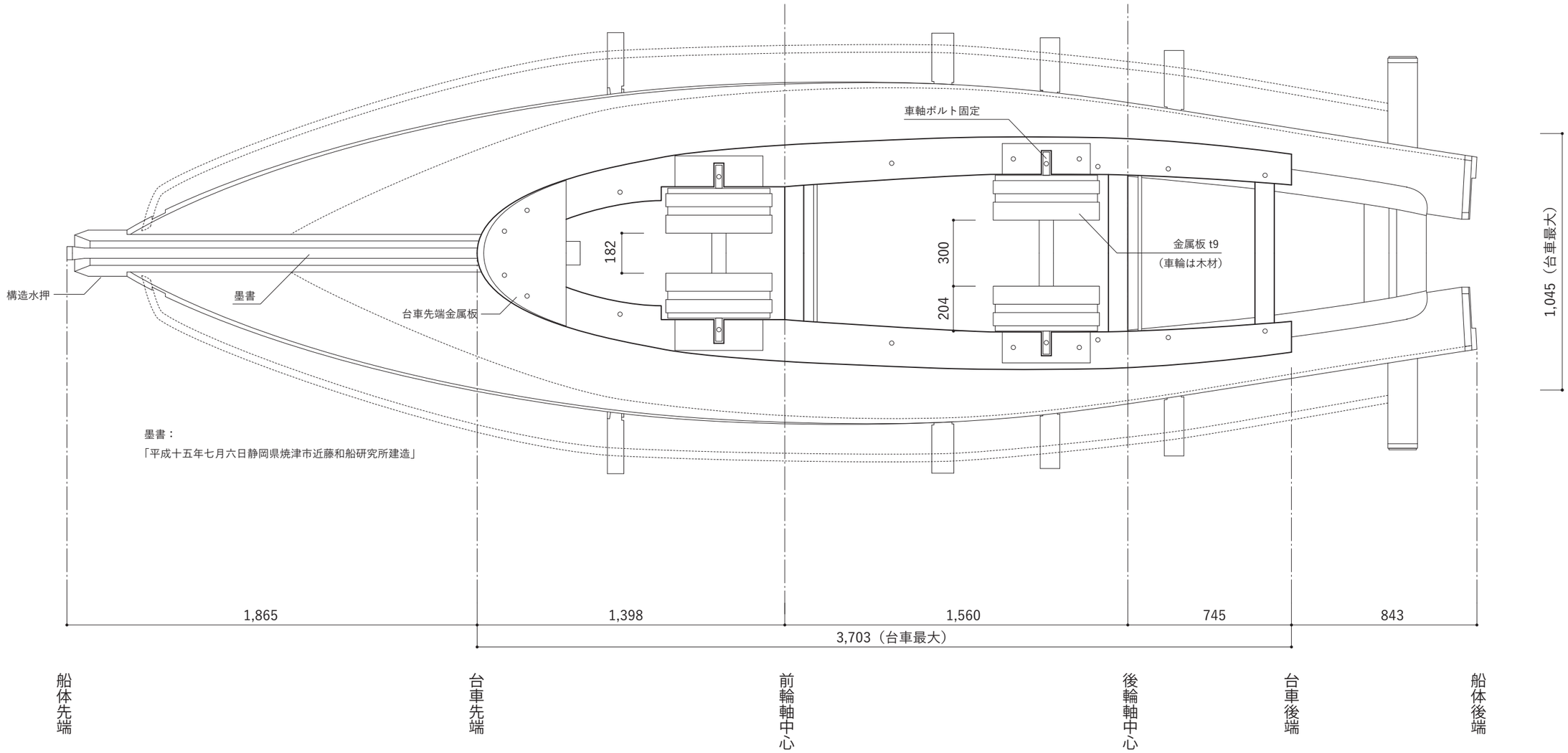


④屋形部分

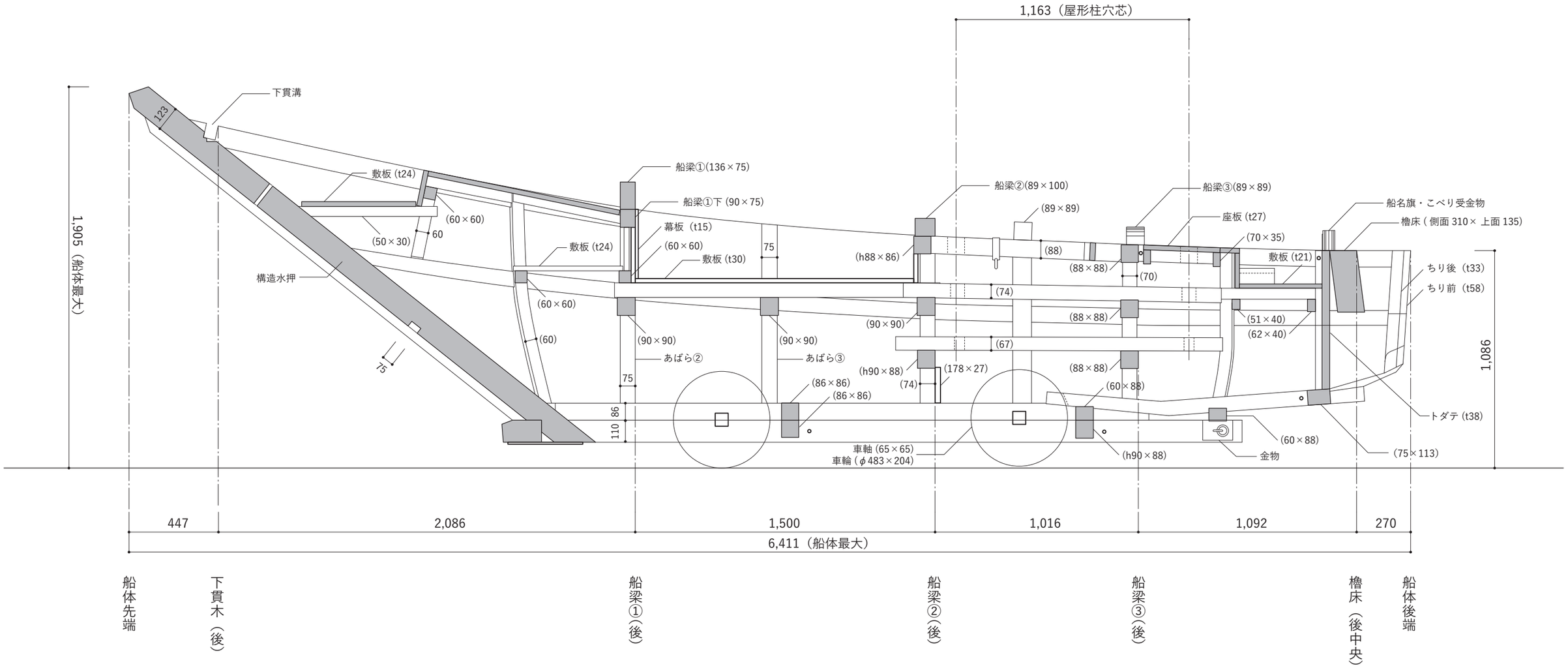
番号	整理番号	部材名称	頁
4-1-FL	4-1-FL	屋形　柱（左前）	37
4-1-FR	4-1-FR	屋形　柱（右前）	37
4-1-BL	4-1-BL	屋形　柱（左後）	37
4-1-BR	4-1-BR	屋形　柱（右後）	37
4-2-L	4-4-L	屋形　無目鴨居（左）	38
4-2-R	4-4-R	屋形　無目鴨居（右）	38
4-2-F	4-4-F	屋形　無目鴨居（前）	38
4-2-B	4-4-B	屋形　無目鴨居（後）	38
4-3-L	4-2-L	屋形　欄間（左下・波に竜彫刻）	39
4-3-R	4-2-R	屋形　欄間（右下・波に竜彫刻）	39
4-3-F	4-2-F	屋形　欄間（前下・波に火炎宝珠）	40
4-3-B	4-2-B	屋形　欄間（後下・波に火炎宝珠）	40
4-4-L	4-3-L	屋形　欄間（左上・雲気文）	41
4-4-R	4-3-R	屋形　欄間（右上・雲気文）	41
4-4-F	4-3-F	屋形　欄間（前上・雲気文）	41
4-4-B	4-3-B	屋形　欄間（後上・雲気文）	41
4-5-L	4-5-L	屋形　虹梁（左）	42
4-5-R	4-5-R	屋形　虹梁（右）	42
4-5-F	4-5-F	屋形　虹梁（前）	42
4-5-B	4-5-B	屋形　虹梁（後）	42
4-6-F	4-6-F	屋形　棟木下の梁（前）	43
4-6-B	4-6-B	屋形　棟木下の梁（後）	43
4-7	4-7	屋形　棟木	43
4-8	4-8	屋形　屋根	44
4-8-U	4-8-U	屋形　屋根苫（左右）	44
4-9-L	4-9-L	屋形　屋根庇（左）	45
4-9-R	4-9-R	屋形　屋根庇（右）	45
4-9-F	4-9-F	屋形　屋根庇（前）	46
4-9-B	4-9-B	屋形　屋根庇（後）	46
4-9-U	4-9-U	屋形　屋根庇苫（左右前後）	46
4-10-F	4-10-F	屋形　破風板（前・牡丹の懸魚）	47
4-10-B	4-10-B	屋形　破風板（後・牡丹の懸魚）	47
4-11-F	4-10-2-F	屋形　破風（前・獅子の彫刻）	48
4-11-B	4-10-2-B	屋形　破風（後・獅子の彫刻）	49
4-12-FL	4-12-FL	屋形　隅棟（左前・雲気文）	50
4-12-BL	4-12-BL	屋形　隅棟（左後・雲気文）	51
4-12-FR	4-12-FR	屋形　隅棟（右前・雲気文）	51
4-12-BR	4-12-BR	屋形　隅棟（右後・雲気文）	51
4-13-FL	4-13-FL	屋形　隅木（左前）	50
4-13-BL	4-13-BL	屋形　隅木（左後）	50
4-13-FR	4-13-FR	屋形　隅木（右前）	50
4-13-BR	4-13-BR	屋形　隅木（右後）	50
4-14	4-14	屋形　大棟（火炎宝珠に一対の竜（前阿後吽）と鯱の彫刻（前後吽））	52
4-15	4-15	屋形　横幕（上り藤と三つ巴紋の刺繍）	53
4-16	4-16	屋形　飾り結び	―


五尺差込溝
船梁①
こべり固定溝
船梁②
船梁③
屋形柱穴（85×85）
船梁④
三巴紋（鳥出神社神紋）
水押固定ほぞ穴
床板（取外可）
ブンダイ
傘立（φ53）
竹埋め込み
門溝
座板（取外可）
雪駄入れ
（取外可）
船名旗・こべり受金物
太鼓固定金物
874
972（屋形柱芯）
2,005（船梁①）
艫立親柱ほぞ穴
艫柱間化粧板差込溝
艫立子柱ほぞ穴
アバラ①
アバラ③
鉄製手摺（φ35）
：裂巻付け
485
823
1,163（屋形柱芯）
447
2,086
1,500
1,016
1,092
270
6,411（船体最大）
船体先端
下貫木（後）
船梁①（後）
船梁②（後）
船梁③（後）
櫓床（後中央）
船体後端

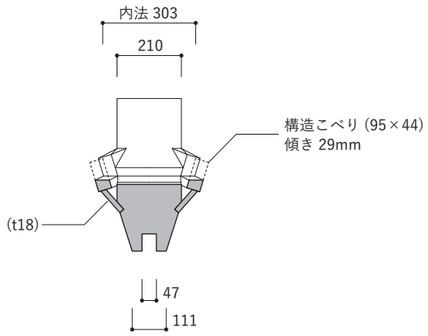
06 船体平面図（1/20）



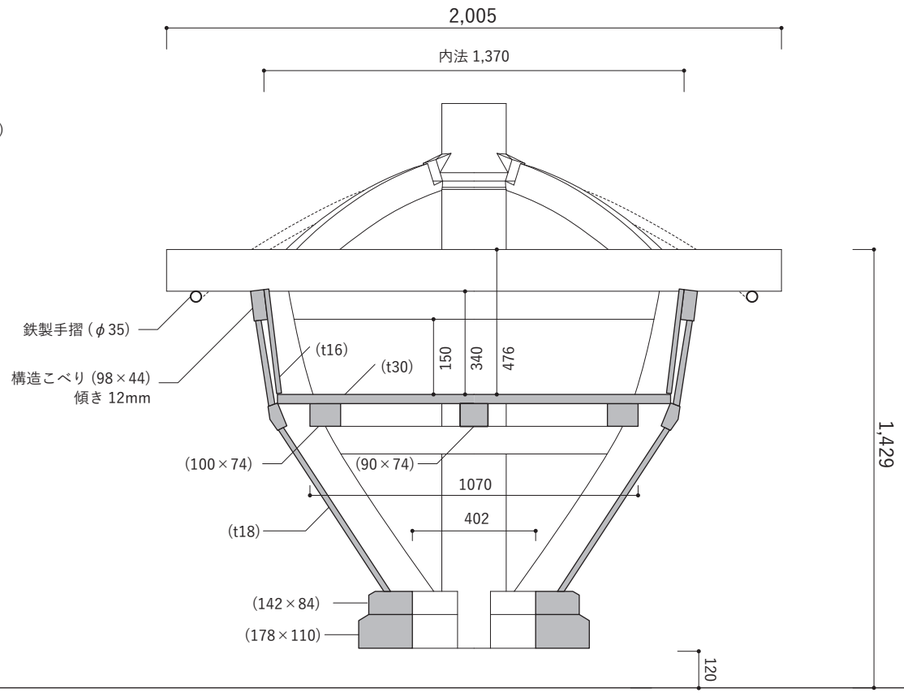
07　船体　台車見上平面図（1/20）



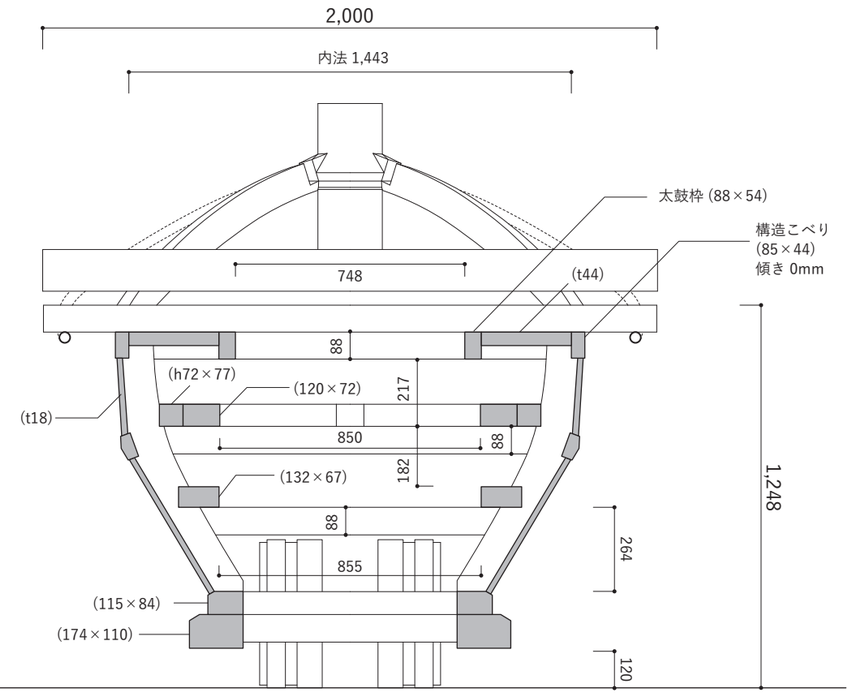
08　船体　桁行断面図（1/20）



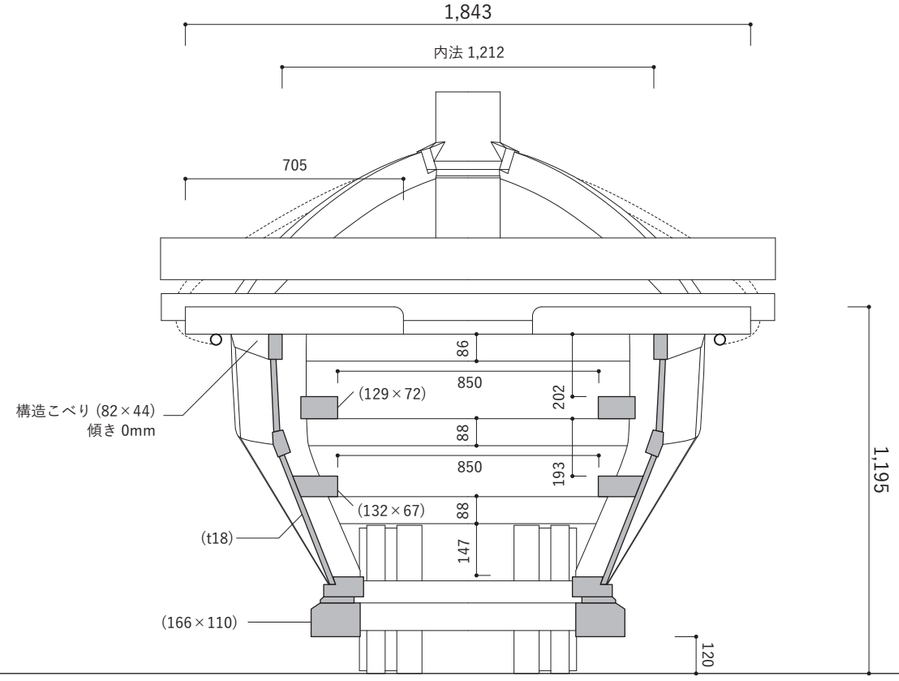
貫（後上）断面図（1/20）



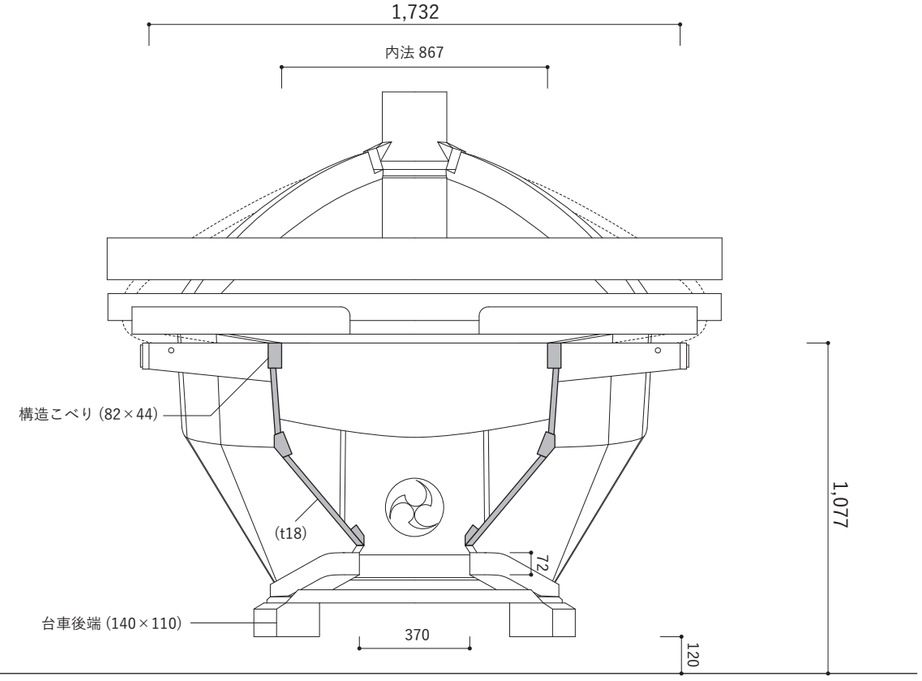
船梁①(後) 断面図（1/20）



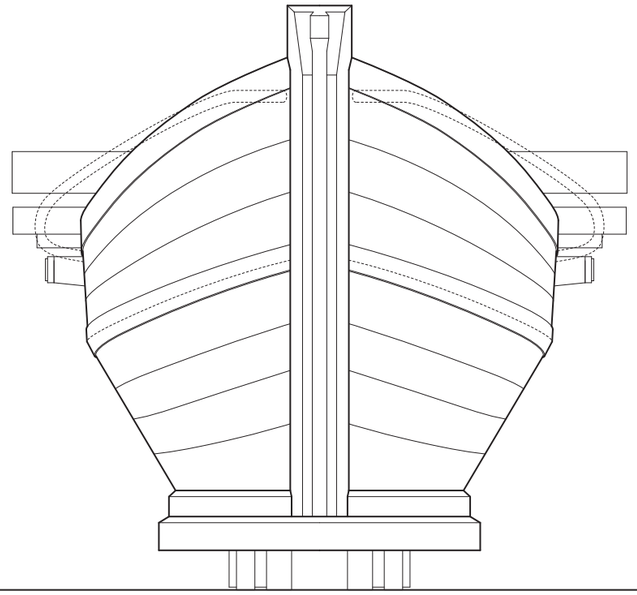
船梁②(後) 断面図（1/20）



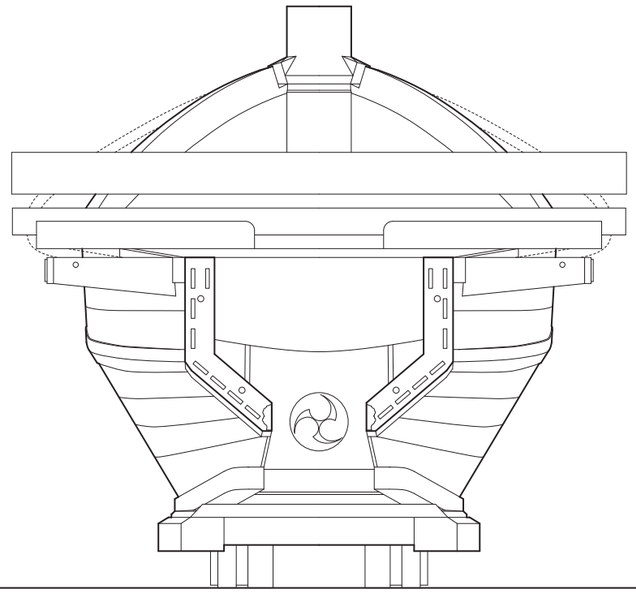
船梁③(後) 断面図（1/20）



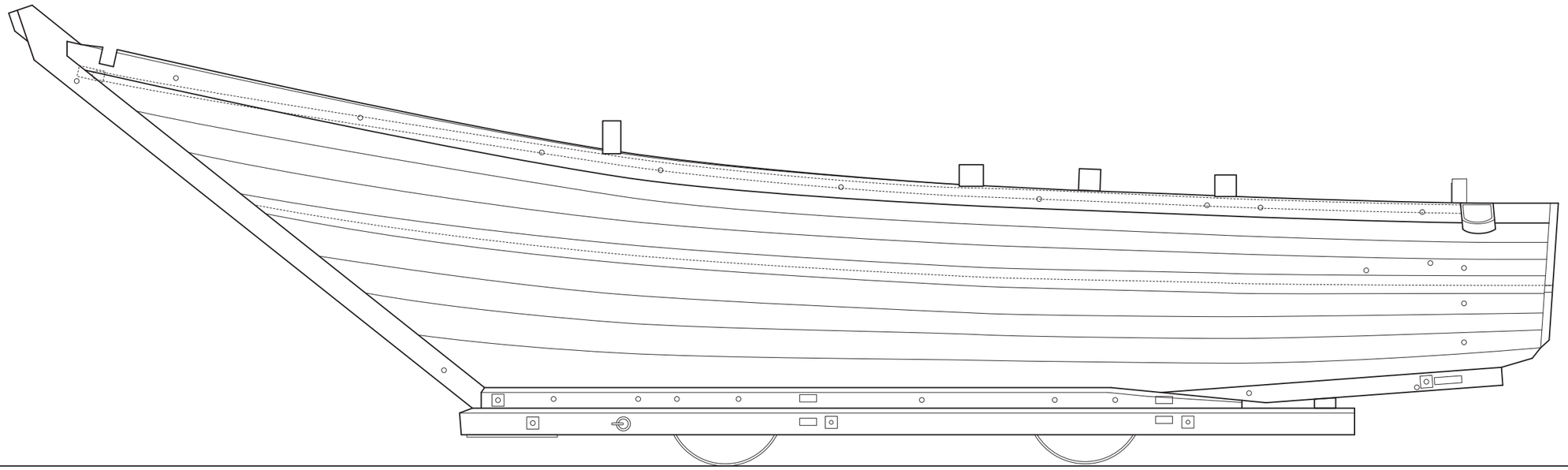
船梁④(後) 断面図（1/20）



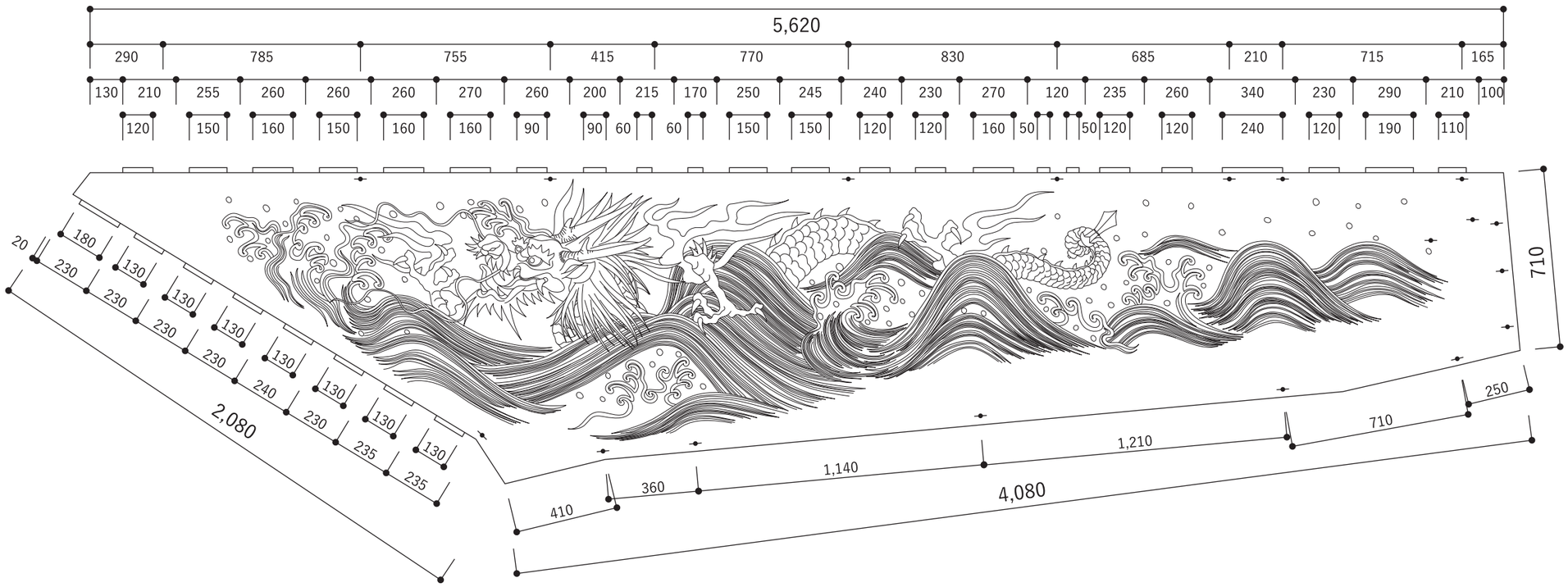
正面立面図（1/20）



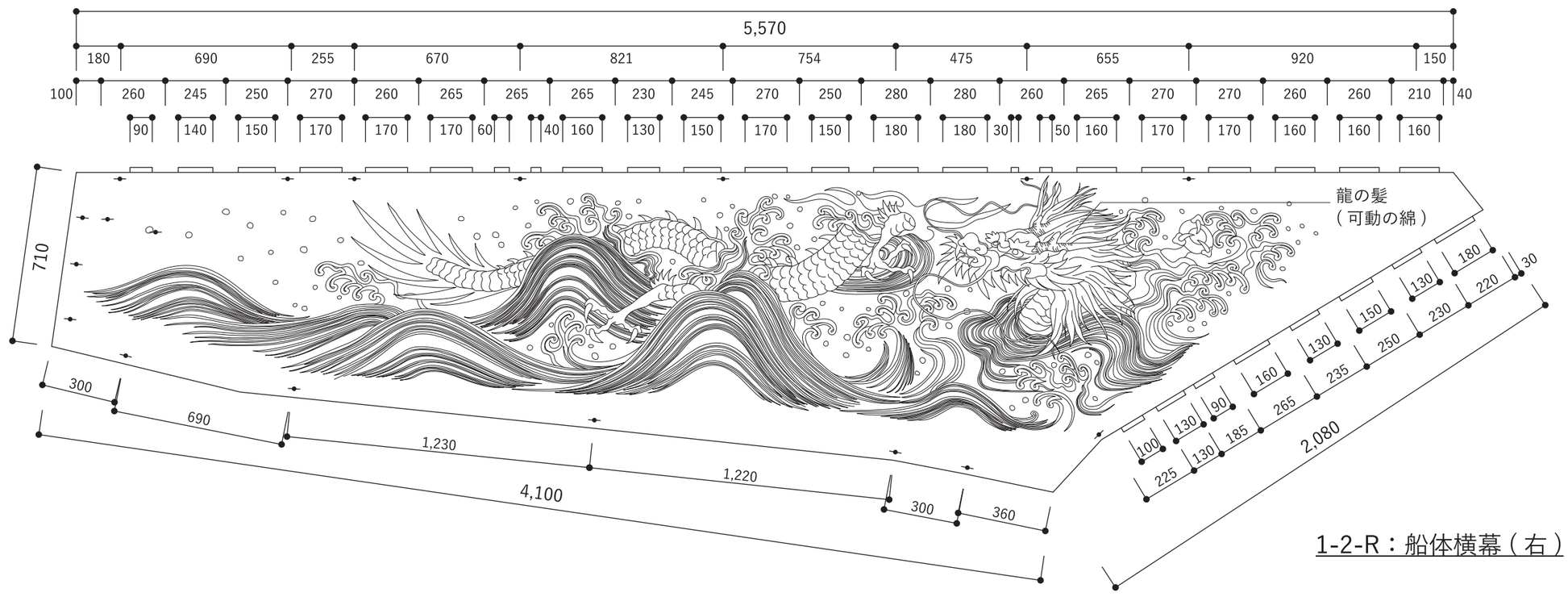
背面立面図（1/20）



側面立面図（1/20）

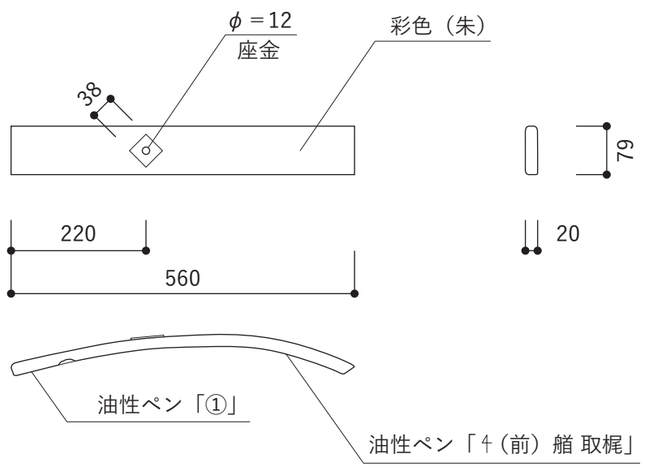


1-2-L：船体横幕（左）

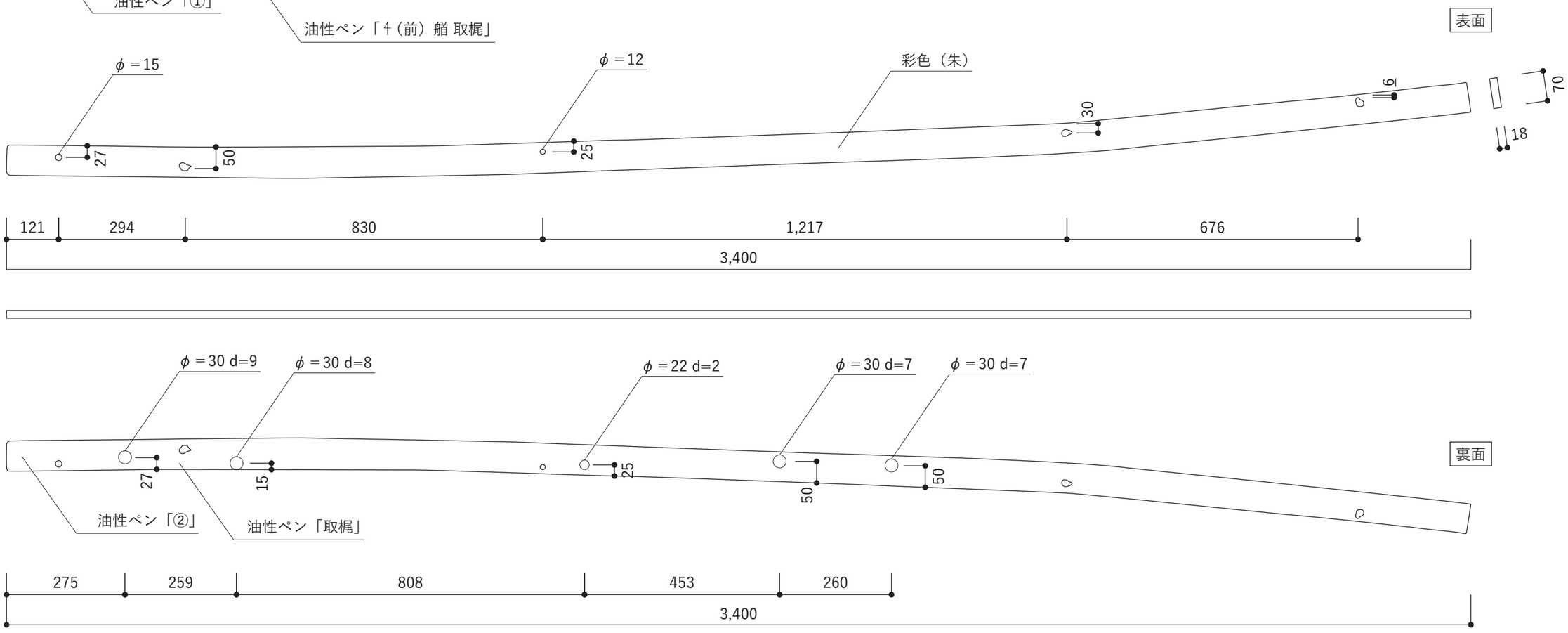


1-2-R：船体横幕（右）

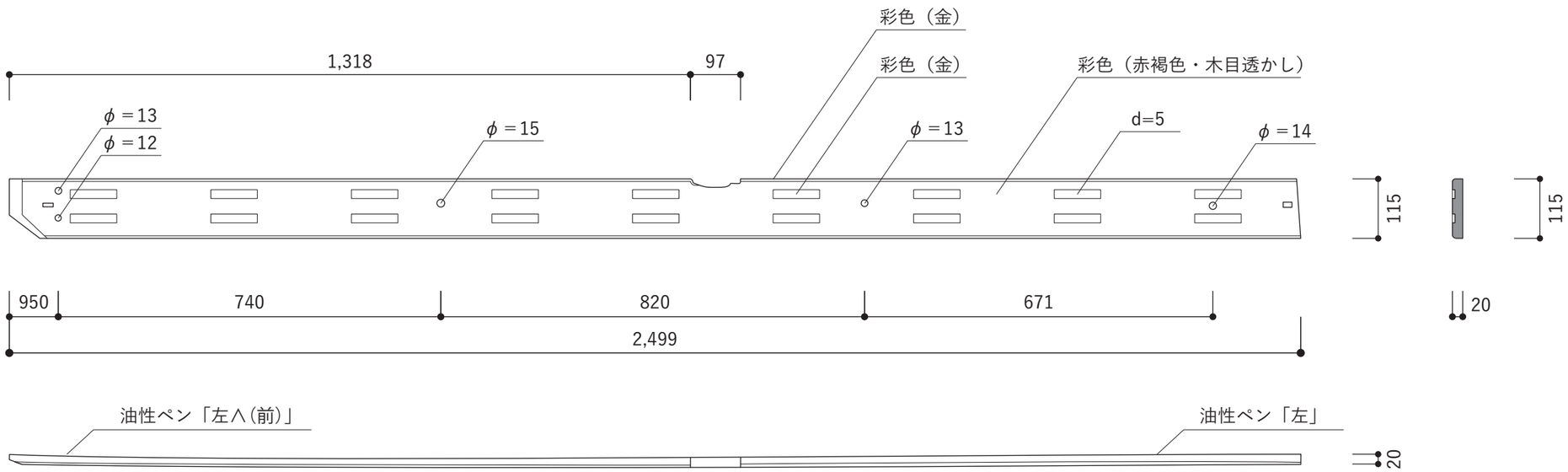
船体横幕（1/20）　＊寸法は『南島組鯨船感應丸 船体横幕新調事業報告書』による



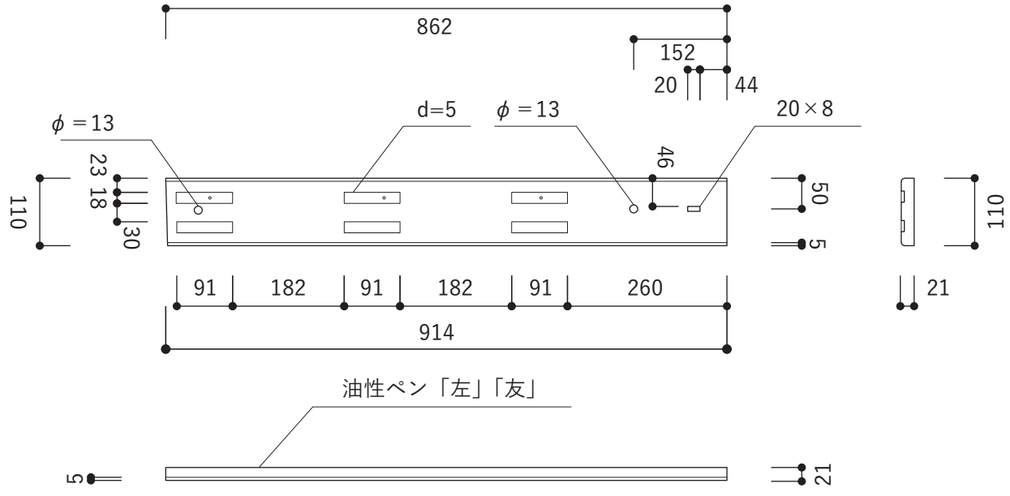
1-3-L（1-3-R）：横幕おさえ



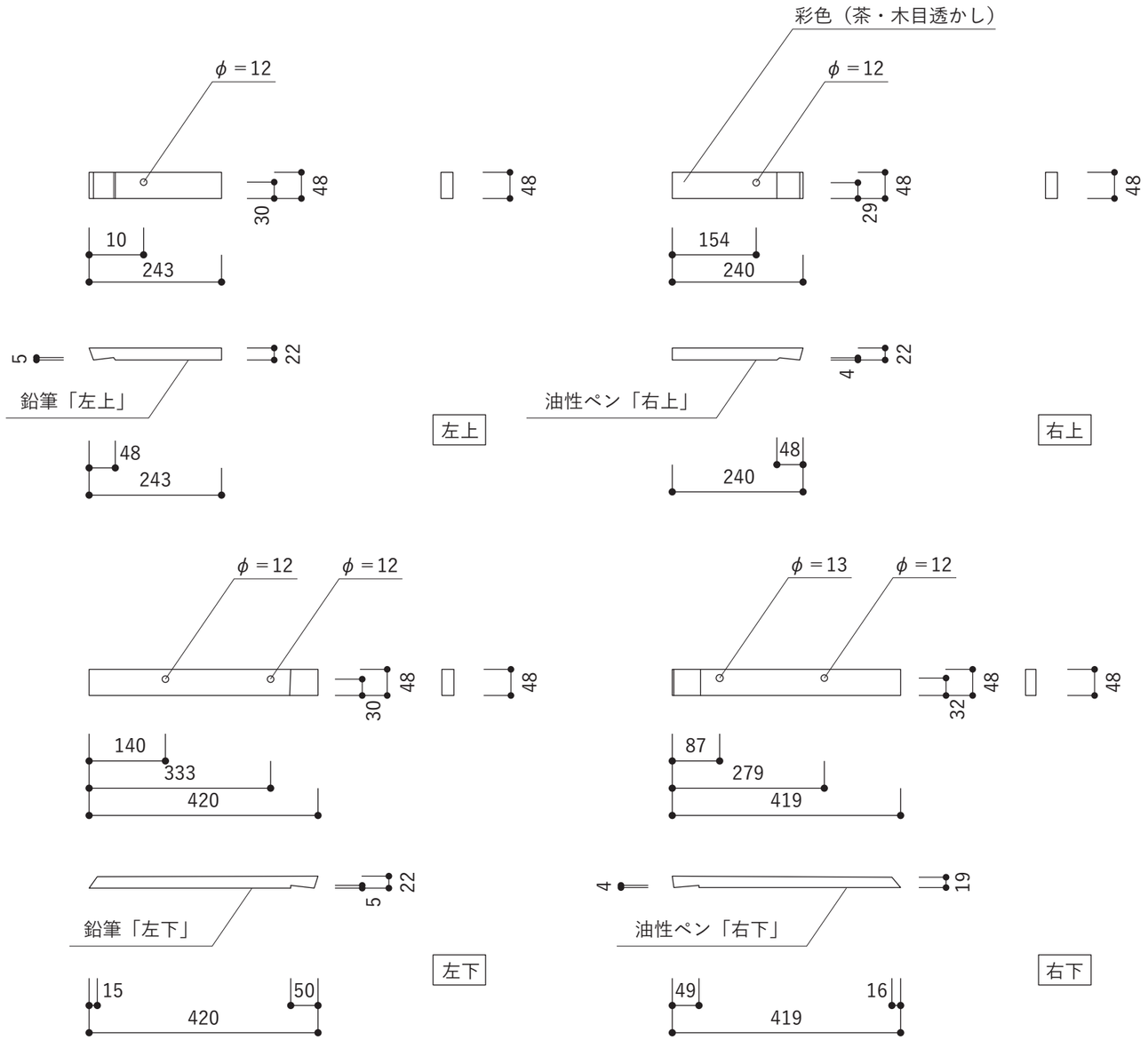
1-4-L（1-4-R）：横幕おさえ



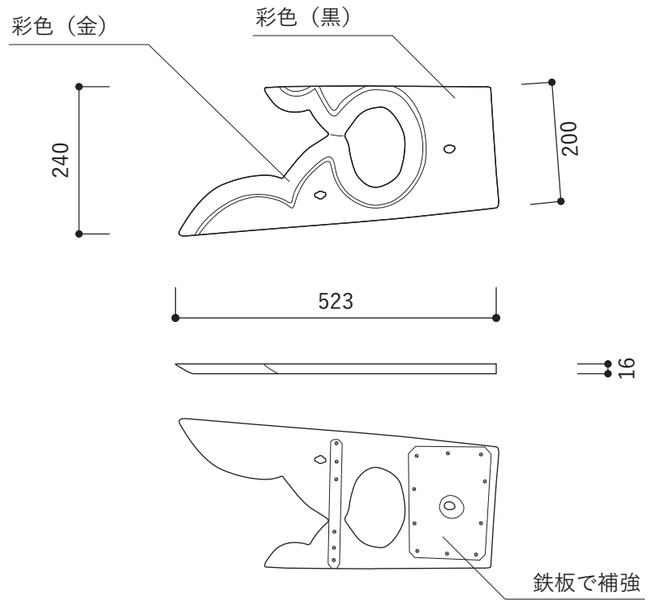
1-5-L（1-5-R）：差板（前）



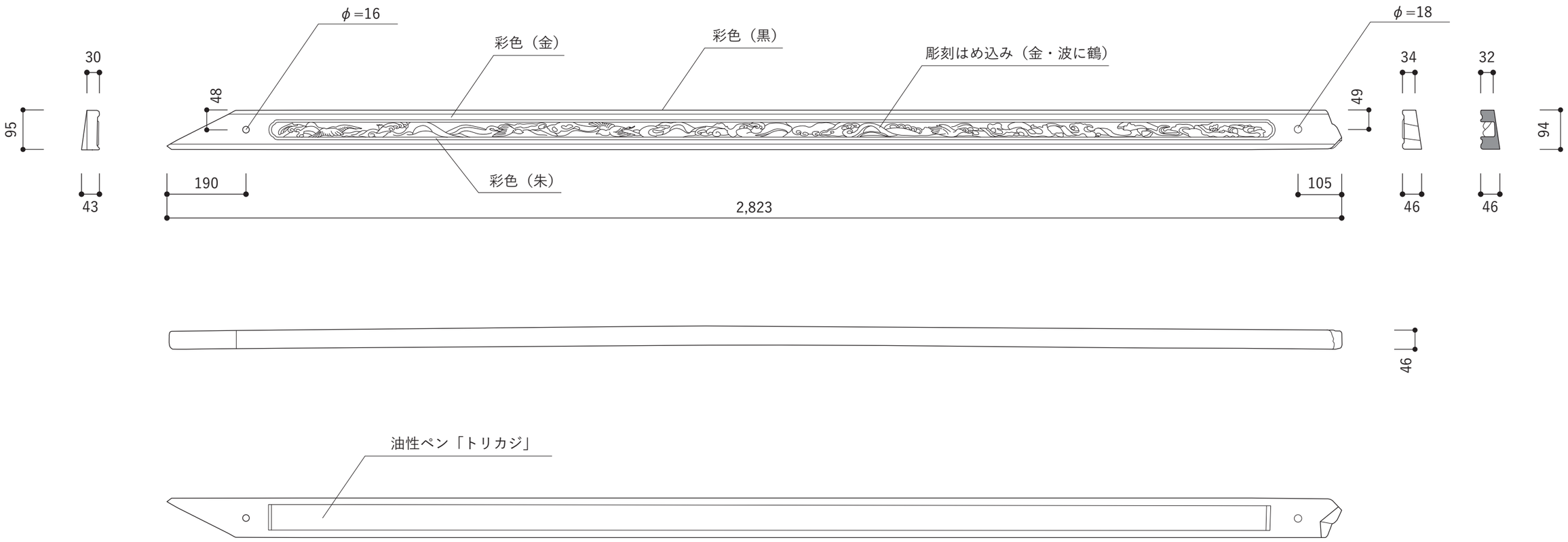
1-6-L（1-6-R）：差板（後）



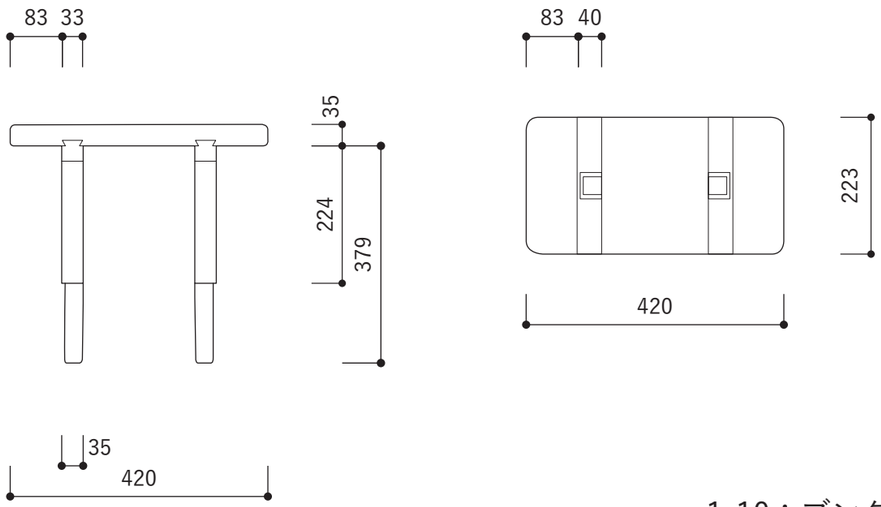
1-8-L（1-8-R）：横幕おさえ（後端上下）



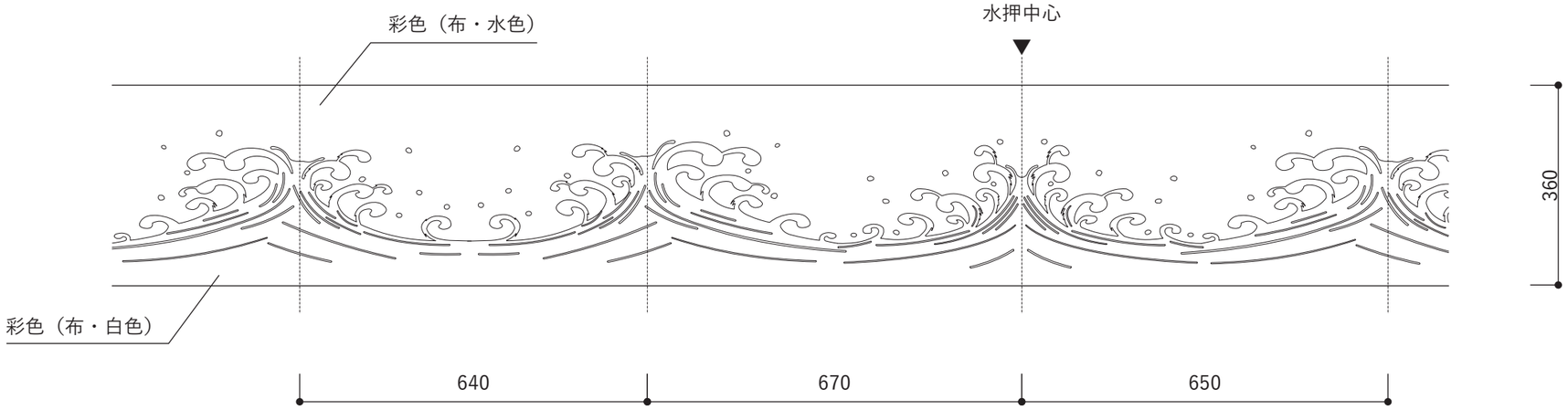
1-7-L（1-7-R）：寄掛かり装飾板


φ=16
彩色（金）
彩色（黒）
彫刻はめ込み（金・波に鶴）
φ=18
30
48
95
43
190
彩色（朱）
2,823
105
49
34
32
94
46
46
46
油性ペン「トリカジ」

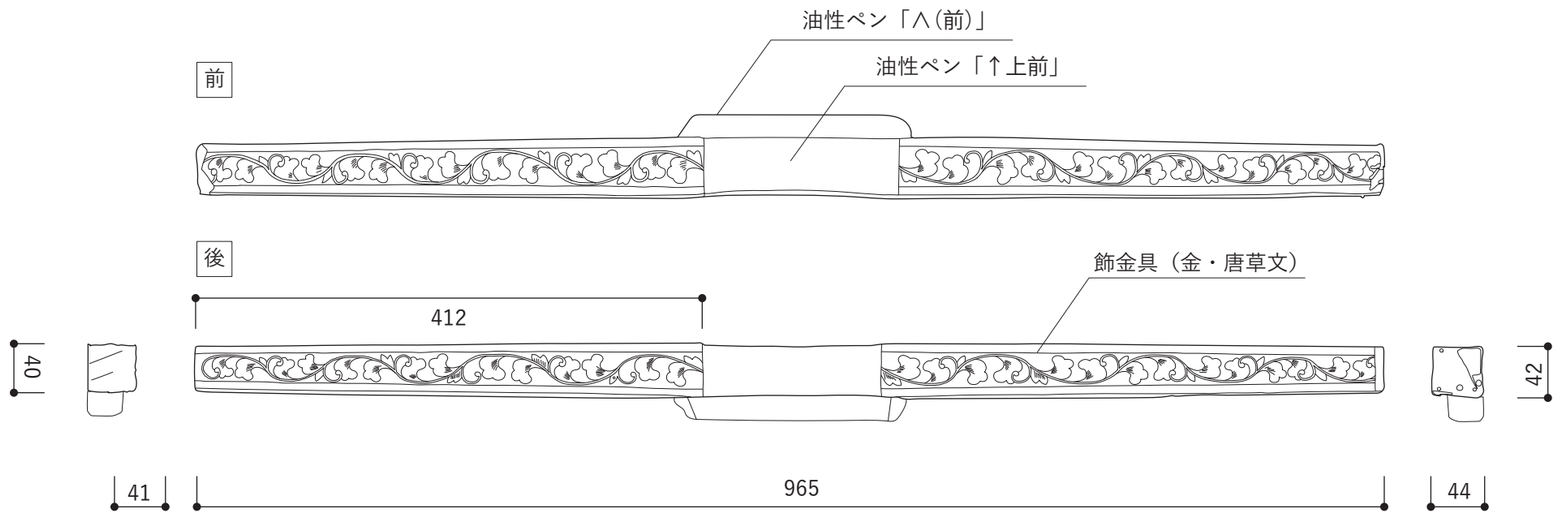
1-9-L（1-9-R）：水押後



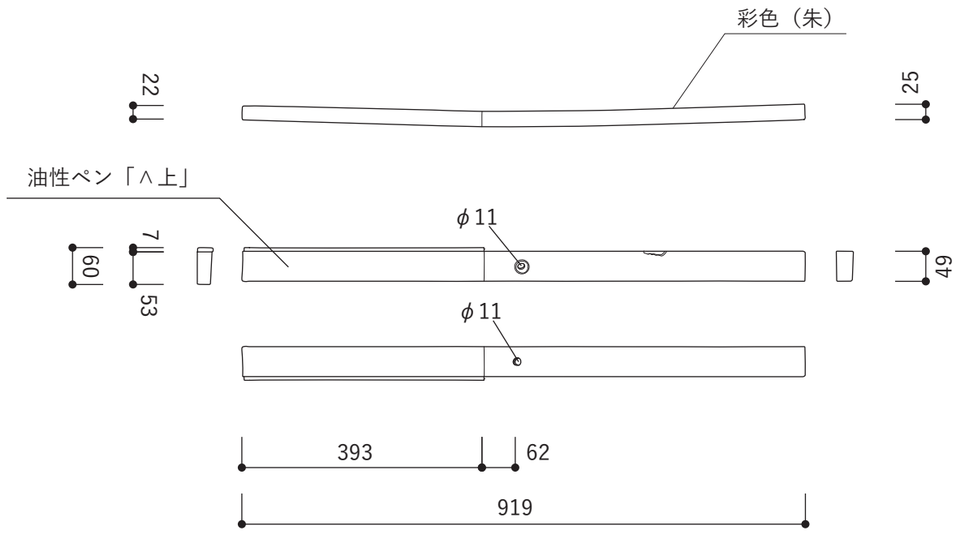
1-10：ブンダイ



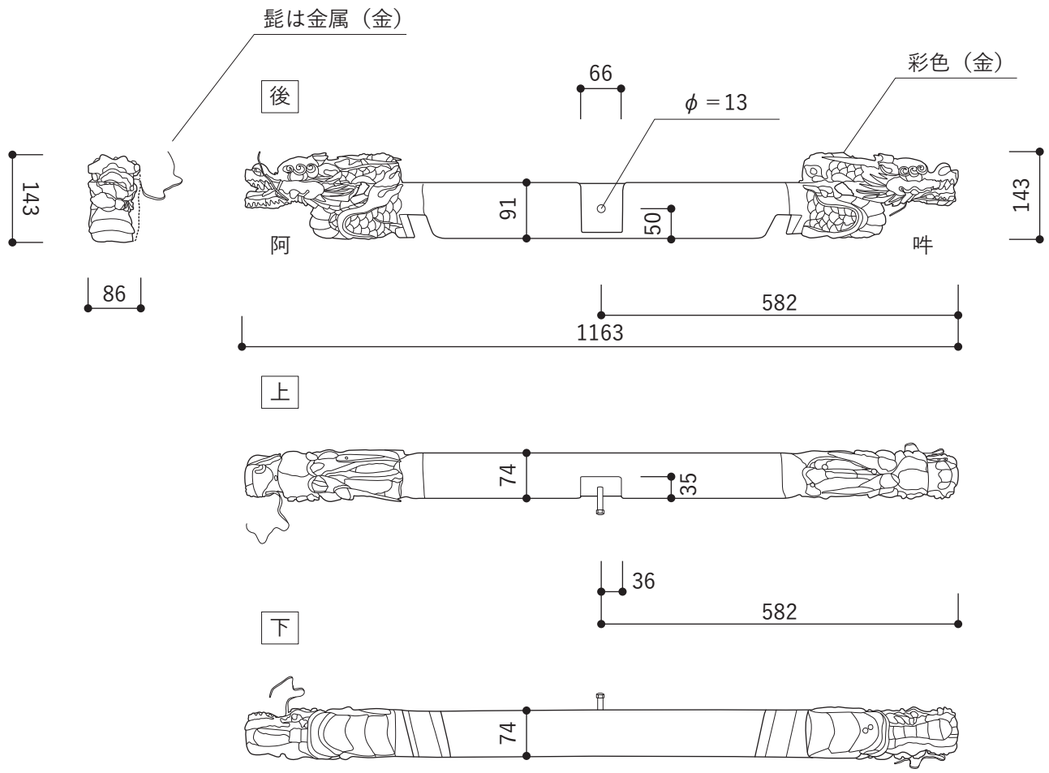
1-11：波幕



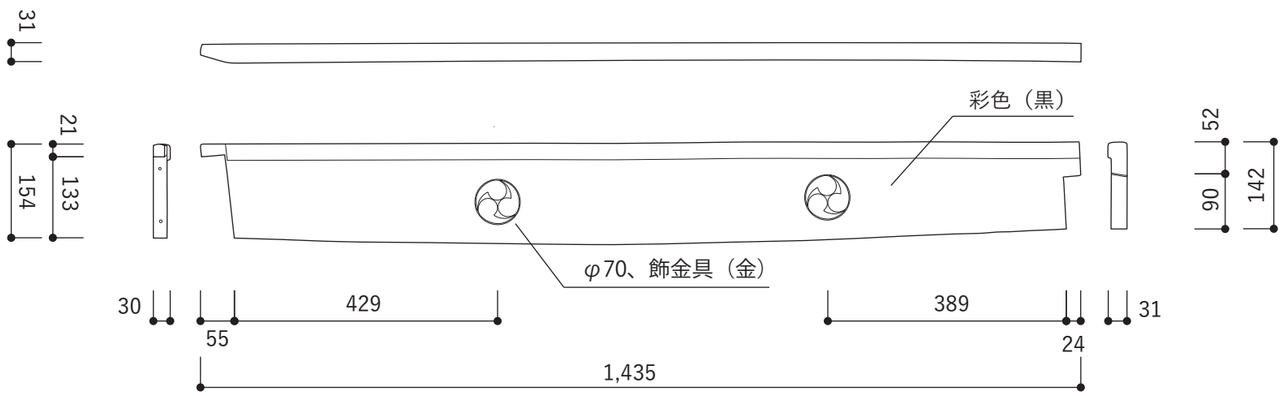
2-1：下貫木



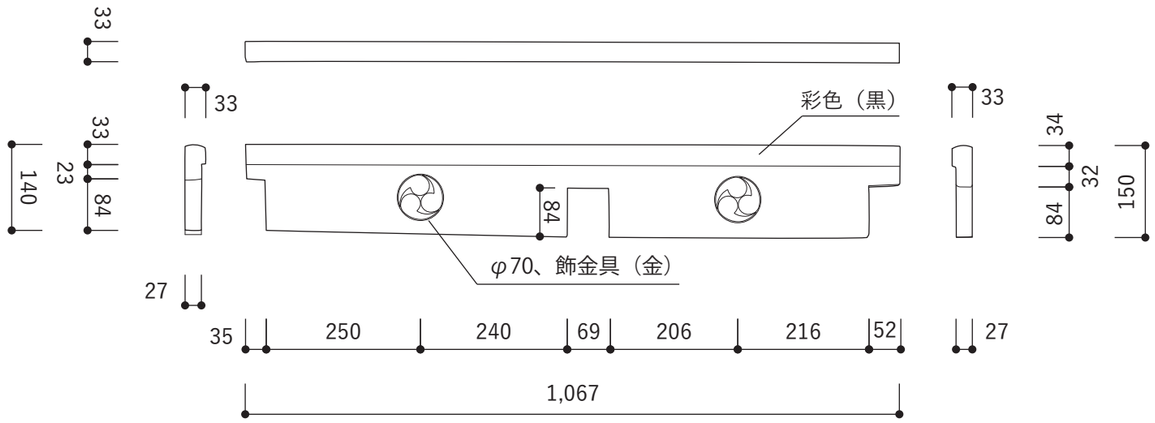
2-9：銛もたせの芯棒



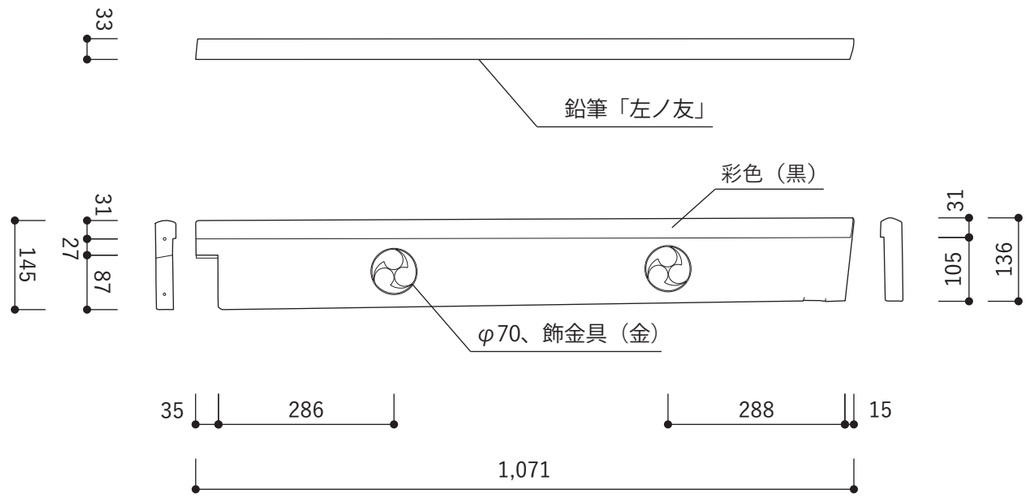
2-10：木鼻に竜頭彫刻の閂



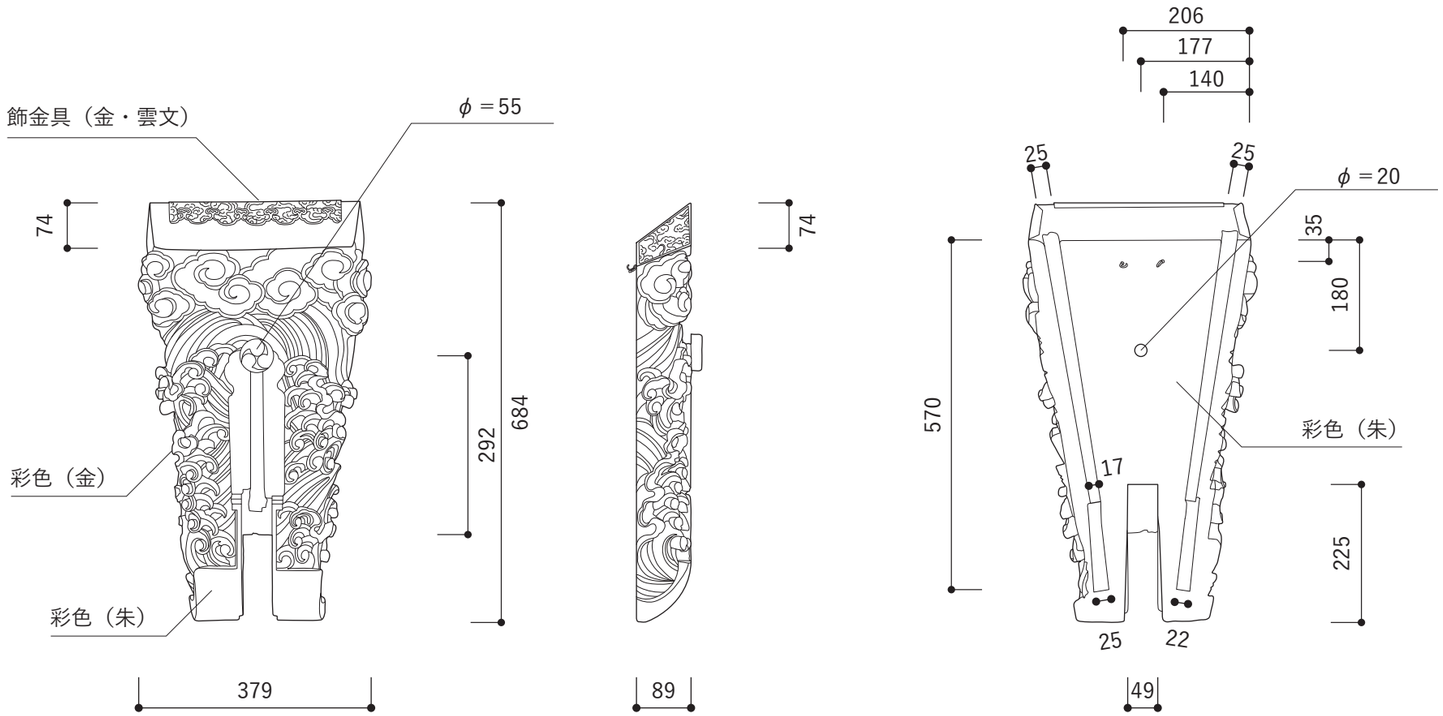
2-2-L（2-2-R）：コベリ（前）



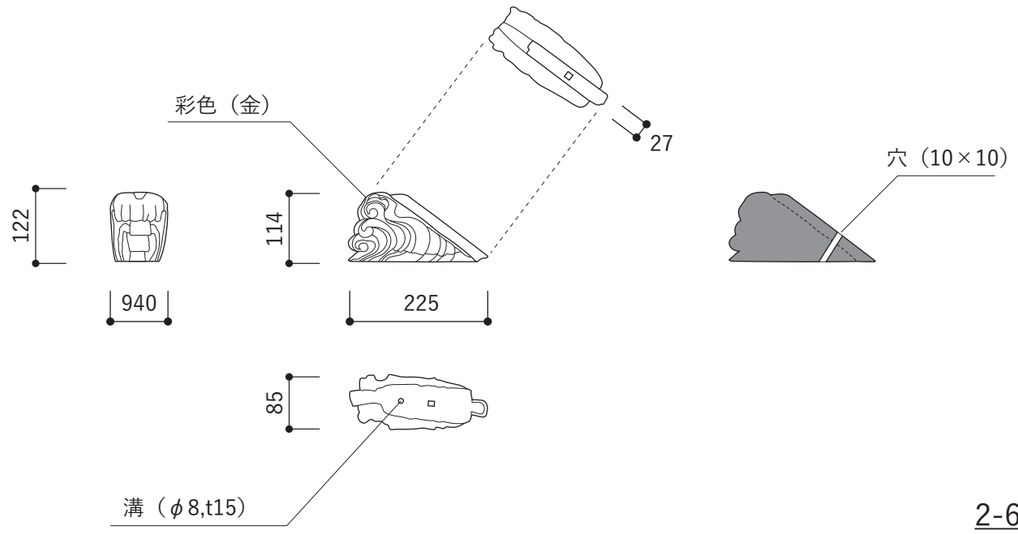
2-3-L（2-3-R）：コベリ（中）



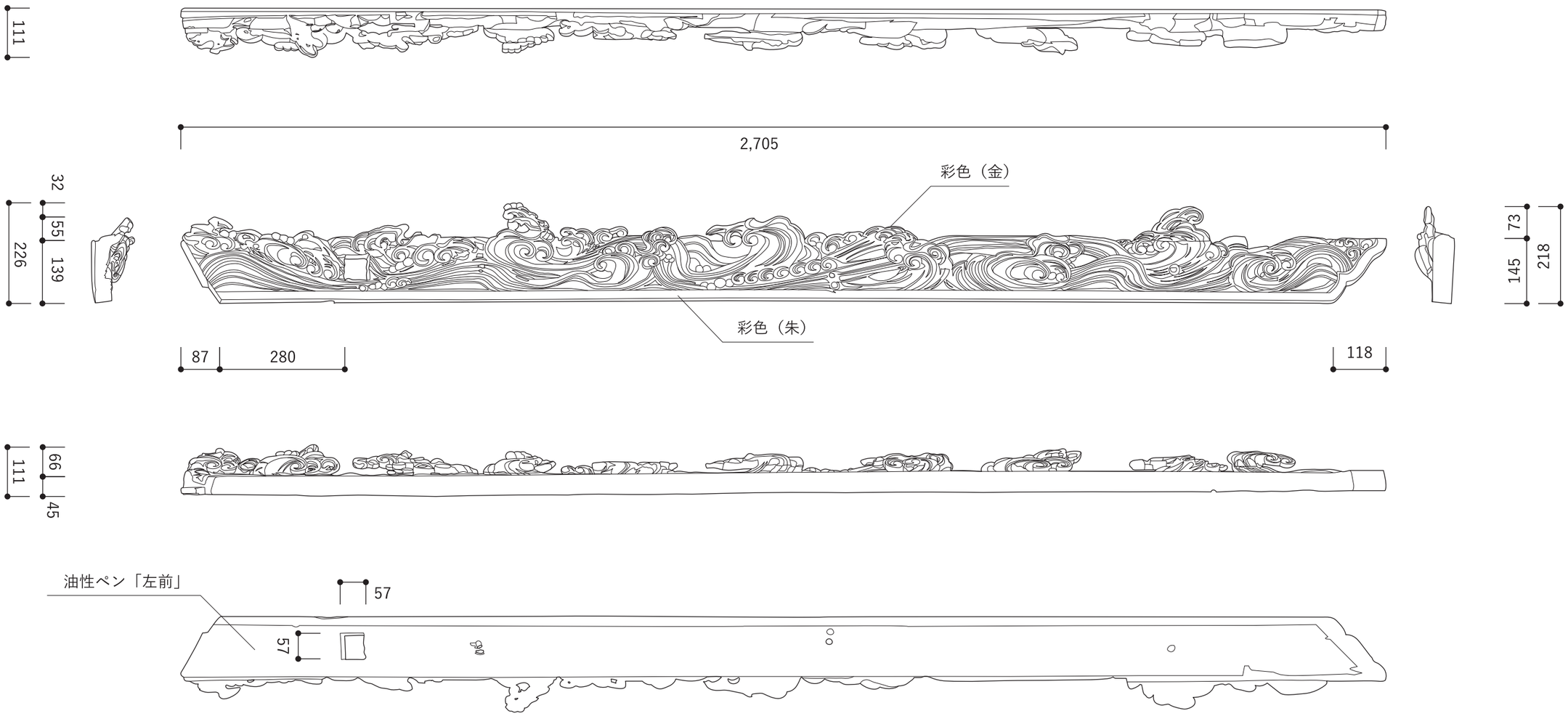
2-4-L：コベリ（後）



2-5：馬乗立

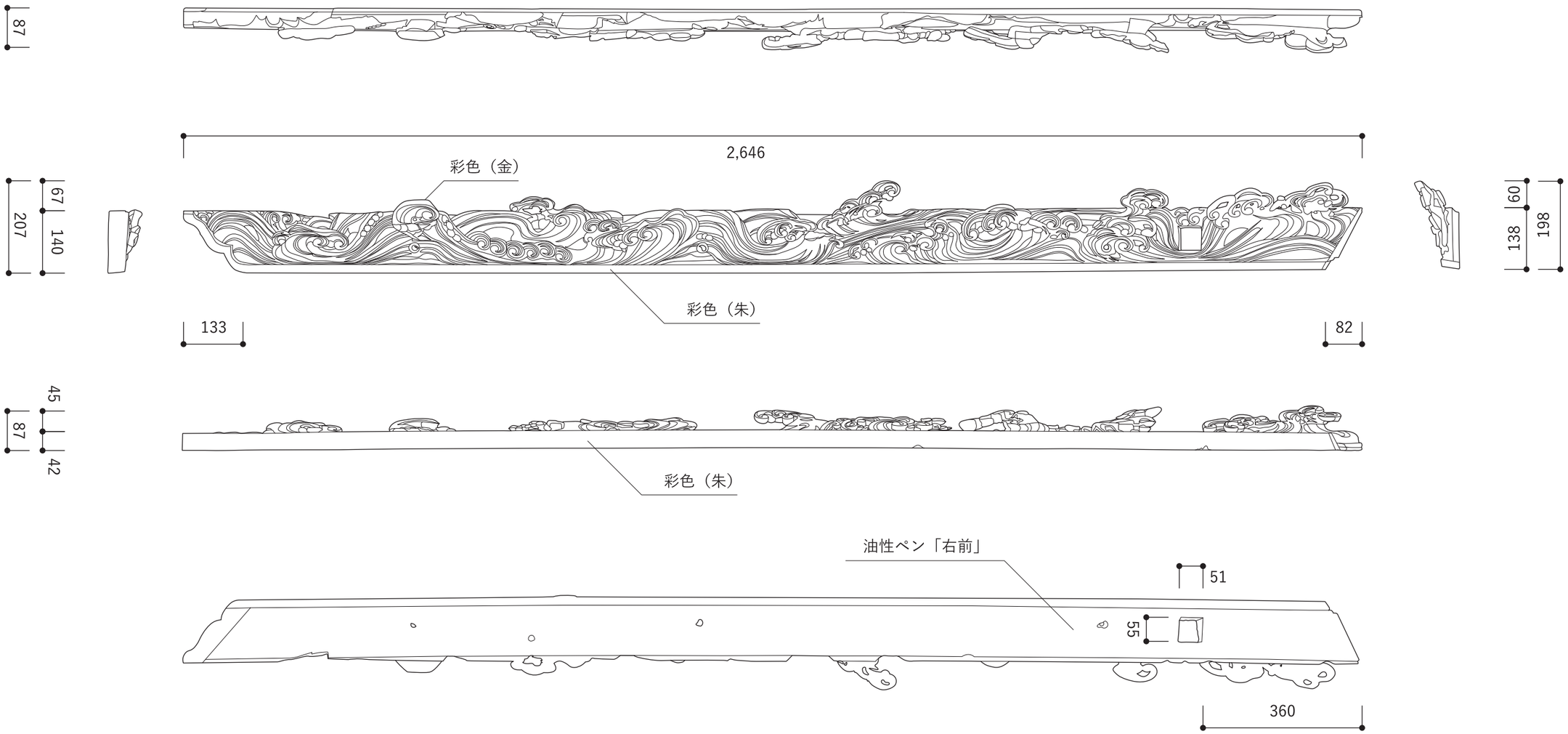


2-6：馬乗立と水押の繋材



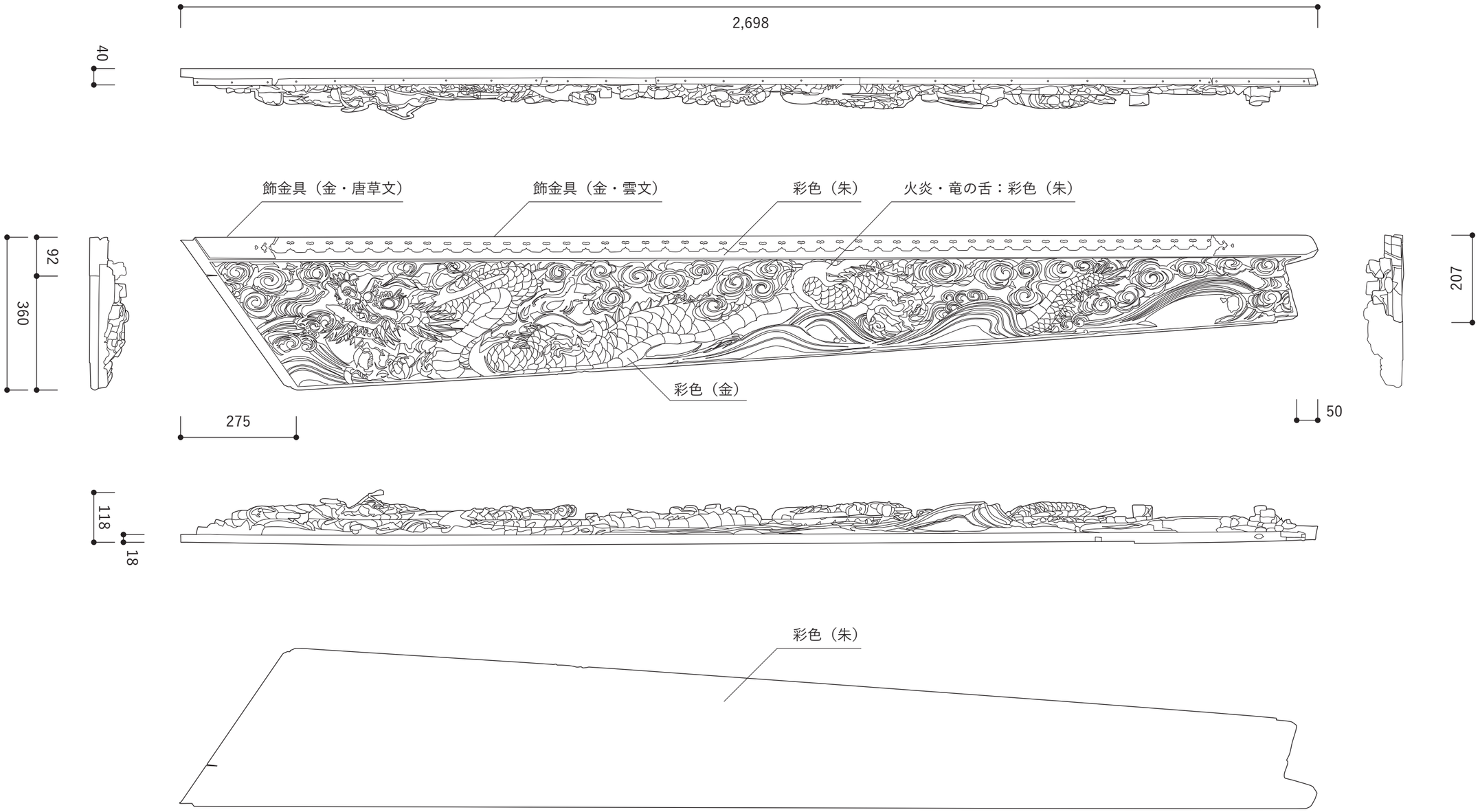
2-7-L：五尺（左下）

20　五尺（左下・波彫刻）（1/10）



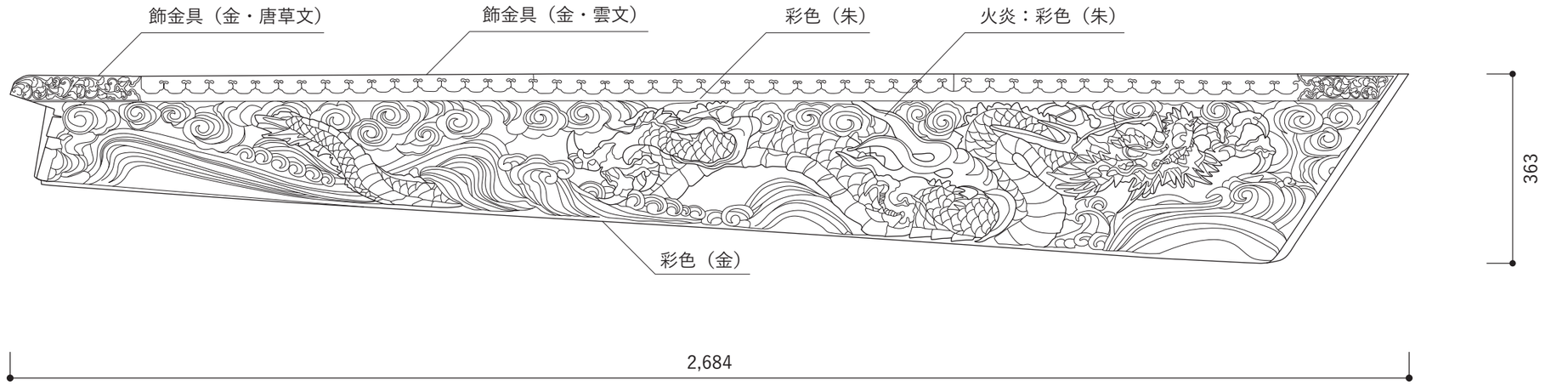
2-7-R：五尺（右下）

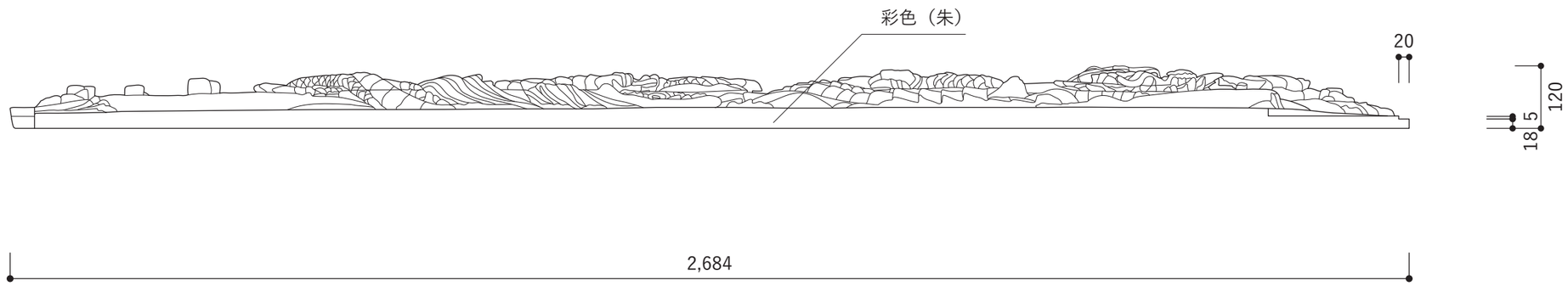
21　五尺（右下・波彫刻）（1/10）



2-8-L：五尺（左上）

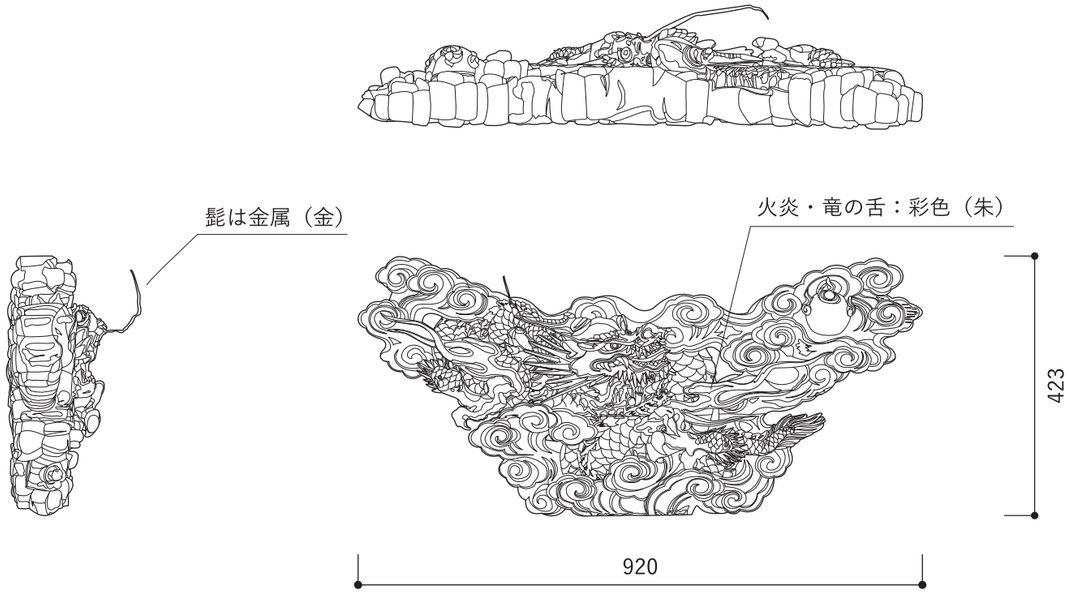
22　五尺（左上・波と雲気文に竜彫刻）（1/10）

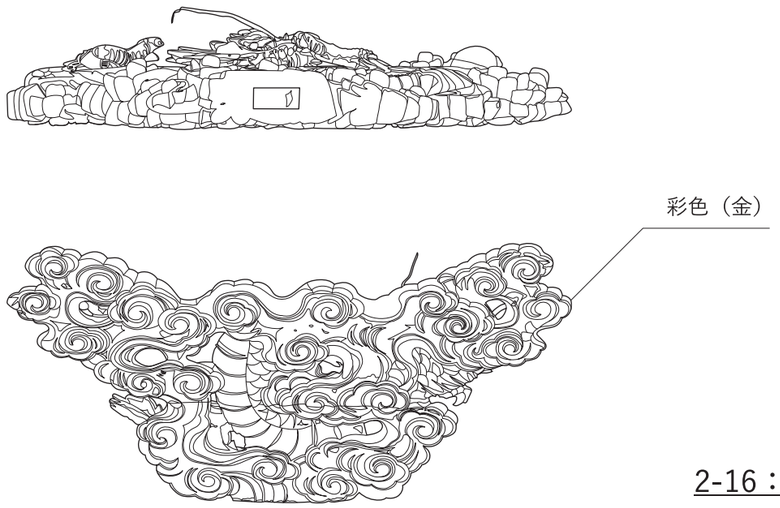




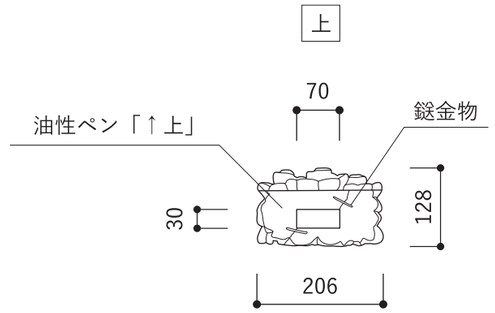
2-11-R：五尺（右）

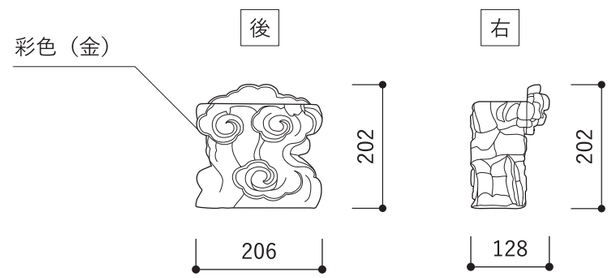
23　五尺（右・波と雲気文に竜彫刻・吽）（1/10）



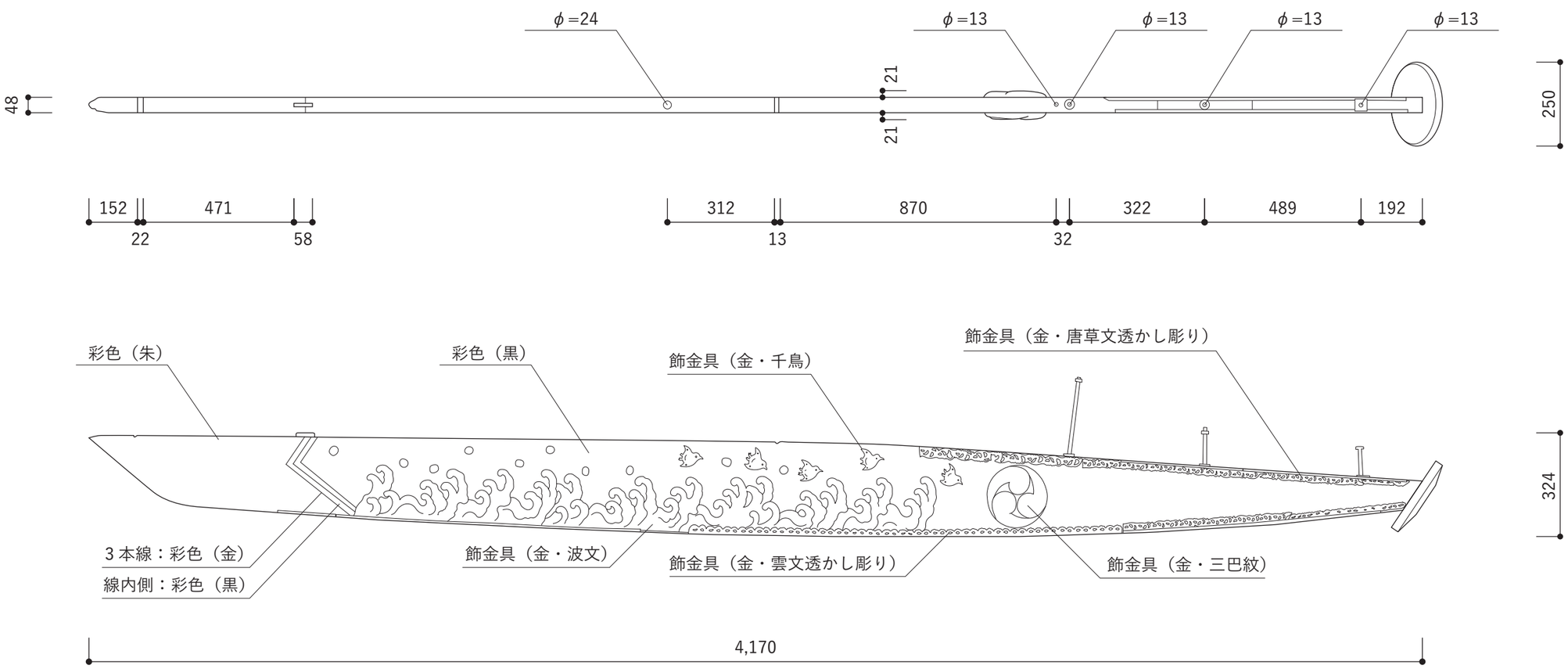


2-16：銛もたせ

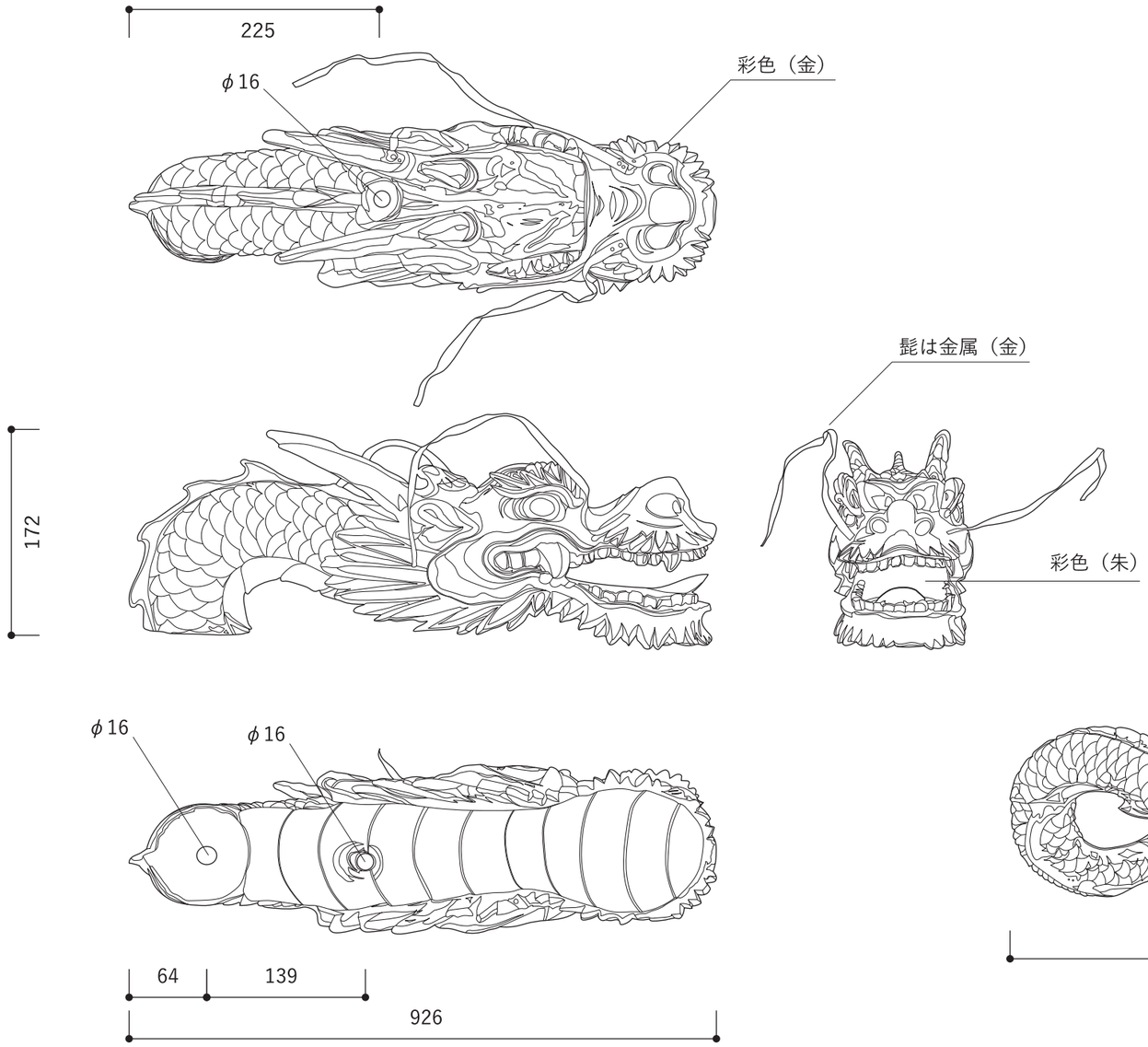




2-10-L：銛持たせ（下：雲彫刻）（中島）

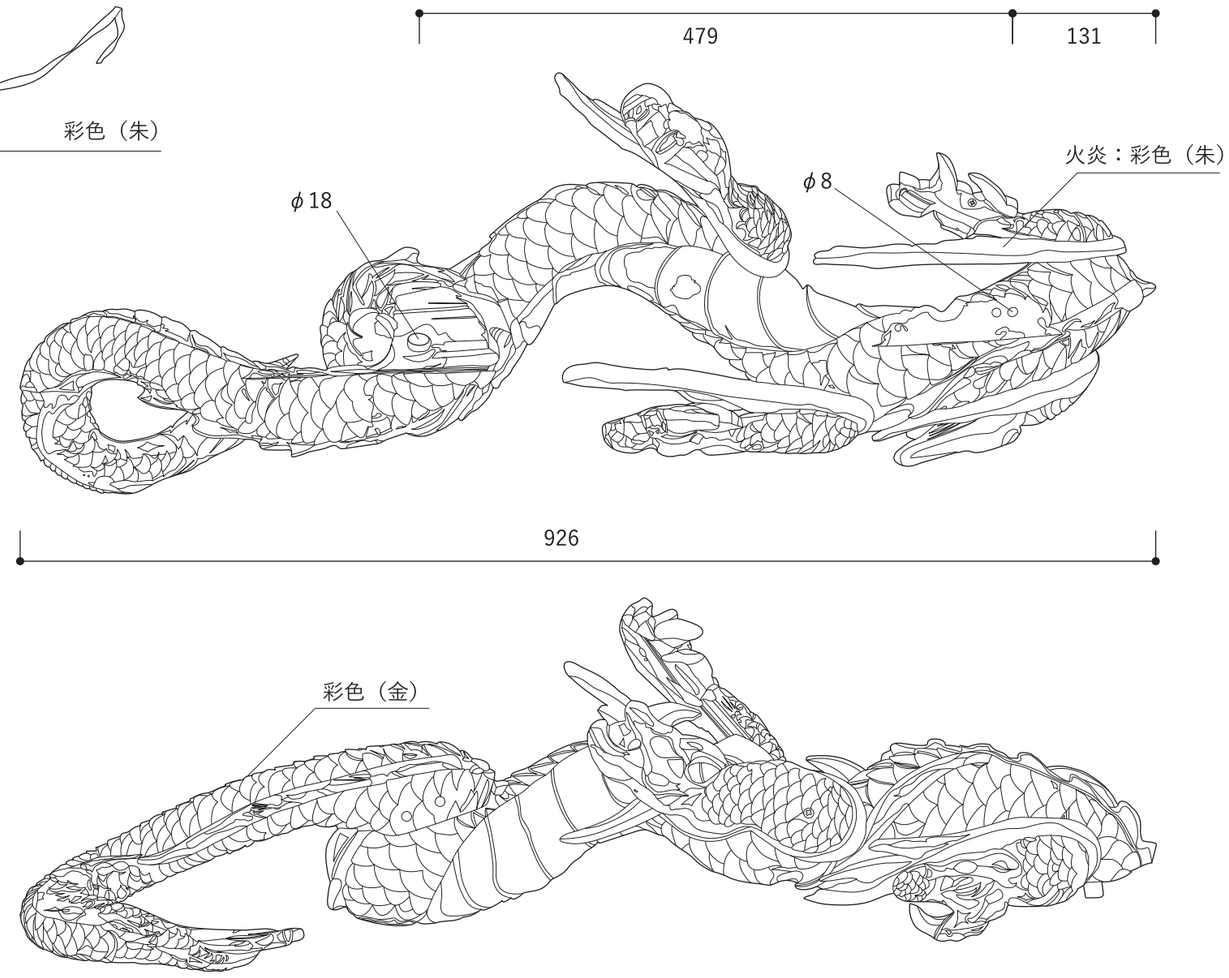

φ=24
φ=13
φ=13
φ=13
φ=13
48
21
21
250
152
471
312
870
322
489
192
22
58
13
32
彩色（朱）
彩色（黒）
飾金具（金・千鳥）
飾金具（金・唐草文透かし彫り）
324
3本線：彩色（金）
線内側：彩色（黒）
飾金具（金・波文）
飾金具（金・雲文透かし彫り）
飾金具（金・三巴紋）
4,170

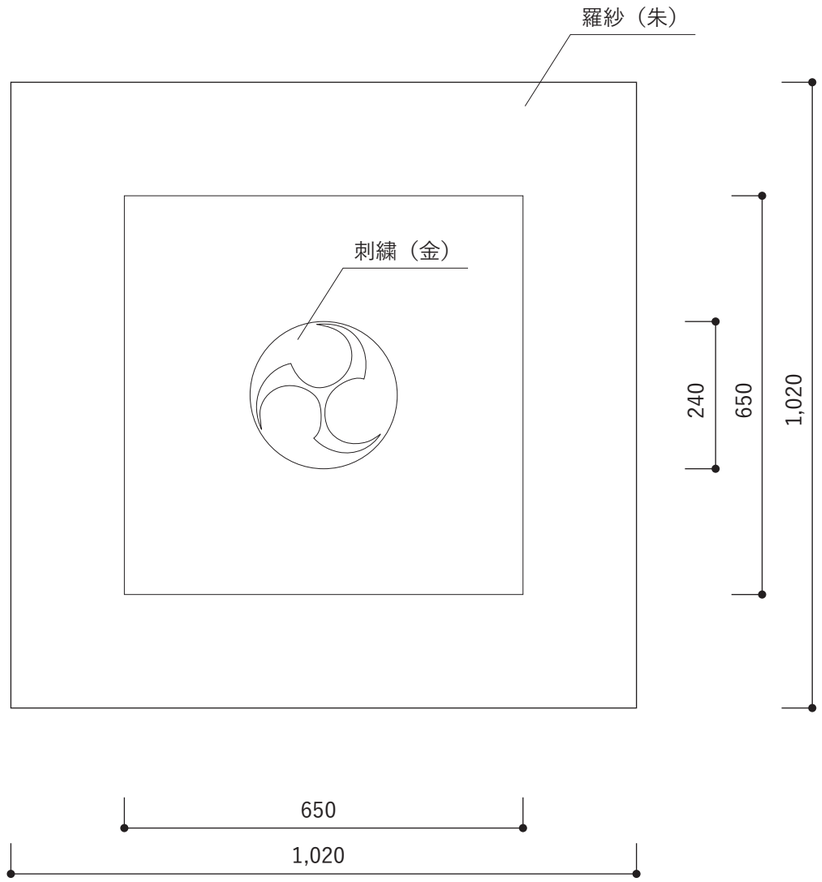
25 水押（1/15）



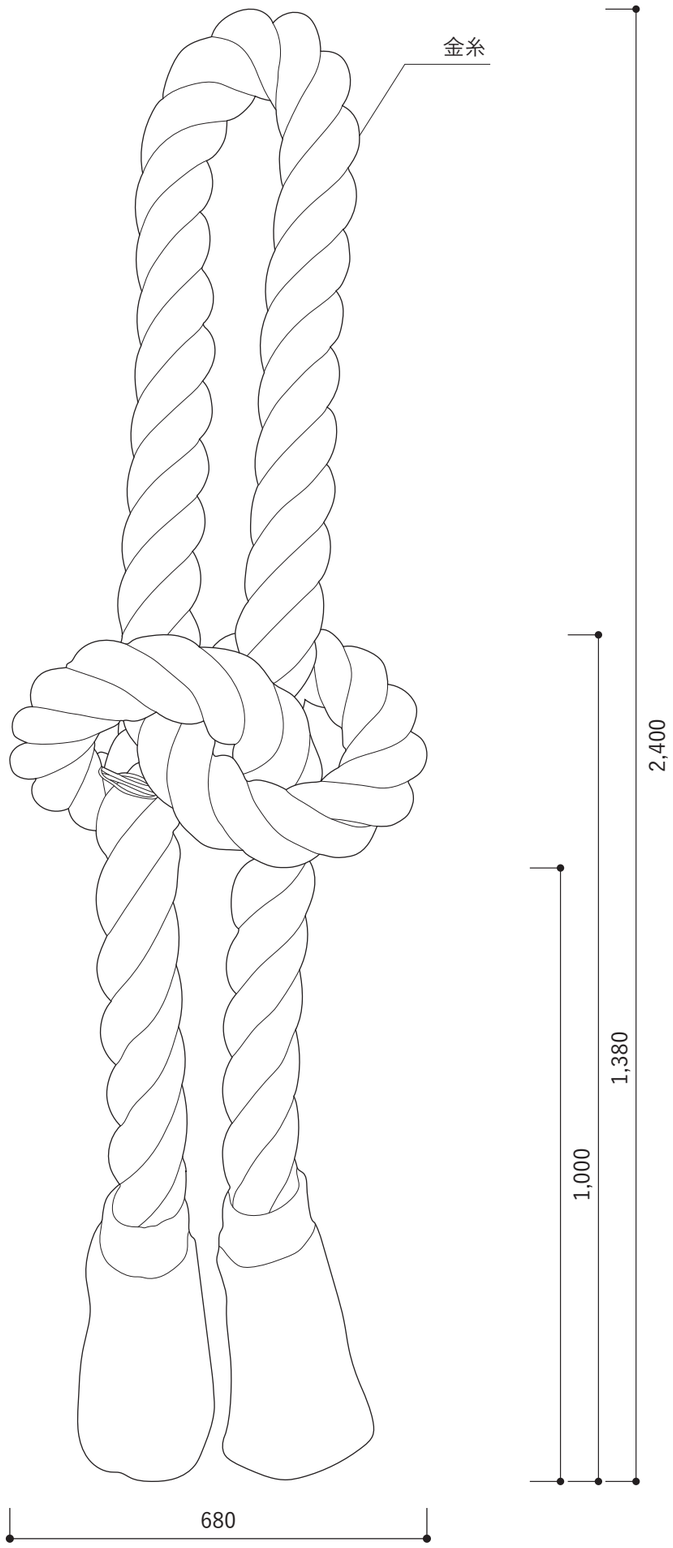
2-14：水押の竜彫刻（頭）

2-15：水押の竜彫刻（体）

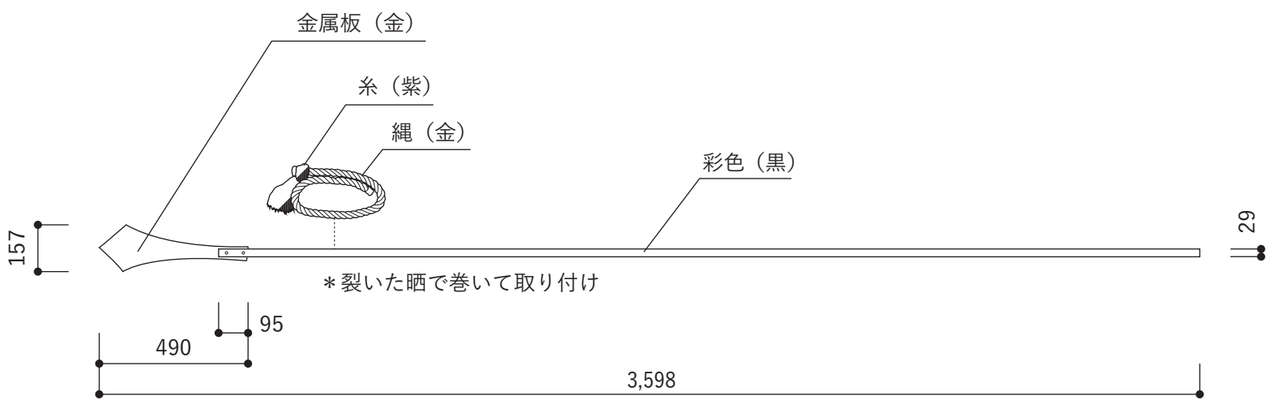




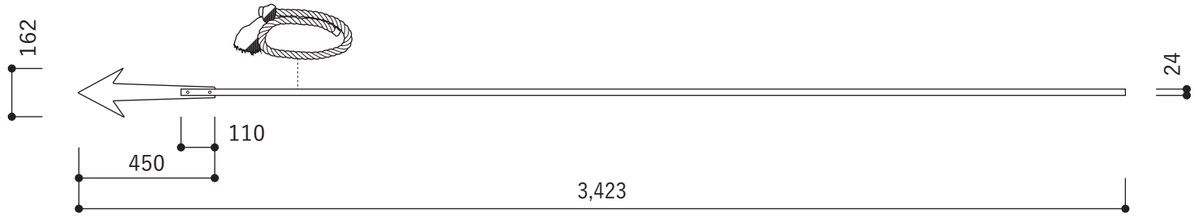
2-16：水押御紋（三つ巴紋）

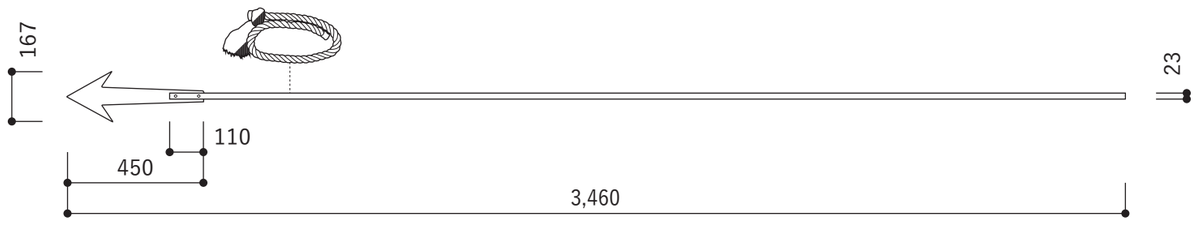


2-17：水押サガリ

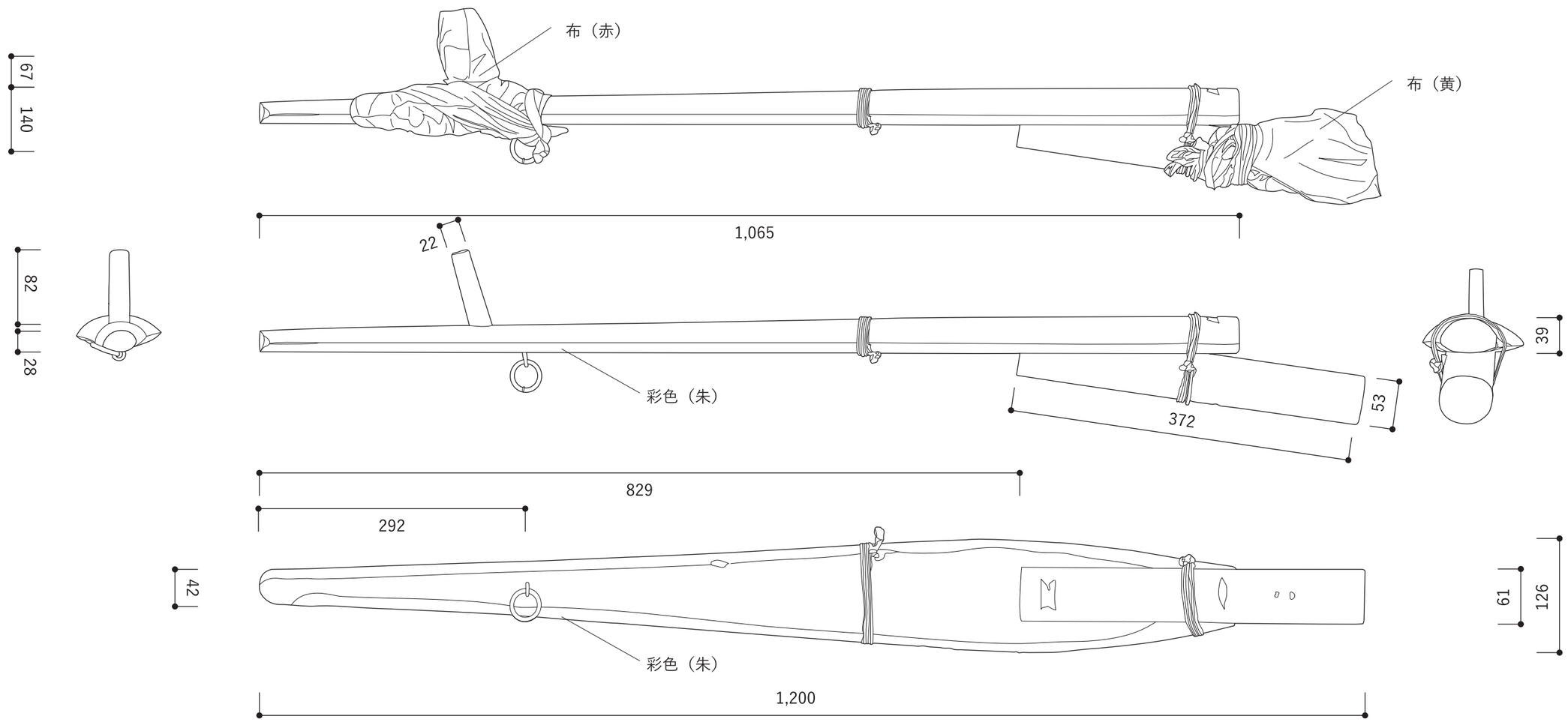


2-18：銛もたせに設置するトドメノモリ



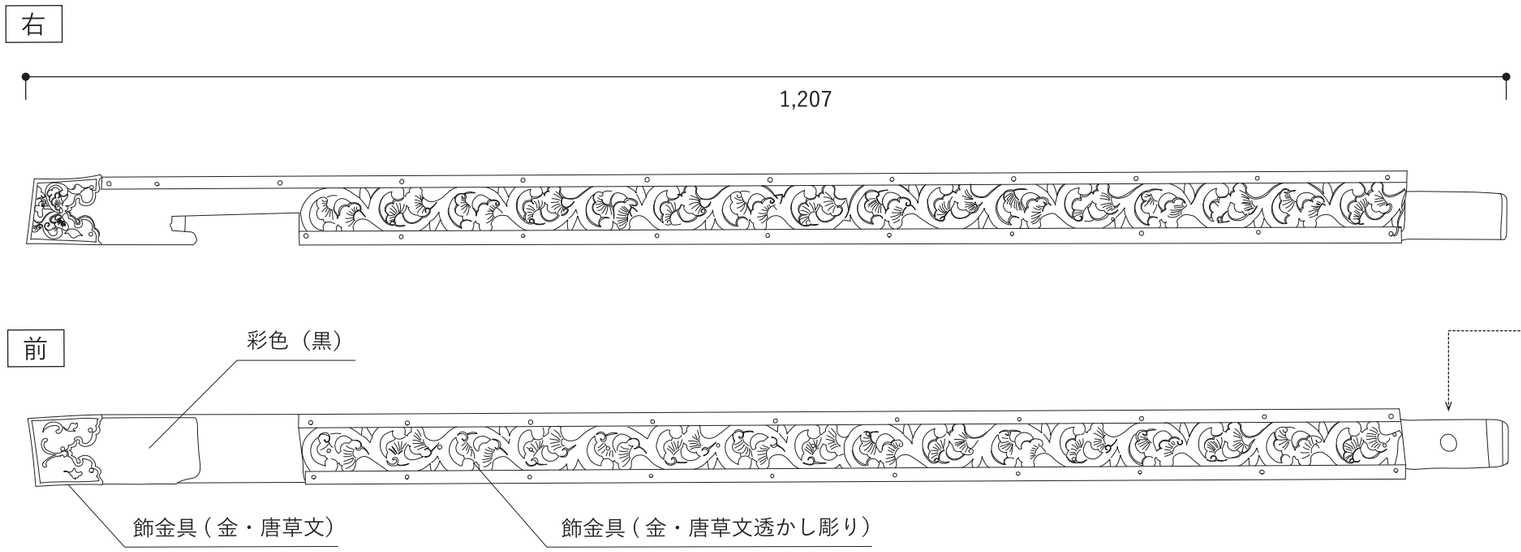


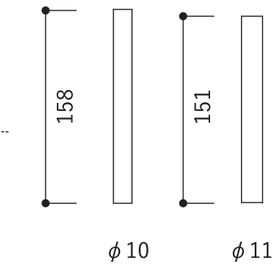
2-19：銛もたせに設置するモリ



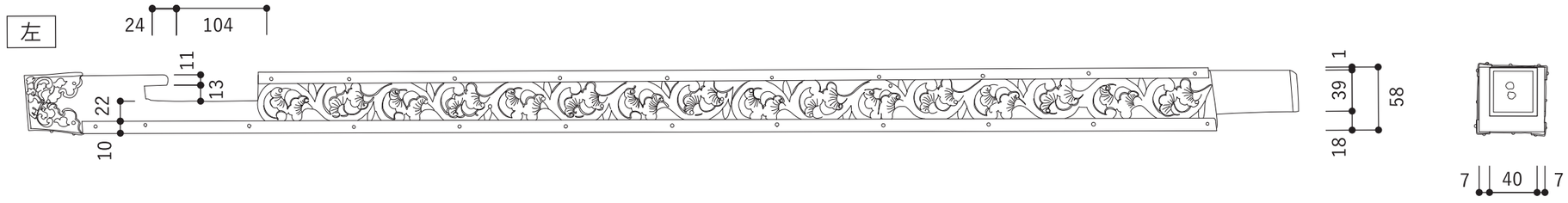
2-29：櫓

29　櫓（1/5）



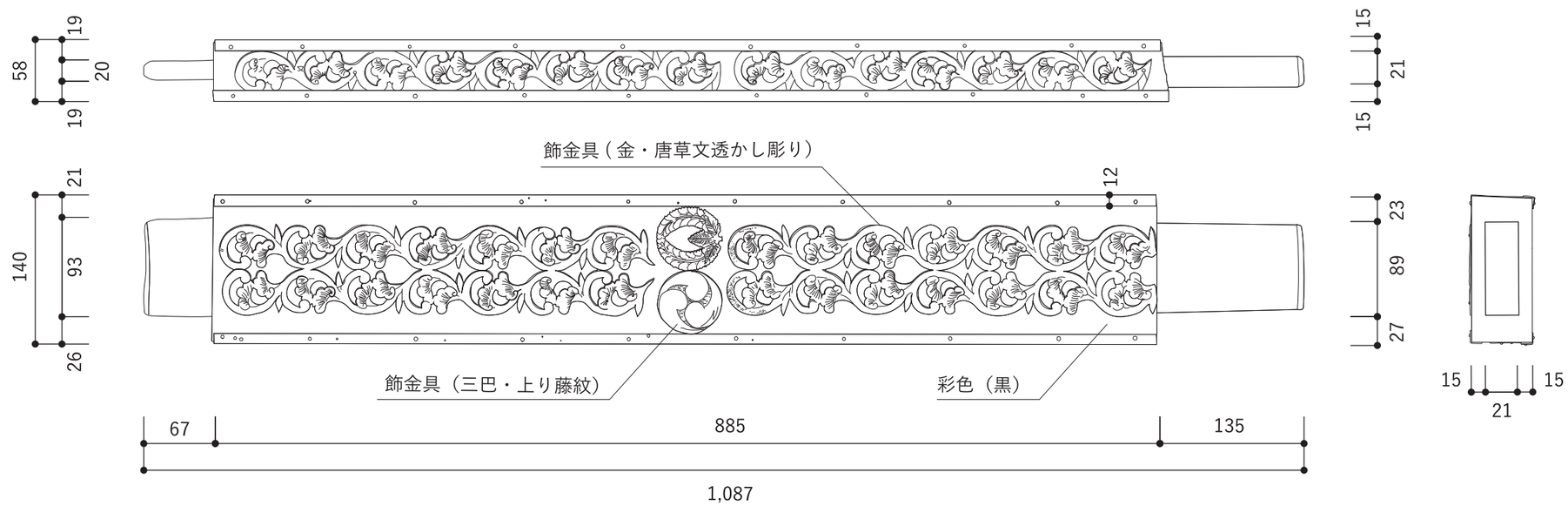


3-3：付属品（1/5）

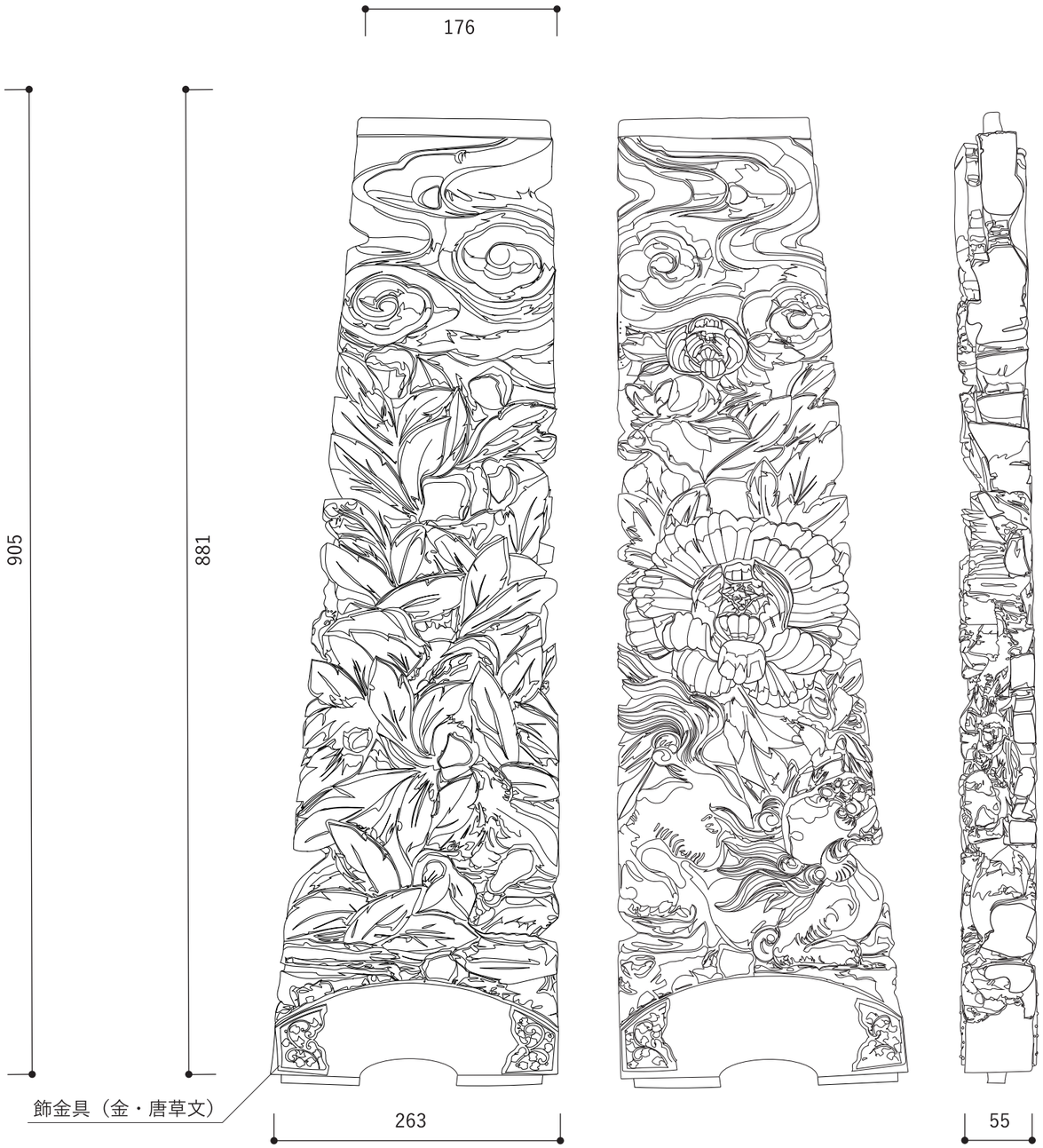


3-3-L(3-3-R): 艝立柱（左外）

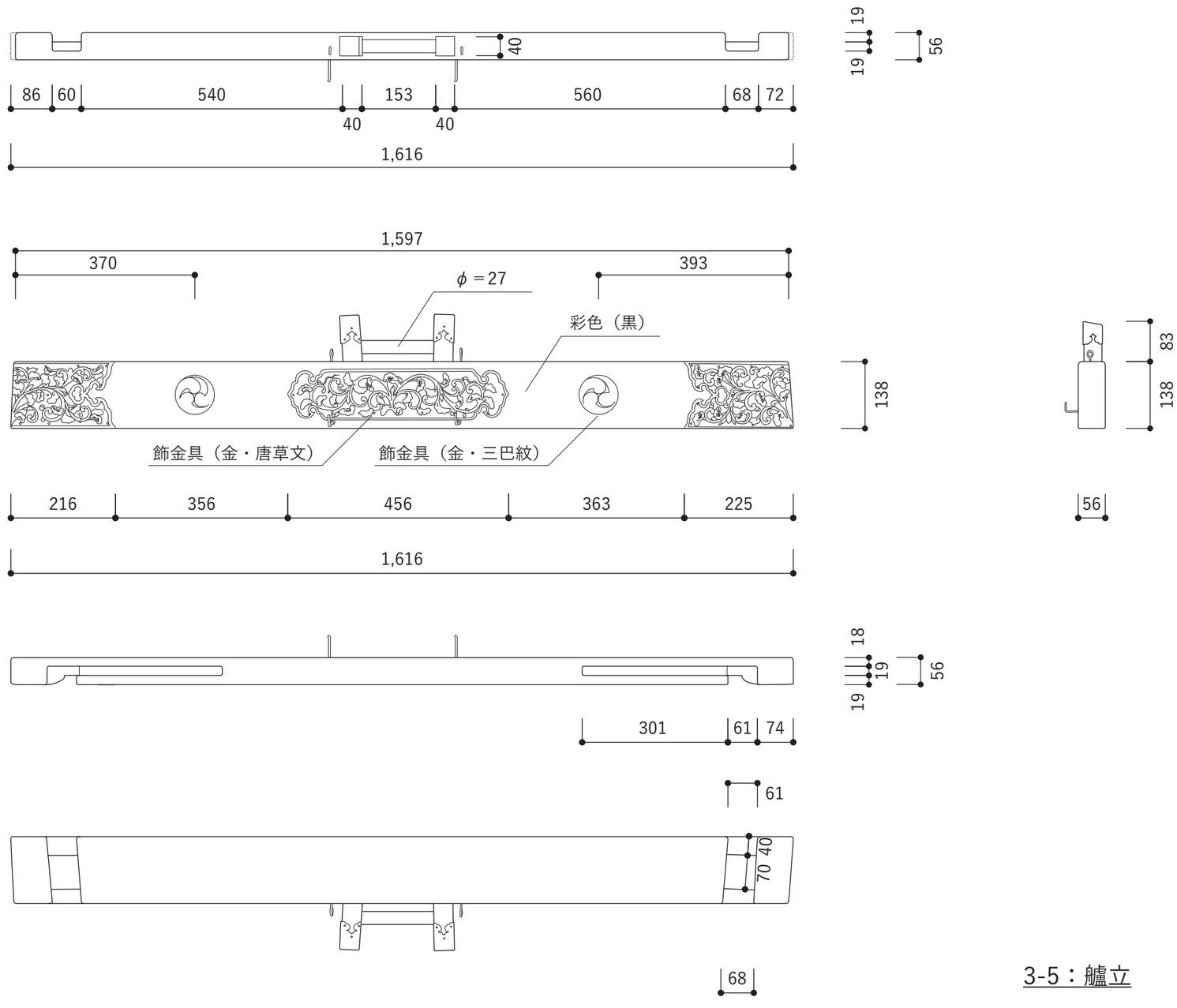
3-1-L(3-1-R)：艝立柱（左中）



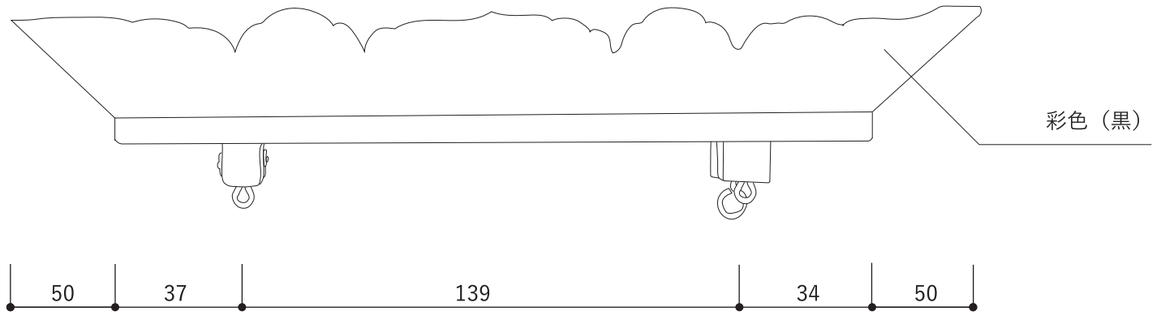
3-2-L：艝立の飾り彫刻

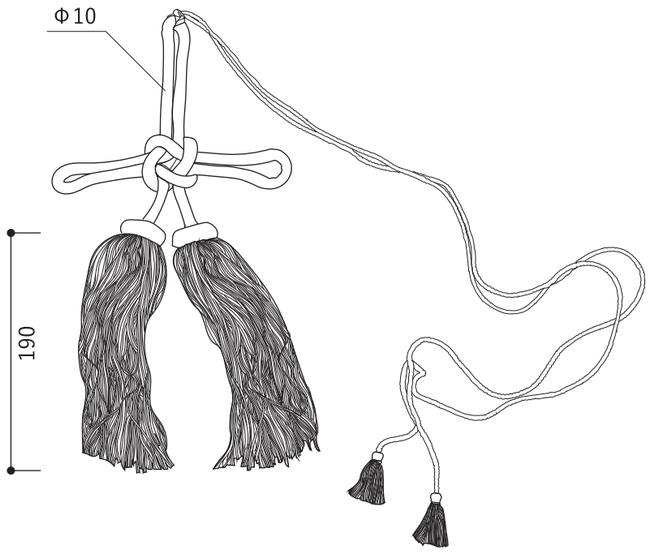


3-2-R：艝立の飾り彫刻

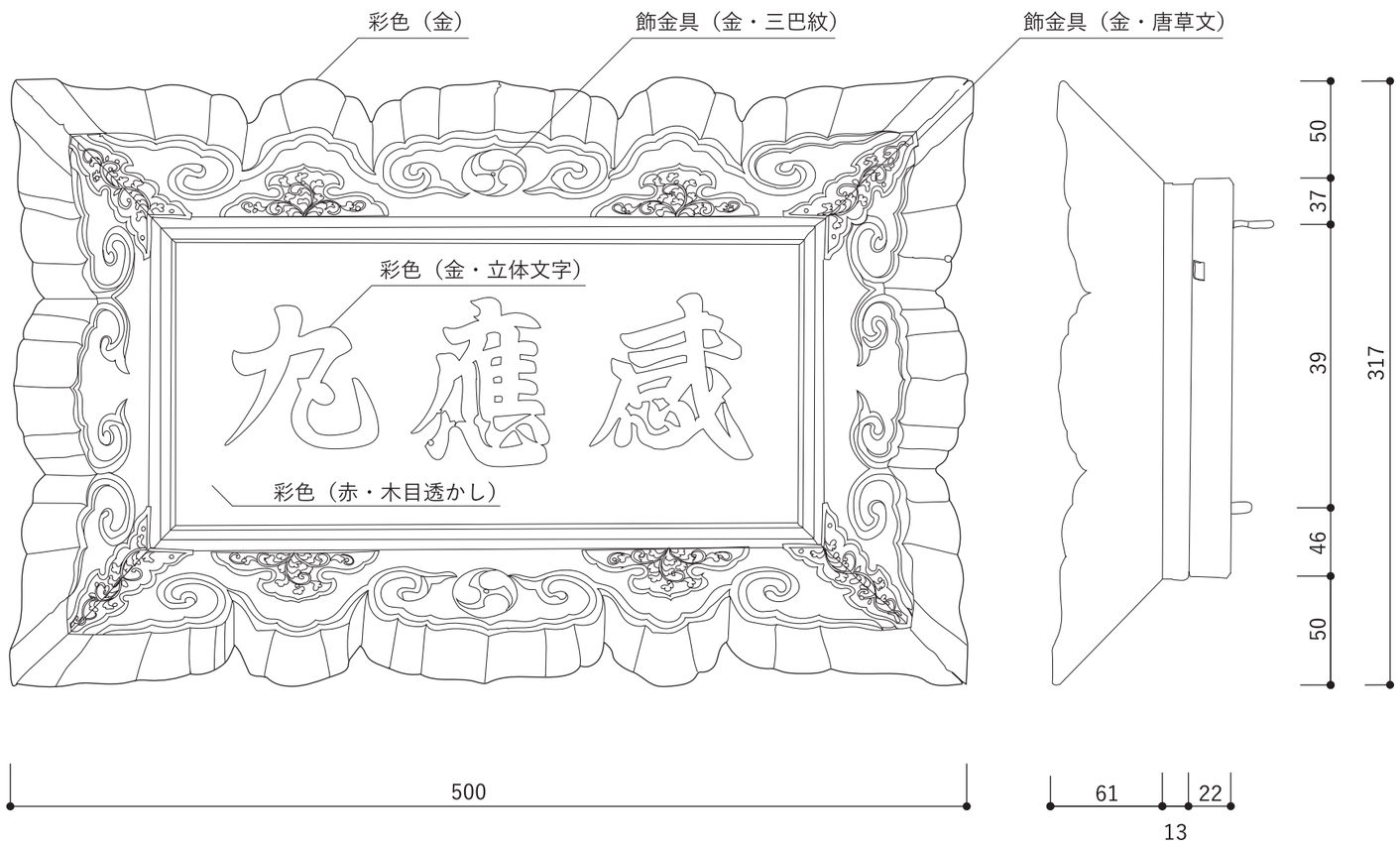

40
19
19
56
86
60
540
153
560
68
72
40
40
1,616
1,597
370
393
φ＝27
彩色（黒）
138
83
138
飾金具（金・唐草文）
飾金具（金・三巴紋）
216
356
456
363
225
56
1,616
18
19
19
56
301
61
74
61
40
70
68

3-5：艫立



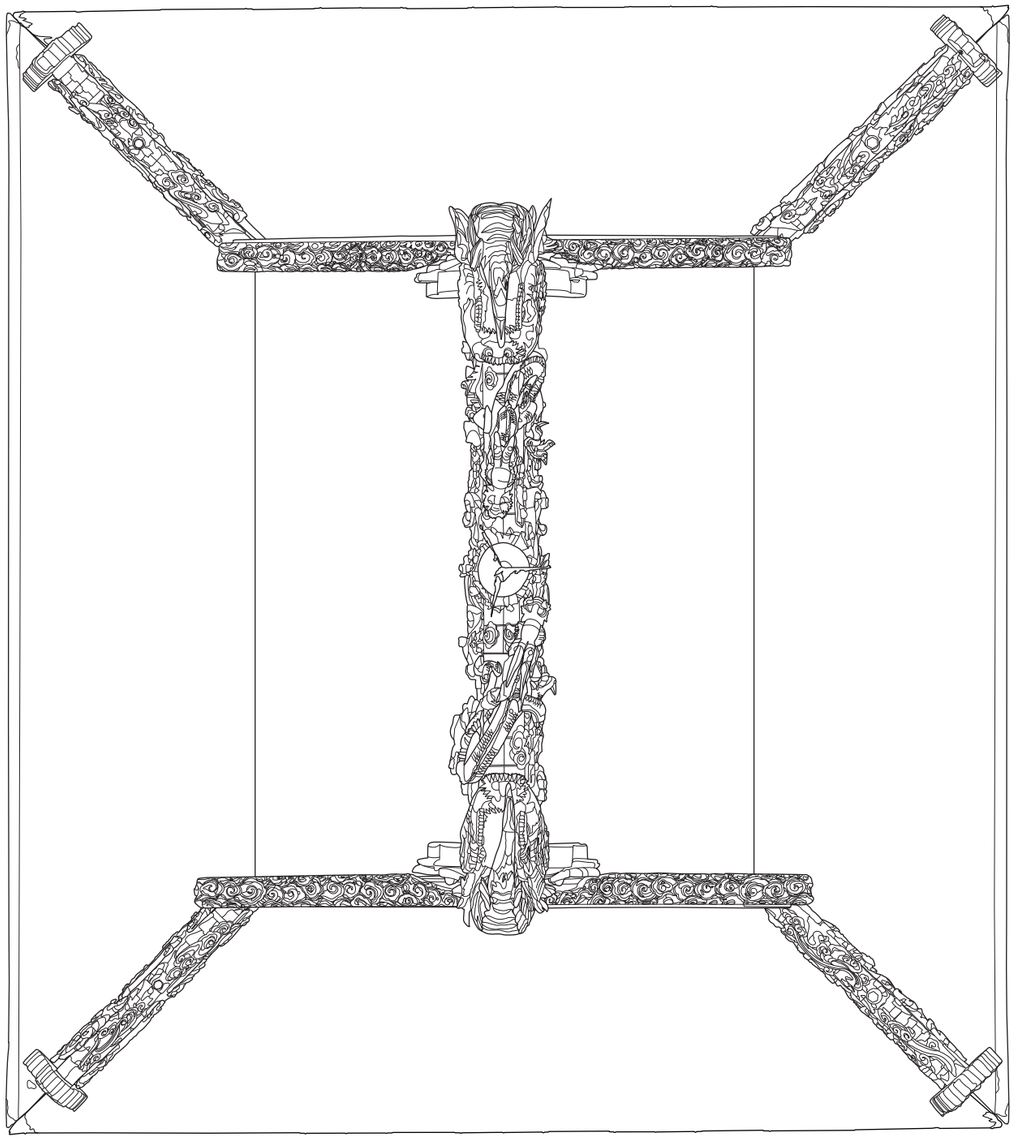


3-9：艪立の飾房（1/2）



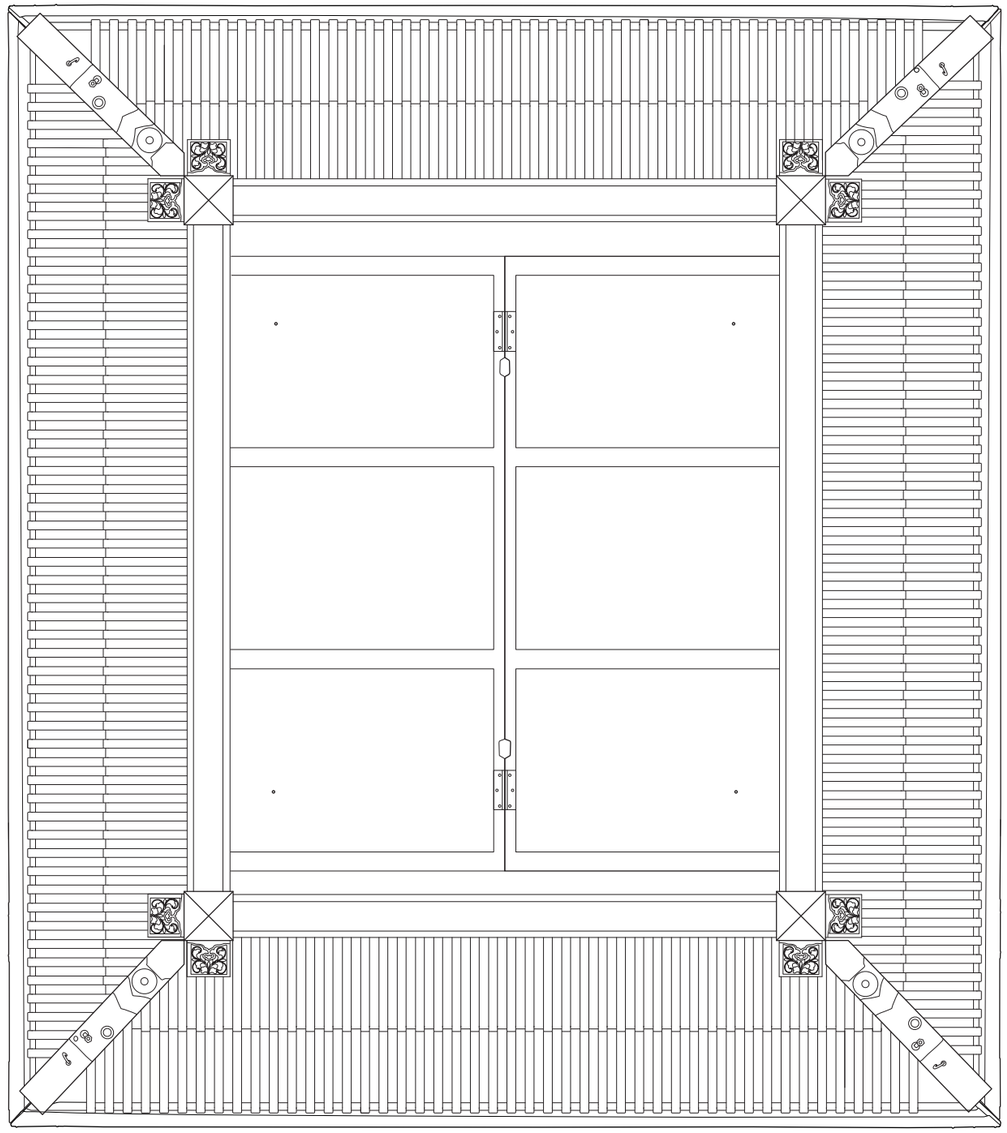
3-8：扁額「感應丸」（船名額）（1/5）

▲
前側

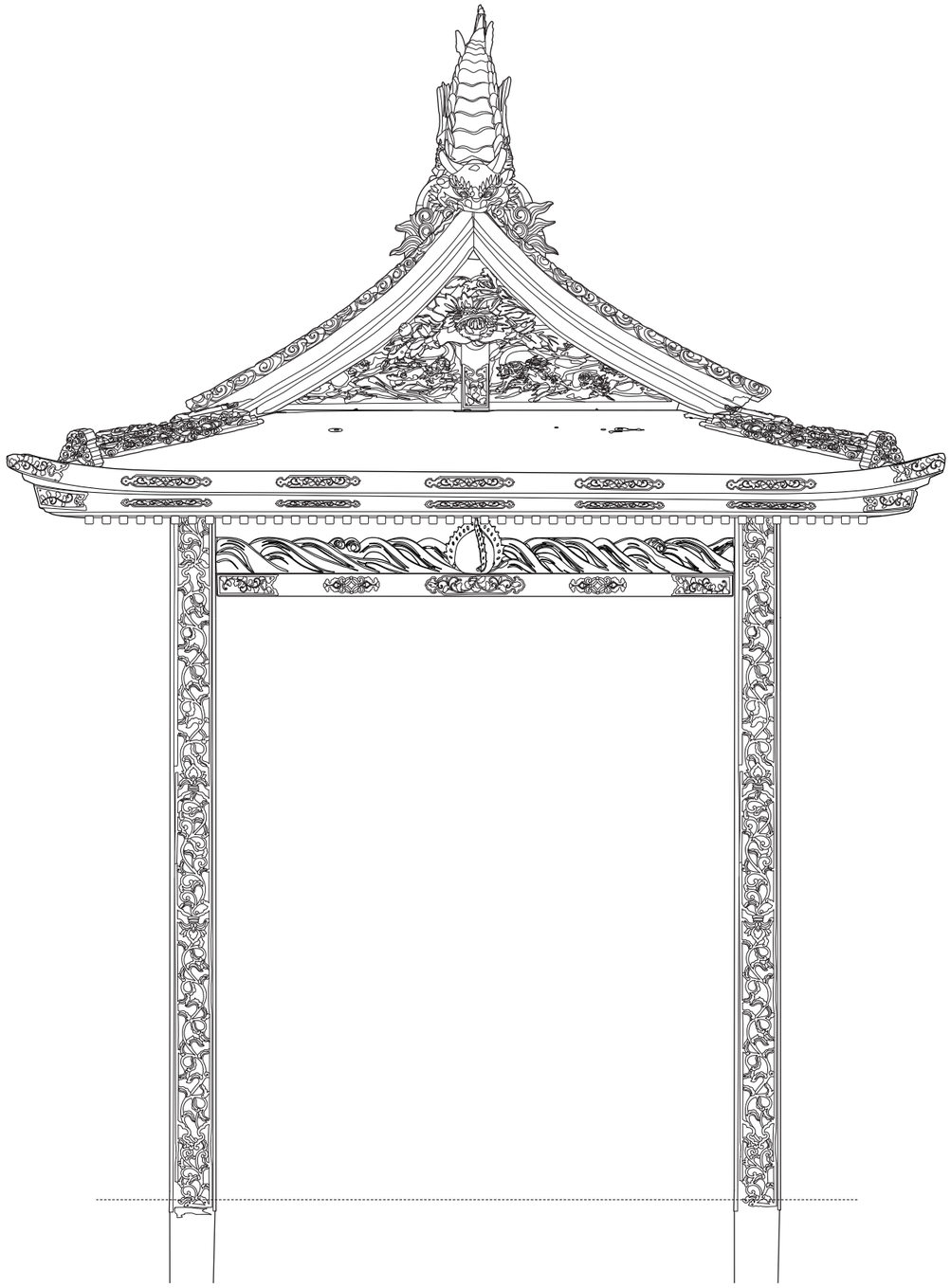


屋形屋根伏図（1/10）

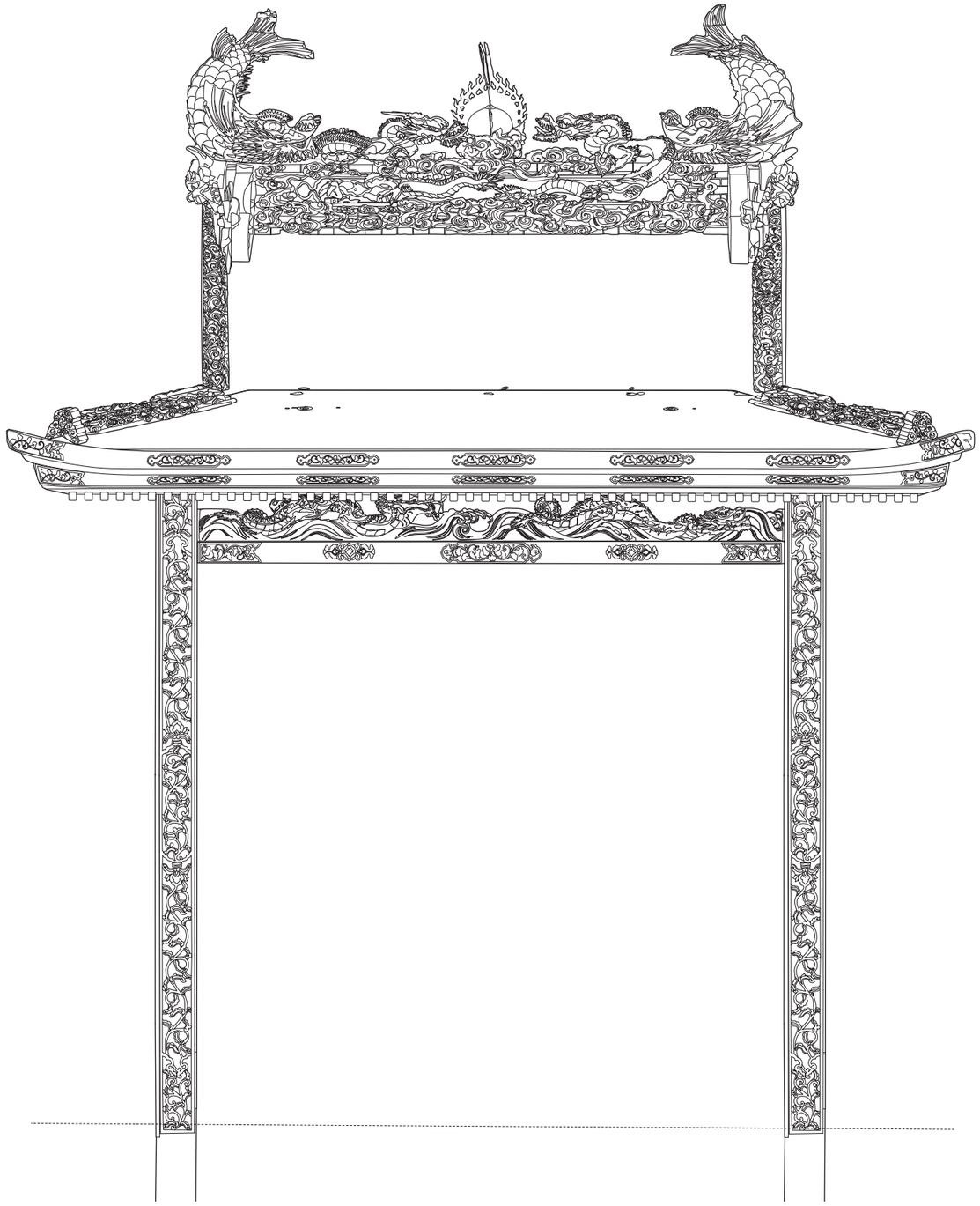
▲
前側



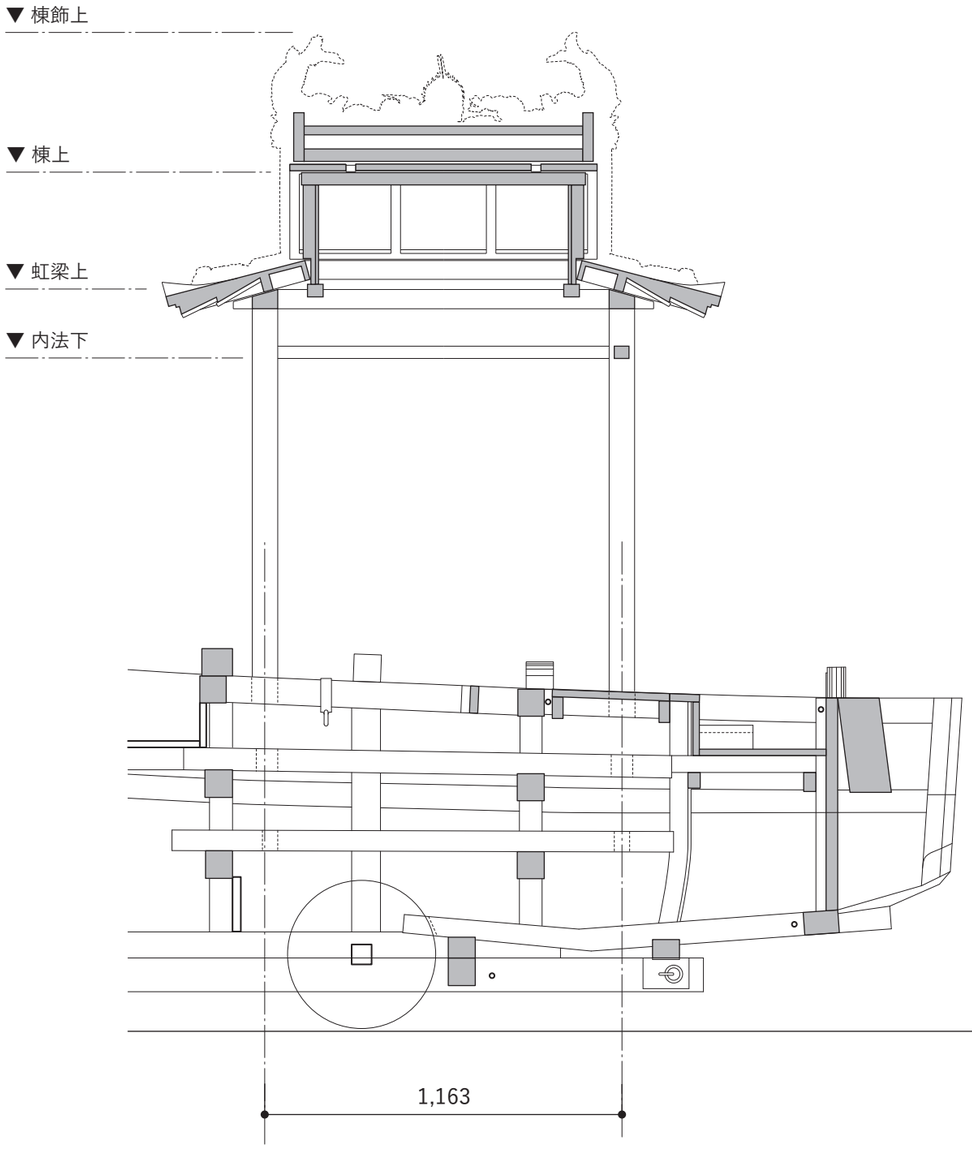
屋形天井伏図（1/10）



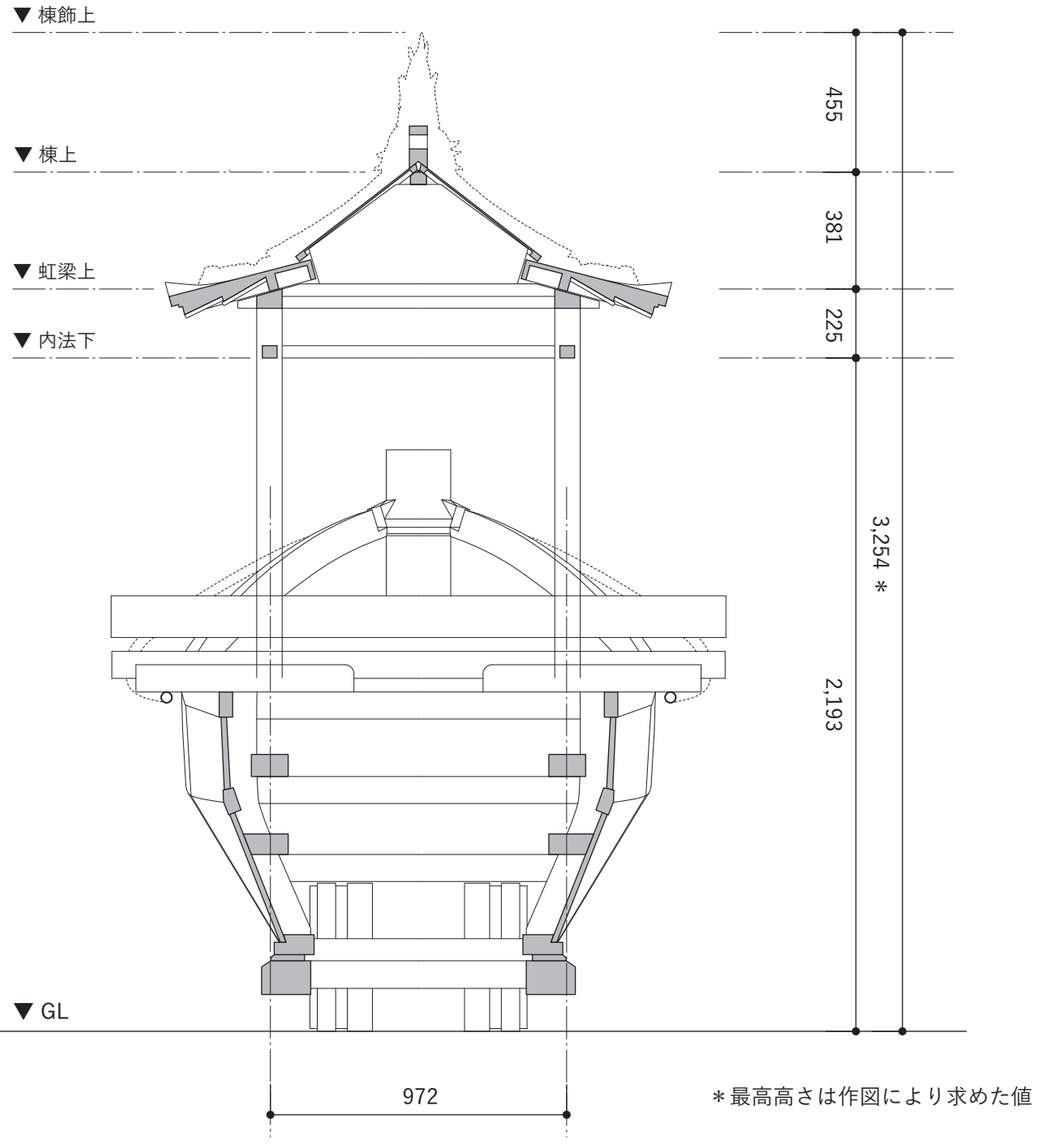
屋形立面図（前側）（1/10）



屋形屋根伏図（左側）（1/10）

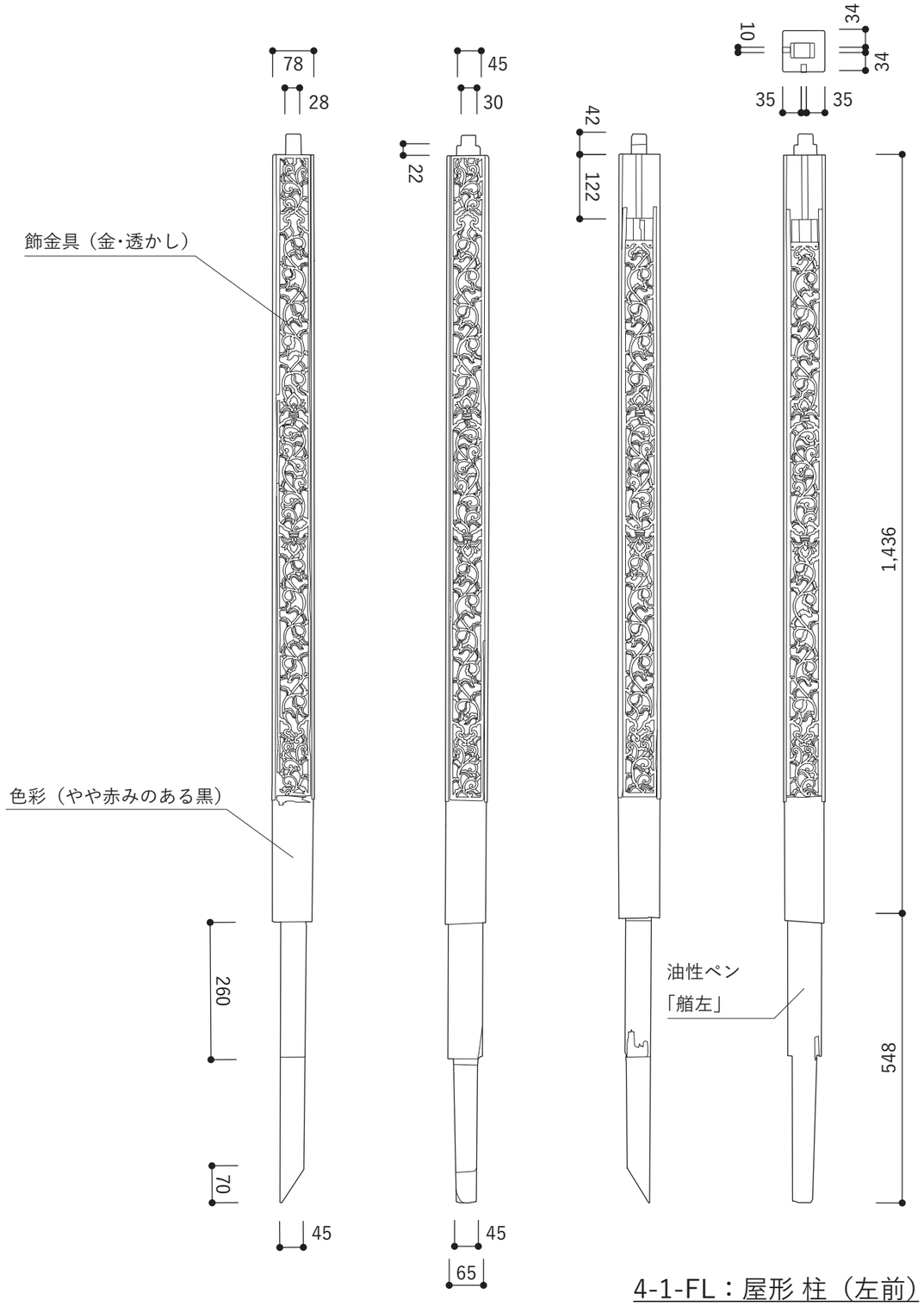


屋形断面図（桁行）（1/20）

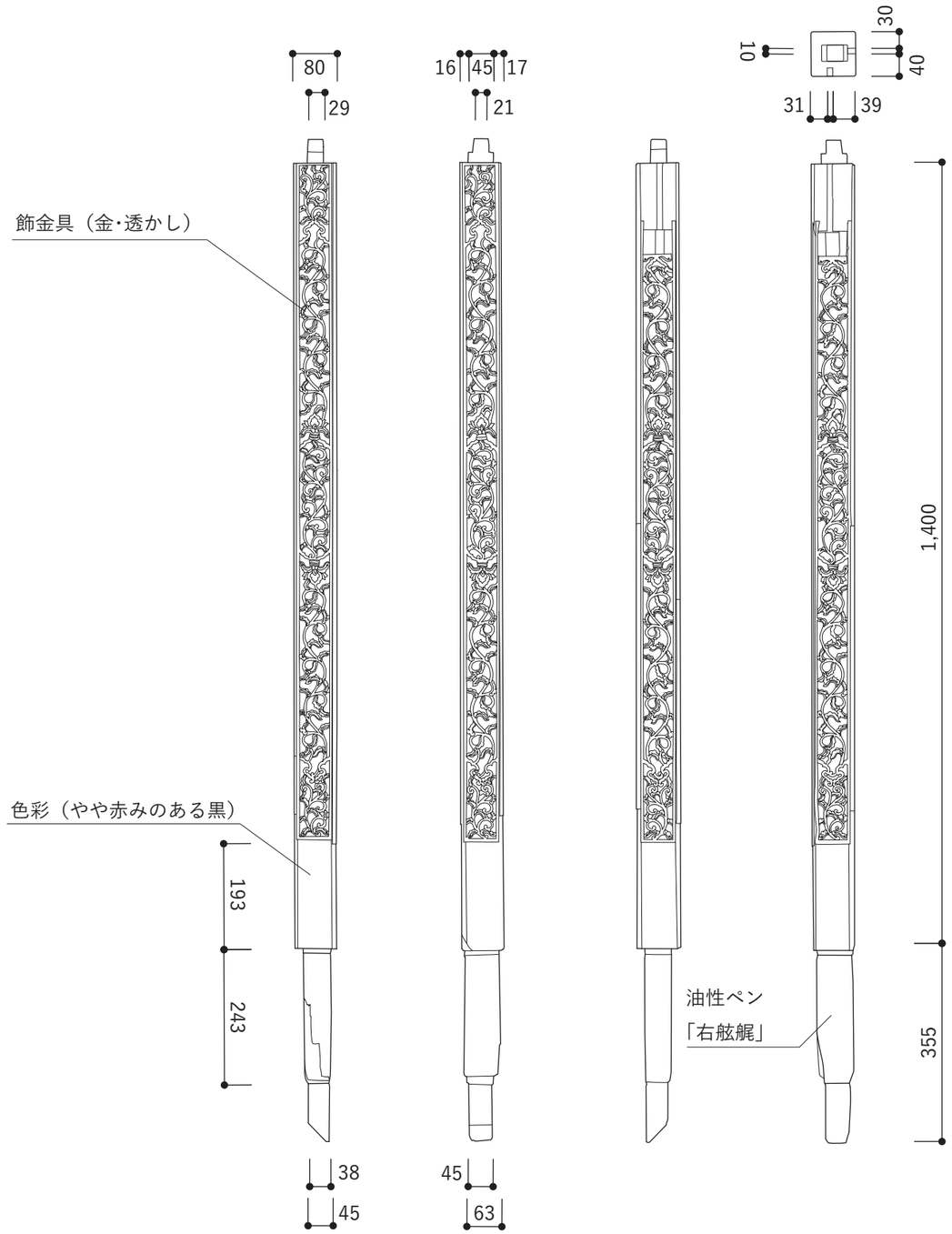


＊最高高さは作図により求めた値

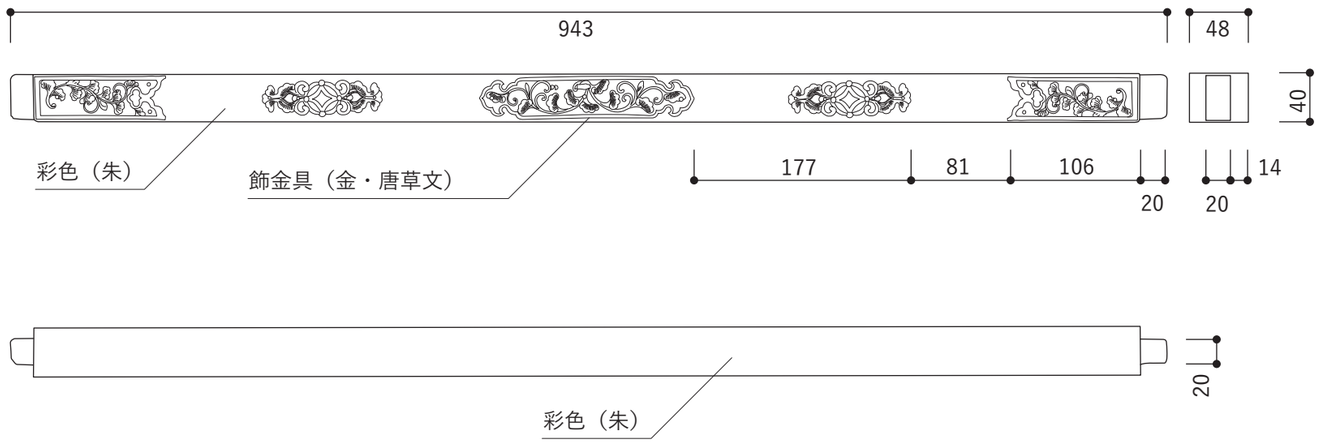
屋形断面図（梁間）（1/20）



4-1-FL：屋形 柱（左前）

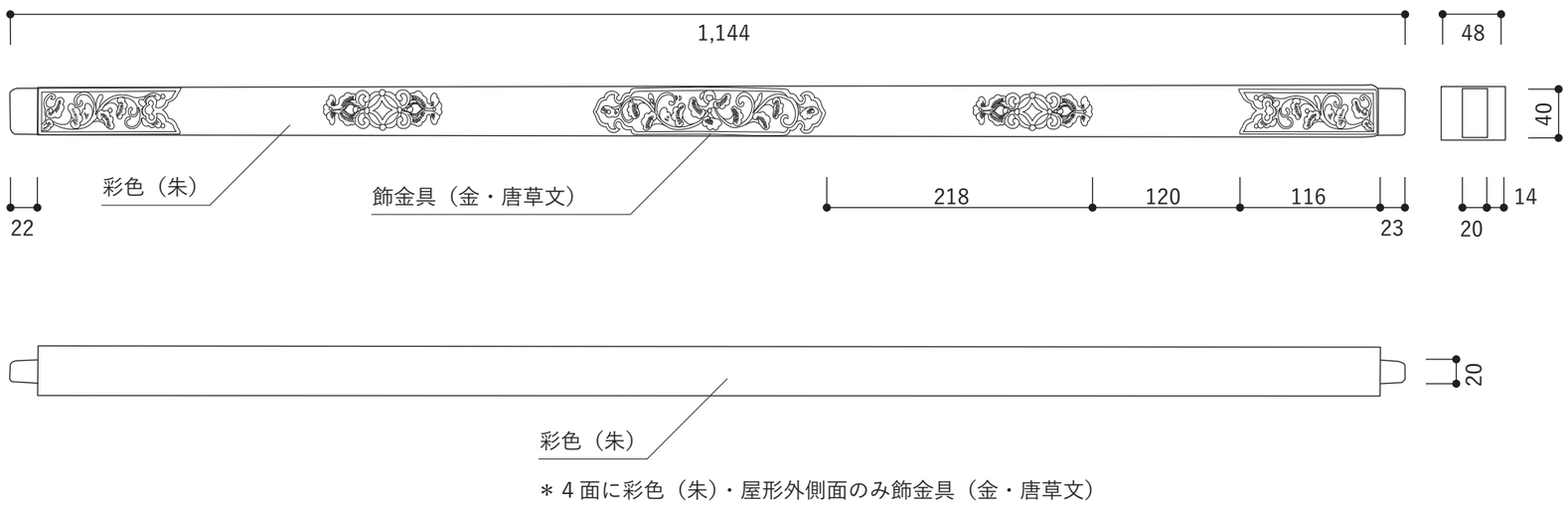


4-1-BL：屋形 柱（左後）



＊４面に彩色（朱）・屋形外側面のみ飾金具（金・唐草文）

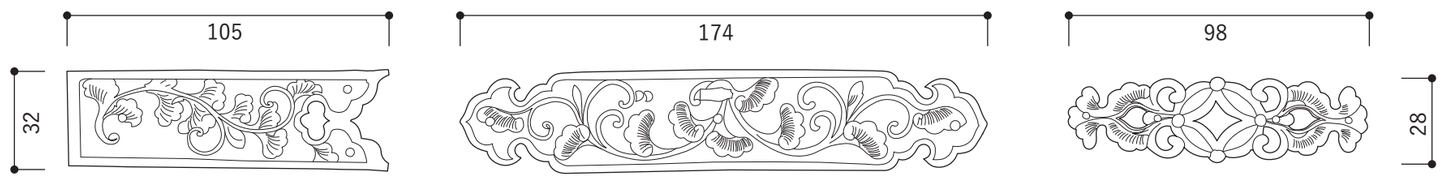
4-2-F（4-2-B）：屋形 無目鴨居（前）

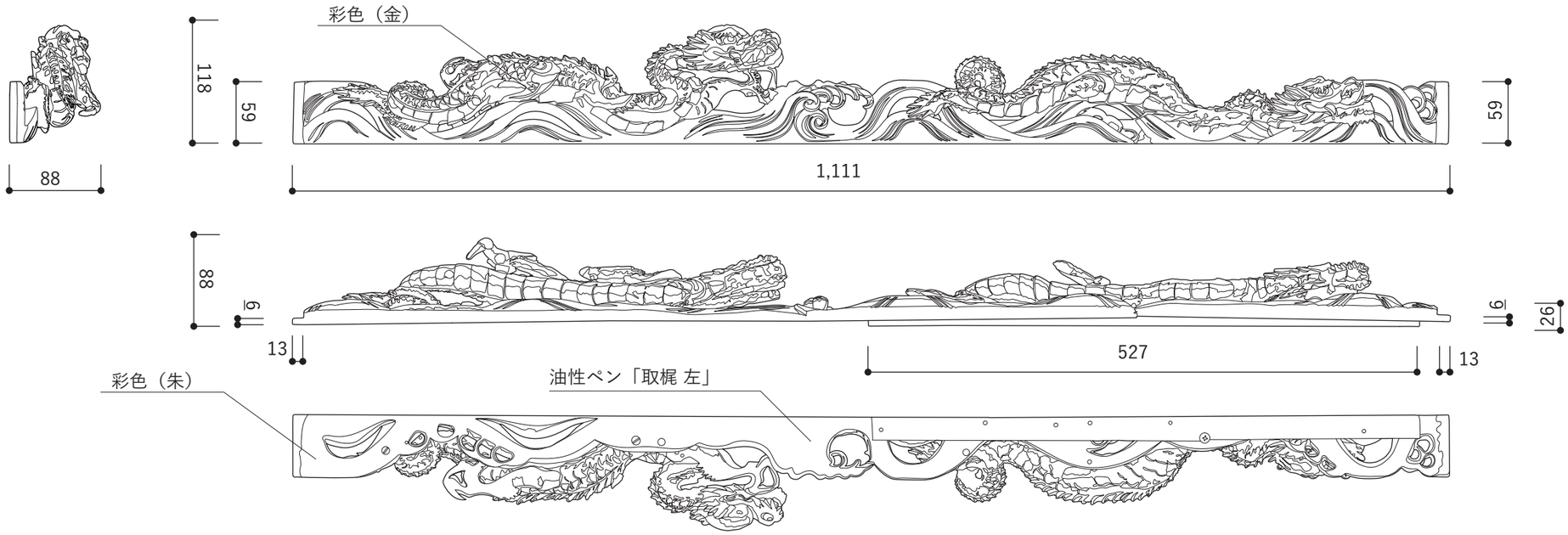


＊４面に彩色（朱）・屋形外側面のみ飾金具（金・唐草文）

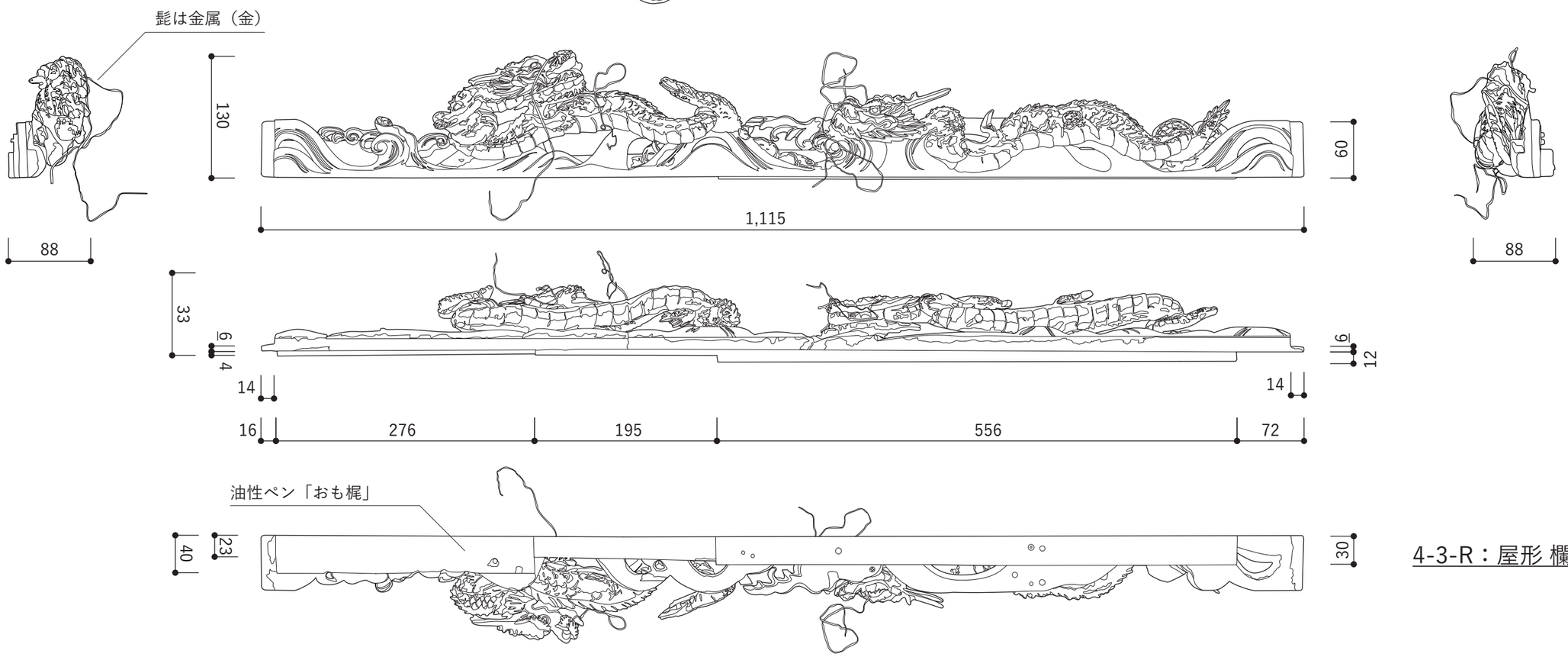
4-2-L（4-2-R）：屋形 無目鴨居（左）

屋形 無目鴨居飾金具拡大（1/2）

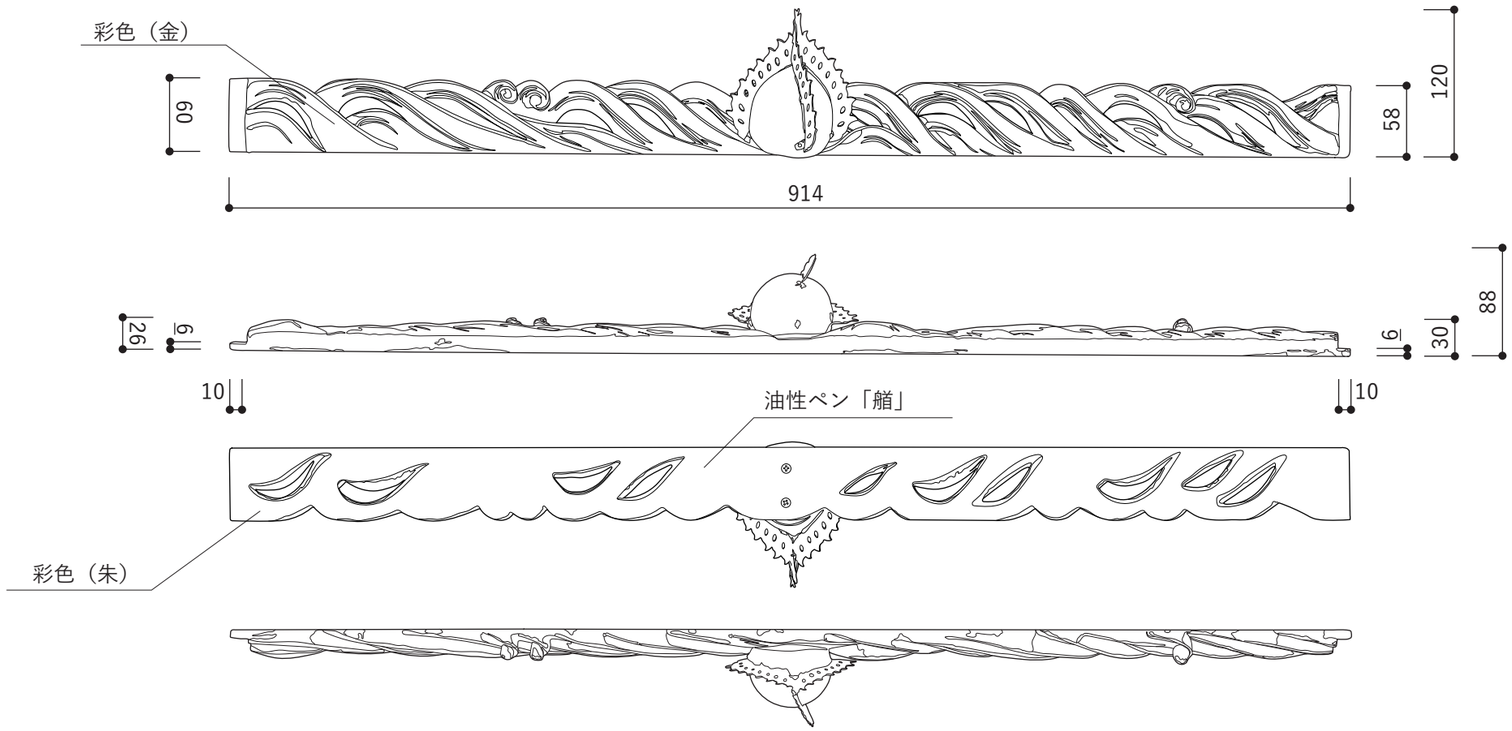




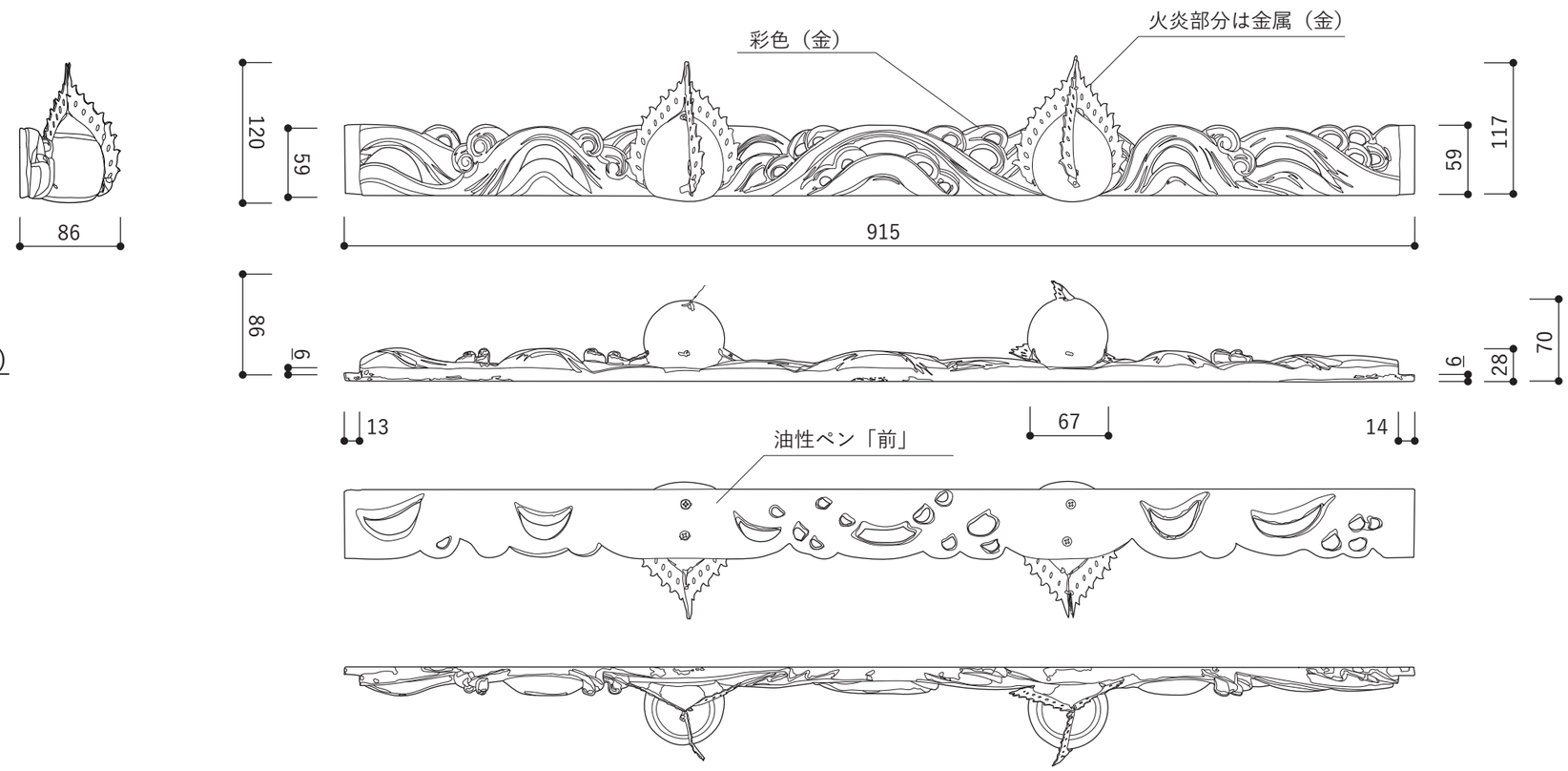
4-3-L：屋形 欄間（左）



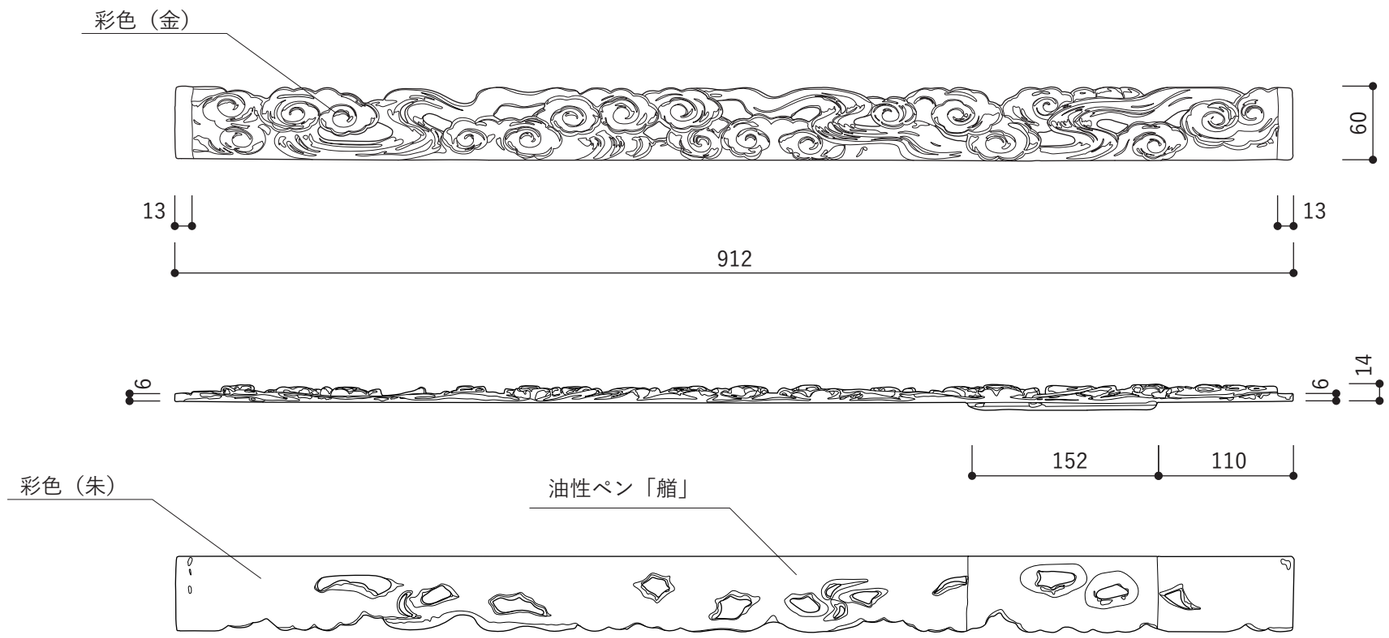
4-3-R：屋形 欄間（右）



4-3-F：屋形 欄間（前下）



4-3-B：屋形 欄間（後下）

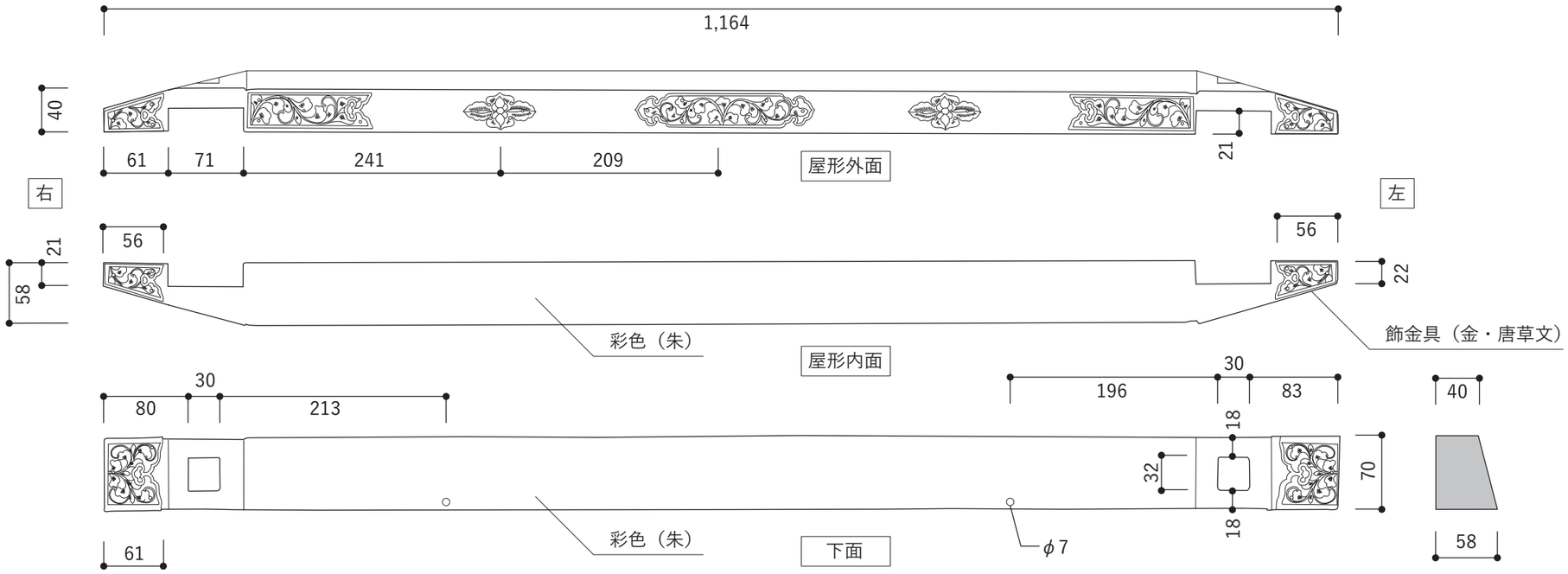


4-3-F：屋形 欄間（前上）

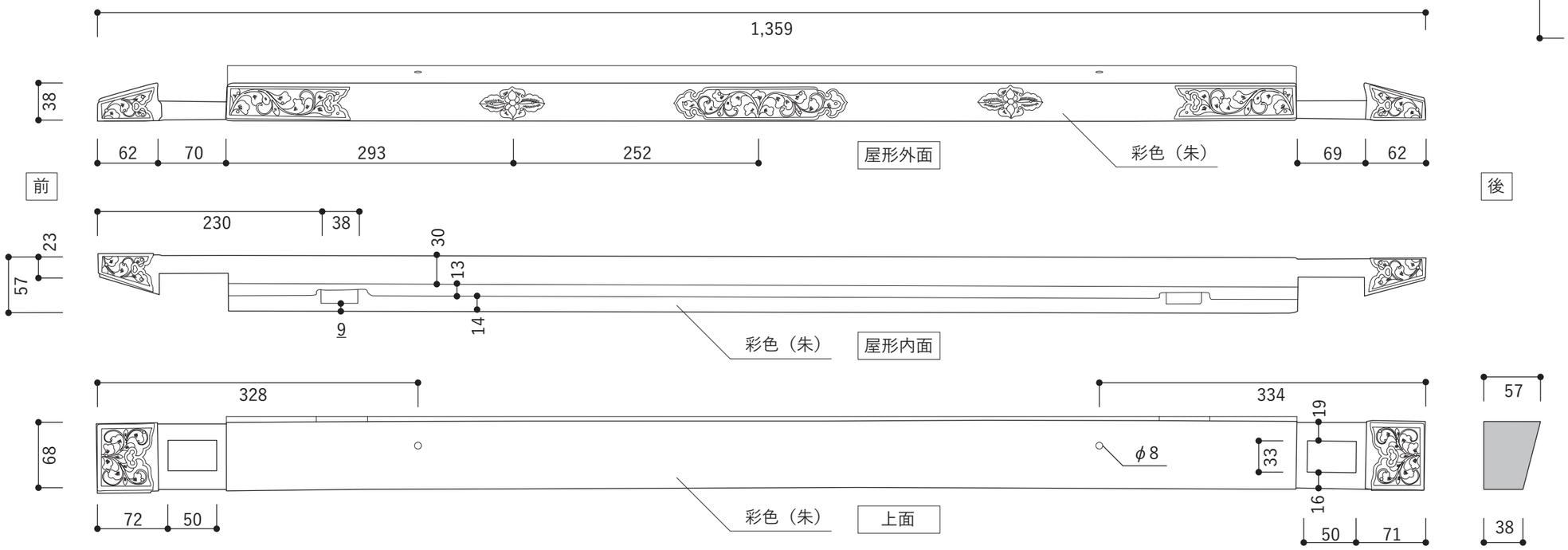
4-3-B：屋形 欄間（後上）

4-3-L：屋形 欄間（左上）

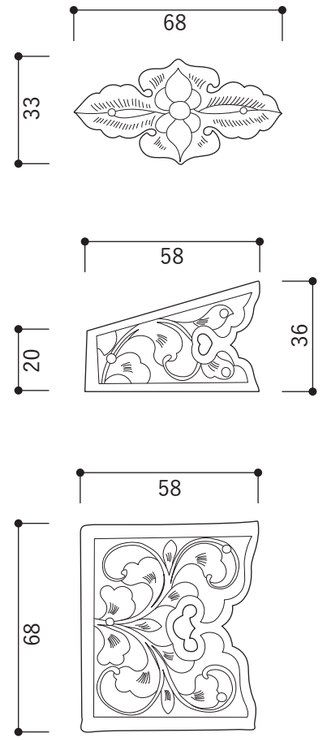
4-3-R：屋形 欄間（右上）



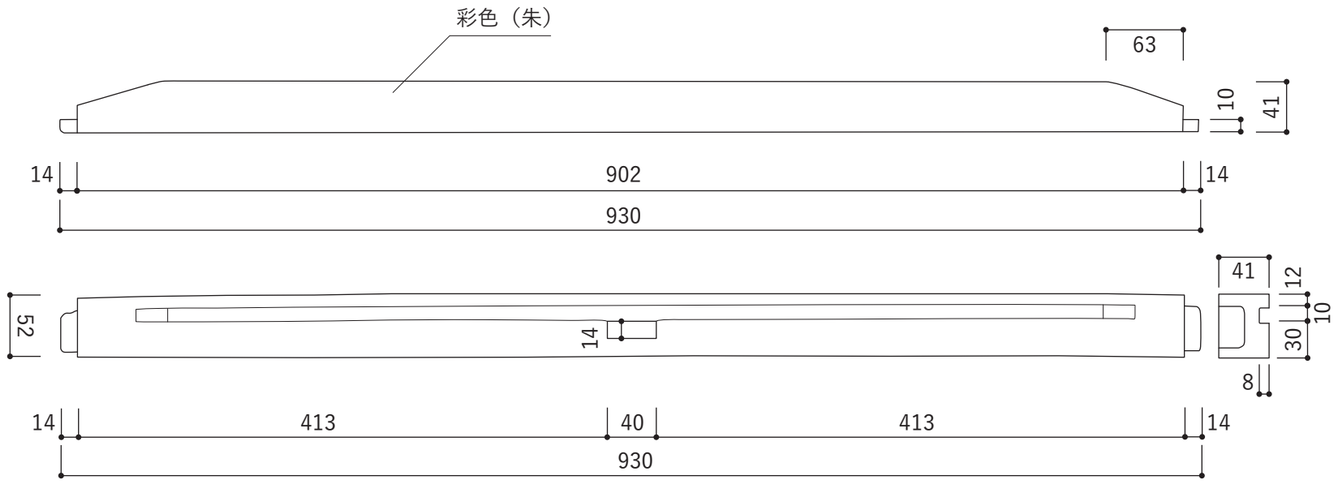
4-5-F（4-5-B）：屋形 虹梁（前）



4-5-L（4-5-R）：屋形 虹梁（前）

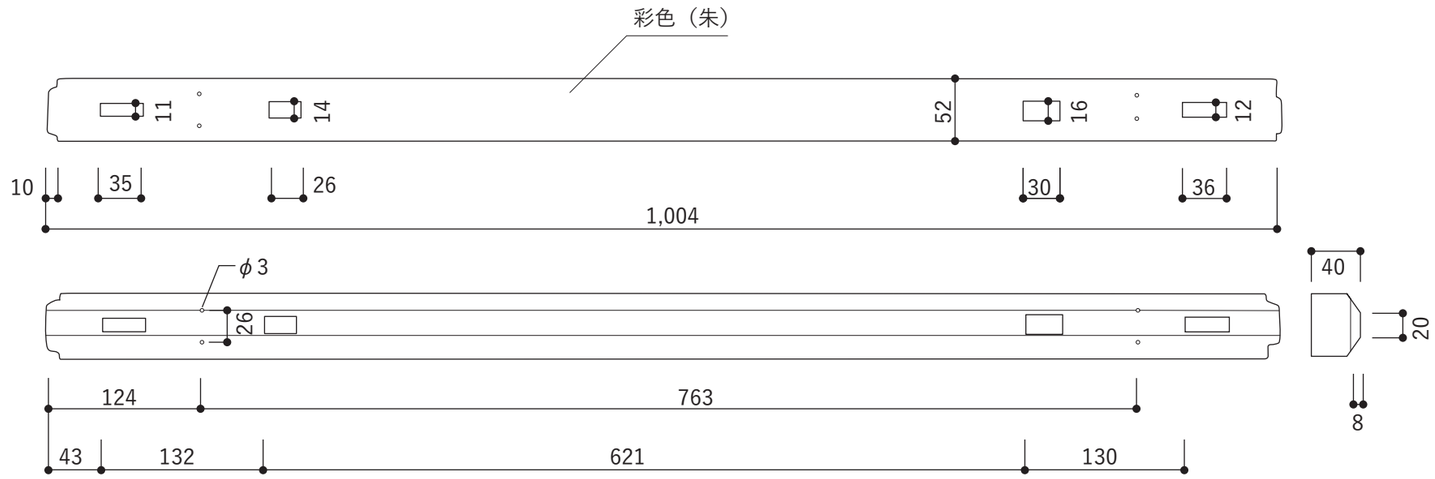


屋形 虹梁
飾金具拡大（1/2）

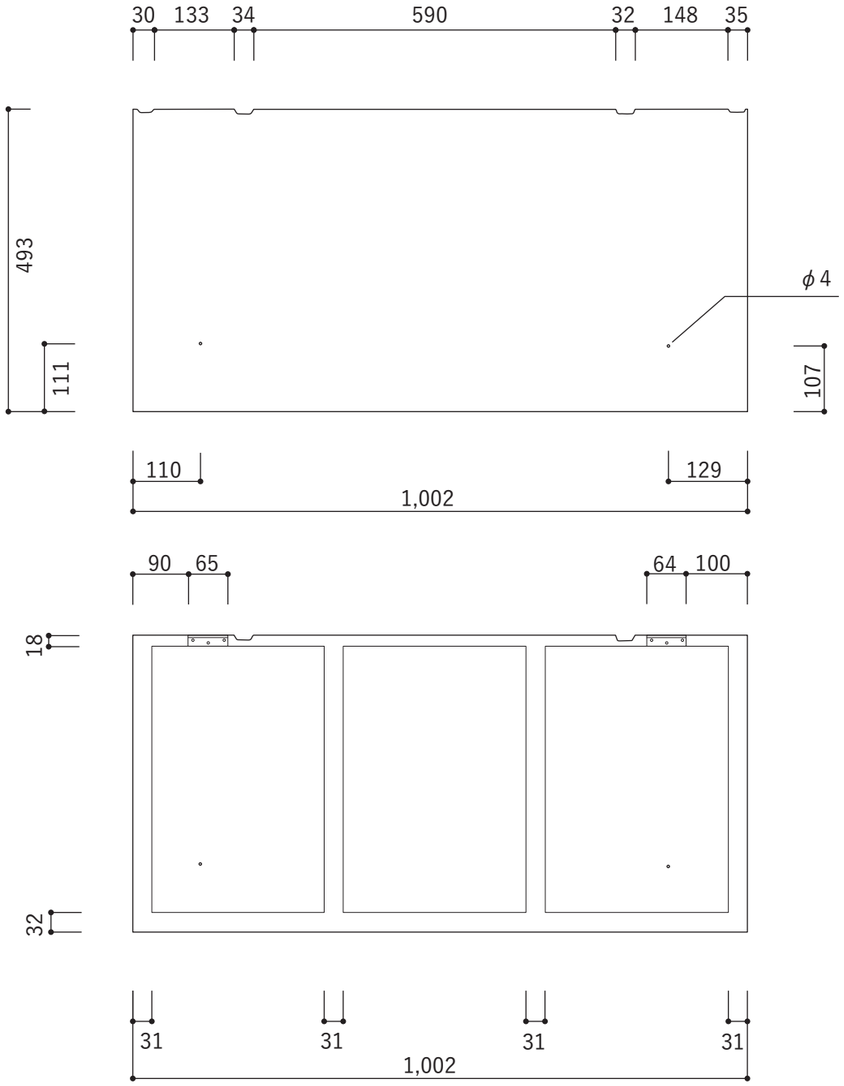


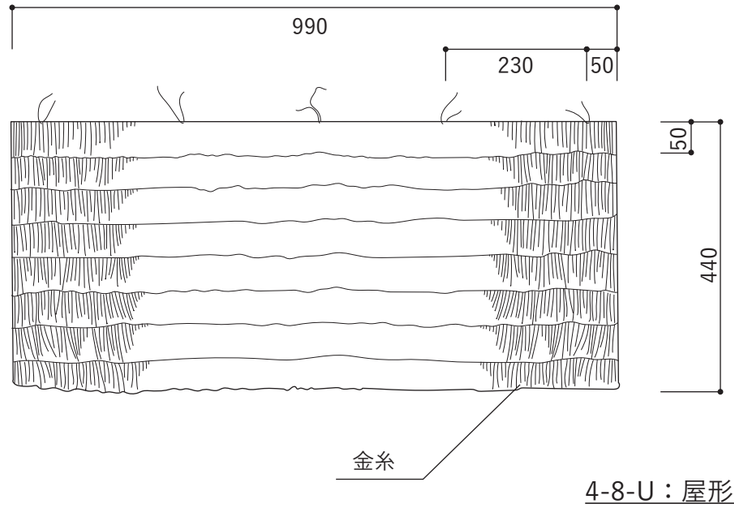
4-6-F（4-6-B）：棟木下の梁（前）

4-7：棟木

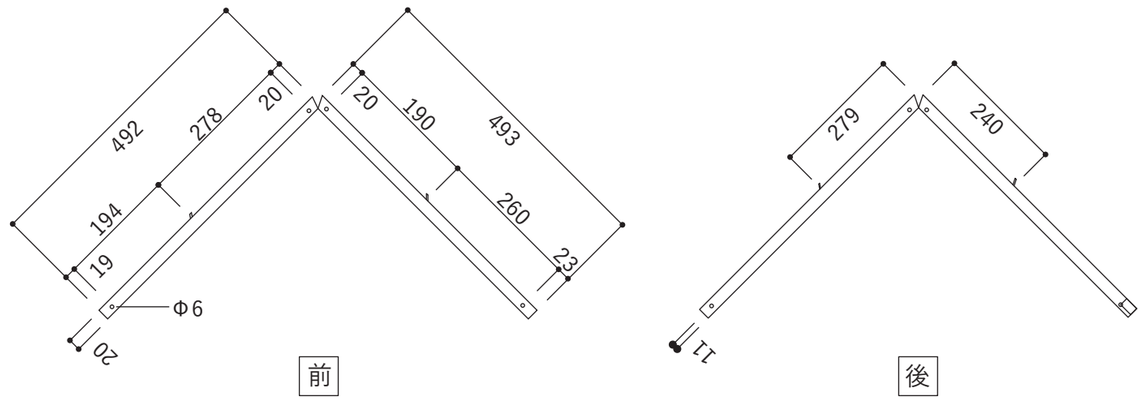


左面

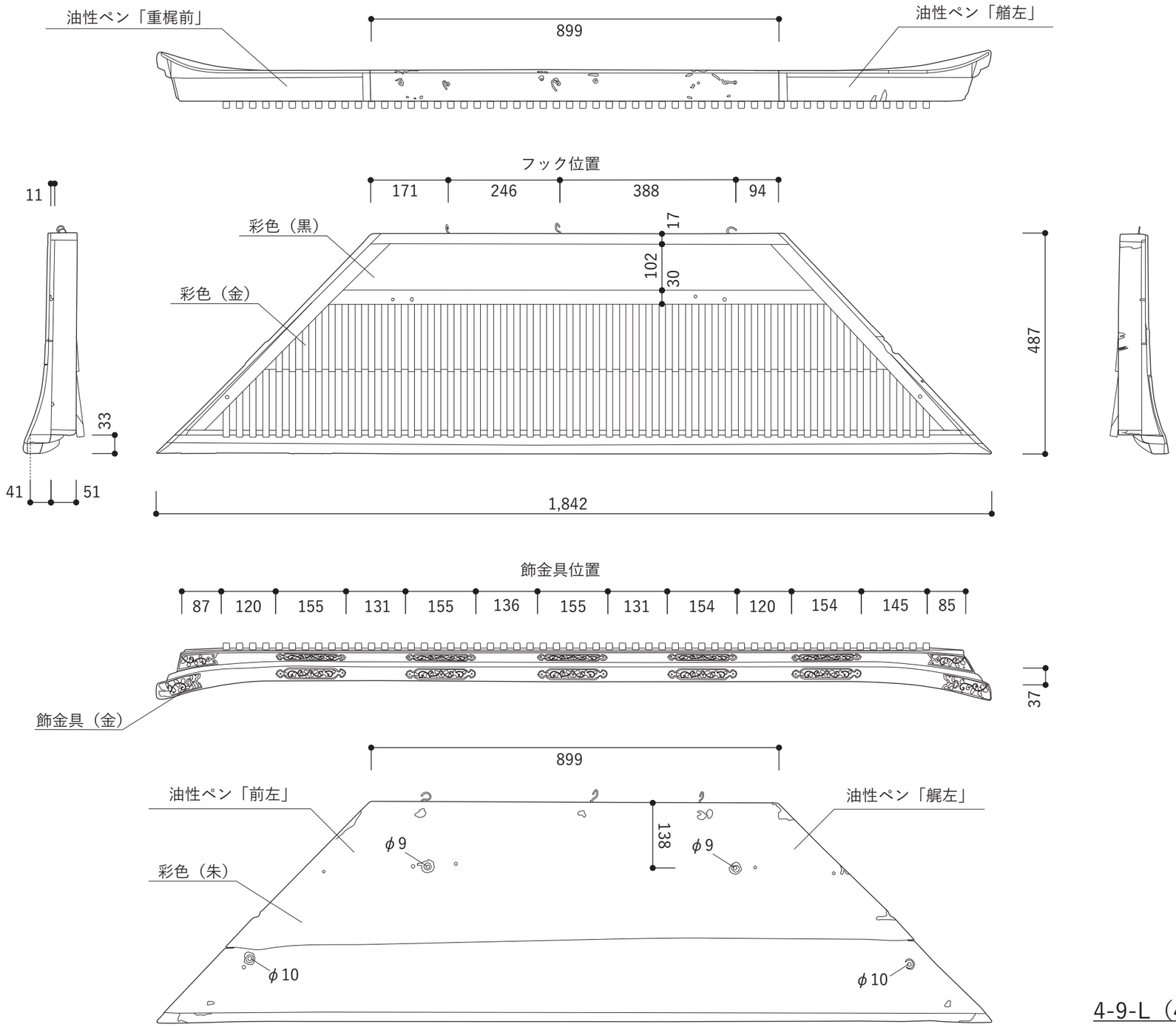




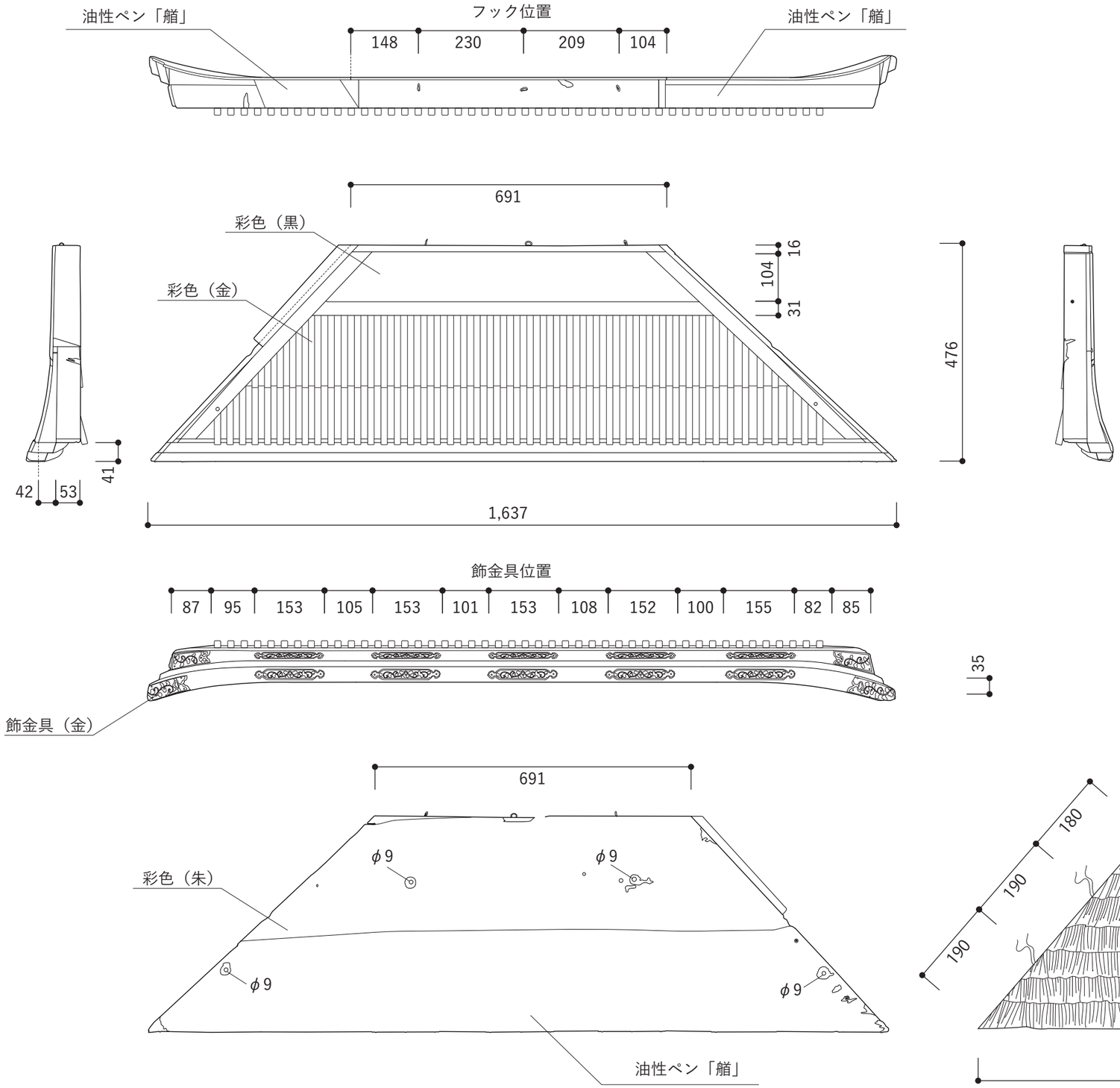
4-8-U：屋形 苫



4-8：屋形 屋根

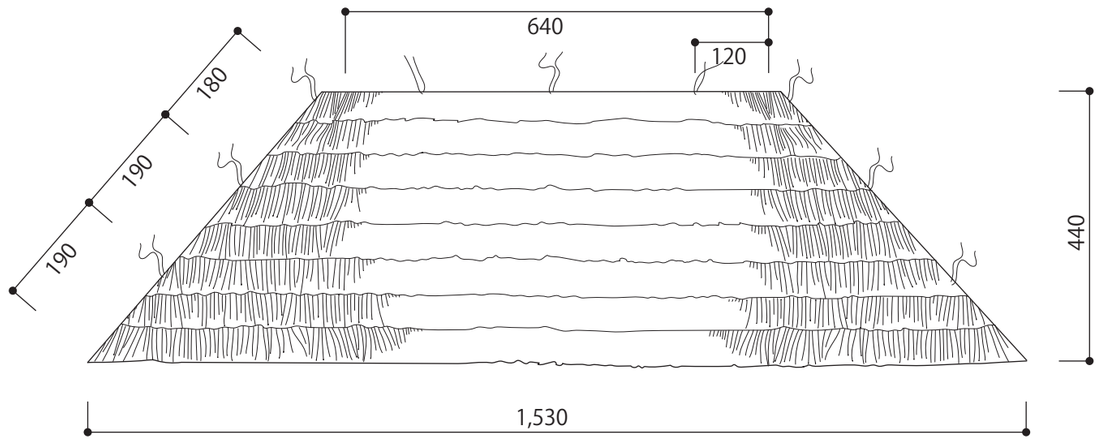

油性ペン「重梶前」
899
油性ペン「艏左」
フック位置
171
246
388
94
11
彩色（黒）
17
102
30
彩色（金）
487
33
41
51
1,842
飾金具位置
87
120
155
131
155
136
155
131
154
120
154
145
85
37
飾金具（金）
899
油性ペン「前左」
油性ペン「艉左」
138
φ9
φ9
彩色（朱）
φ10
φ10

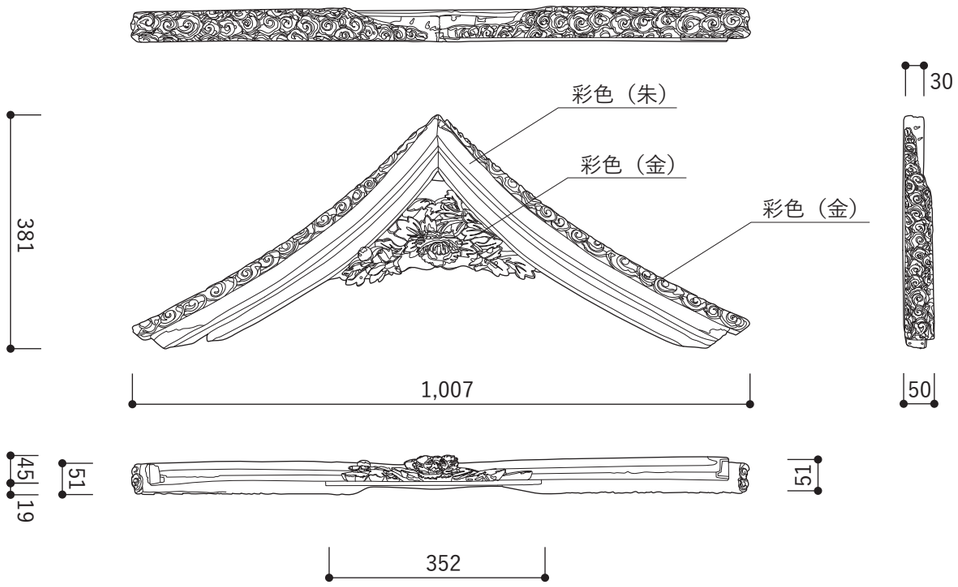
4-9-L（4-9-R）：屋形 庇（左）

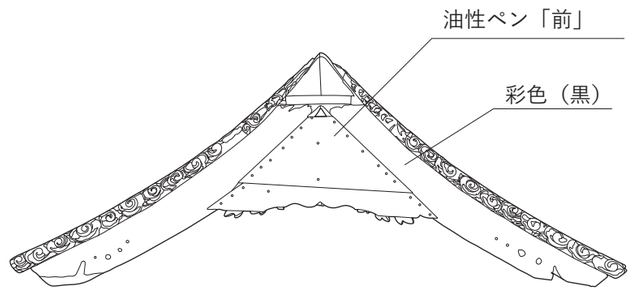


4-9-F（4-9-B）：屋形 庇（前）

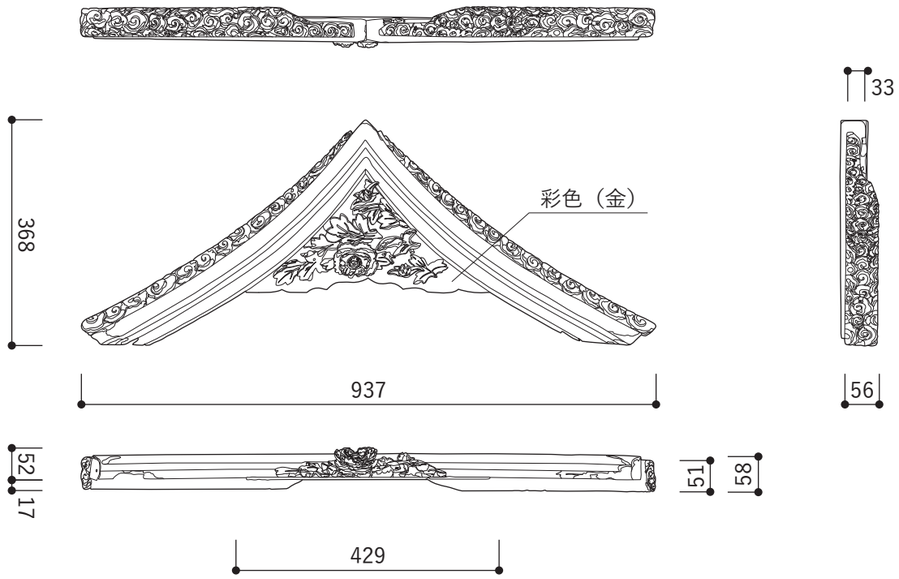
4-9-U：屋形 庇苫（前）

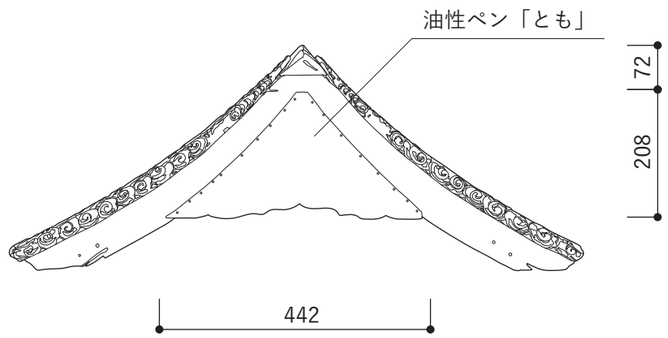






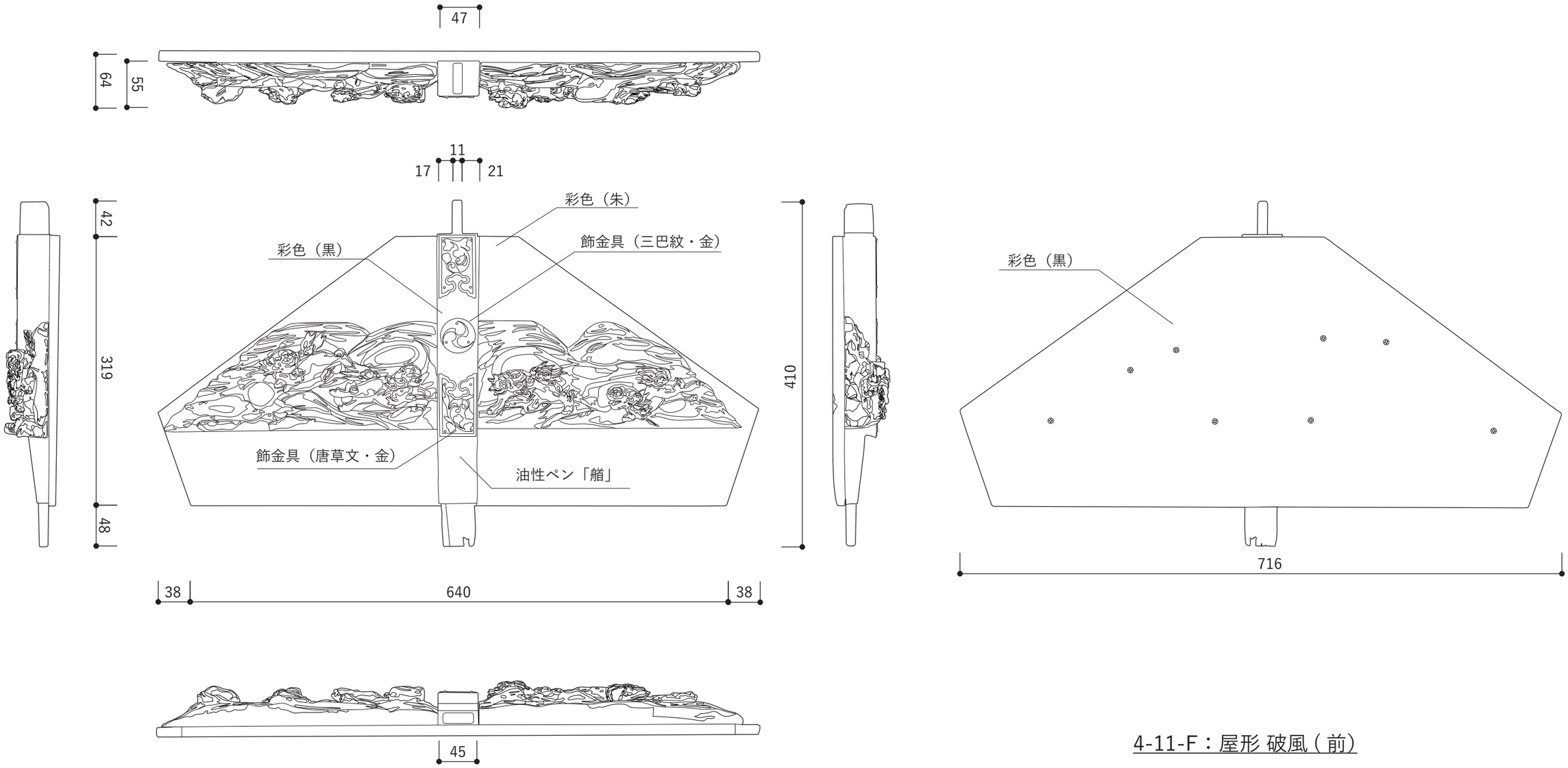
4-10-F：屋形 破風板（前）



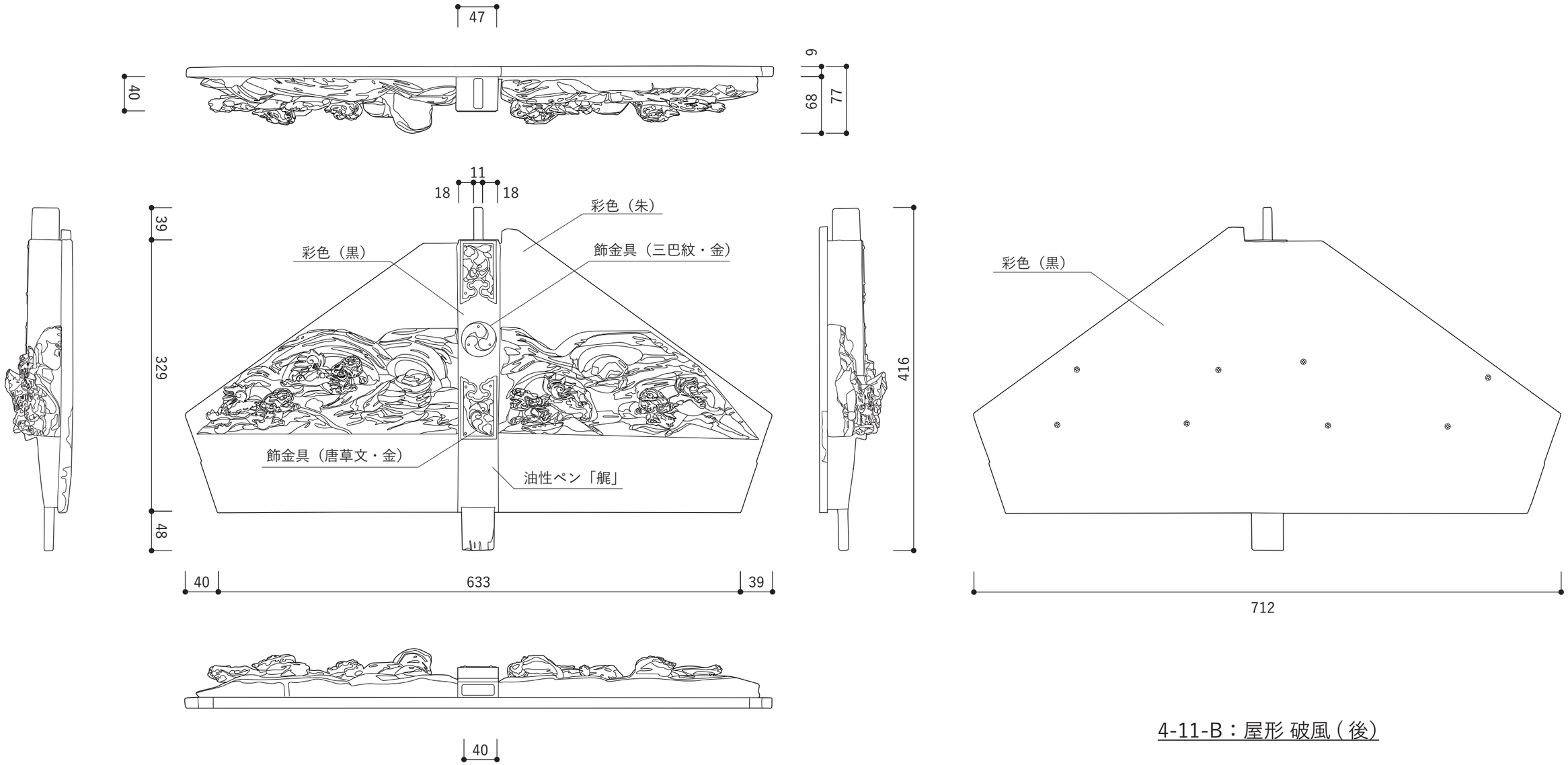


4-10-B：屋形 破風板（後）

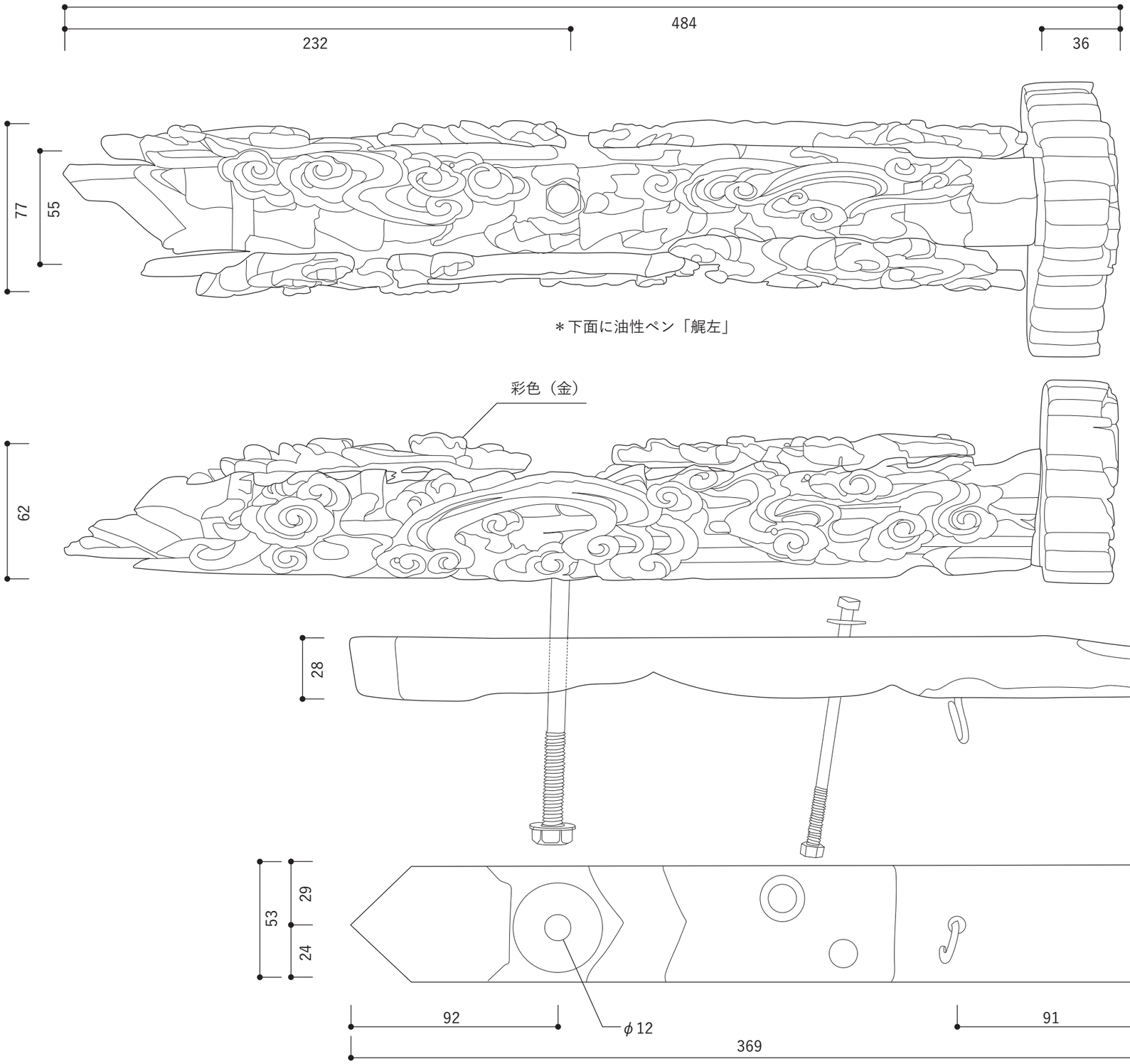
屋形 破風（牡丹の懸魚）（1/10）


47
64
55
11
17
21
42
319
48
彩色（朱）
彩色（黒）
飾金具（三巴紋・金）
飾金具（唐草文・金）
油性ペン「艄」
410
38
640
38
45
彩色（黒）
716

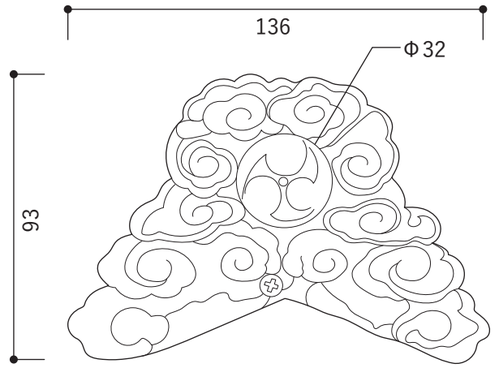
4-11-F：屋形 破風（前）


47
40
9
68
77
11
18
18
39
329
48
彩色（朱）
彩色（黒）
飾金具（三巴紋・金）
飾金具（唐草文・金）
油性ペン「艉」
40
633
39
416
40
彩色（黒）
712

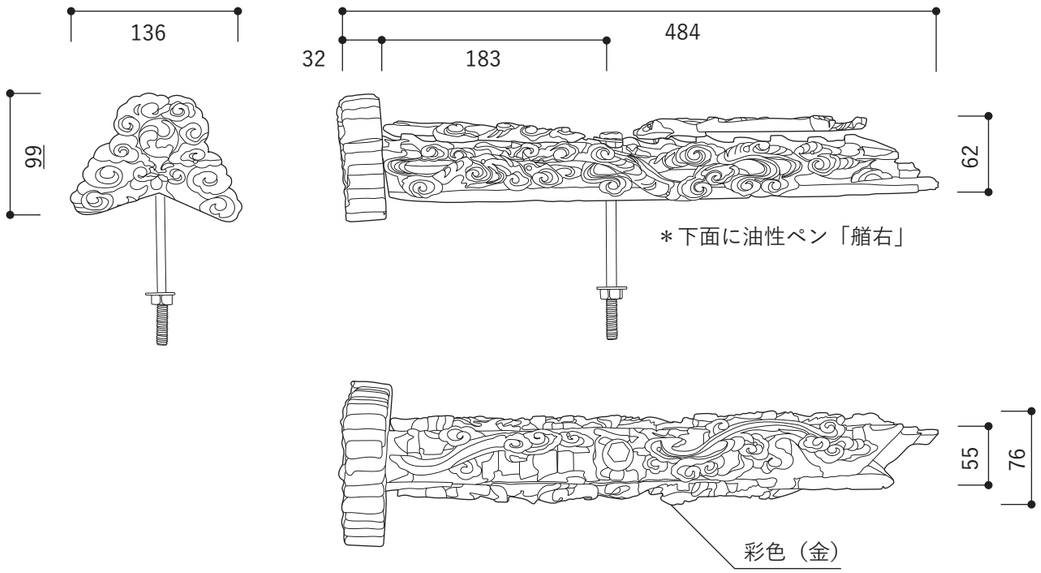
4-11-B：屋形 破風（後）



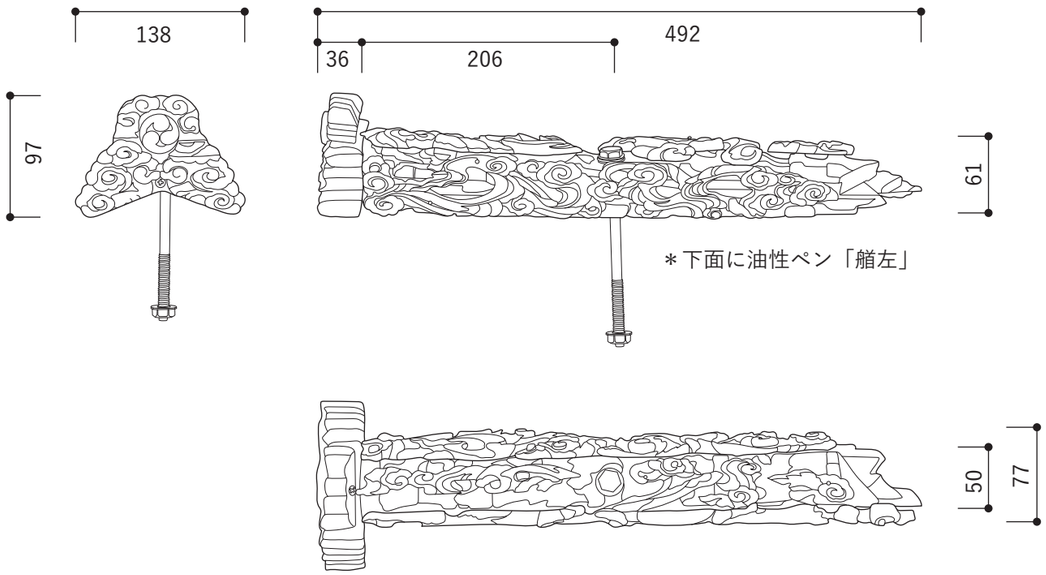
4-12-FL：屋形 隅棟彫刻（左前）

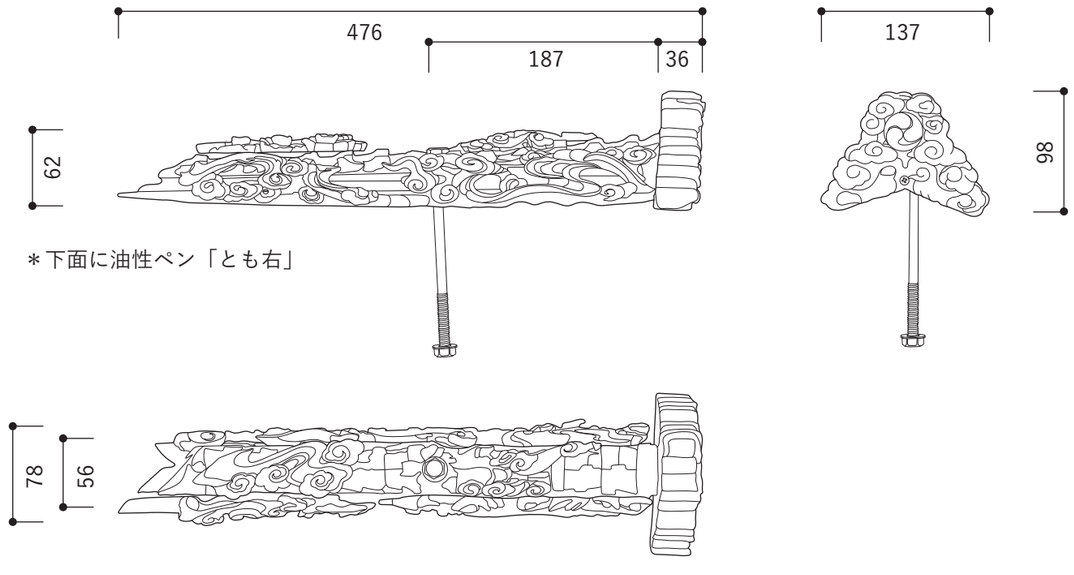


4-13-FL（4-13-FL/FR/BR）：
屋形 隅木（左前）

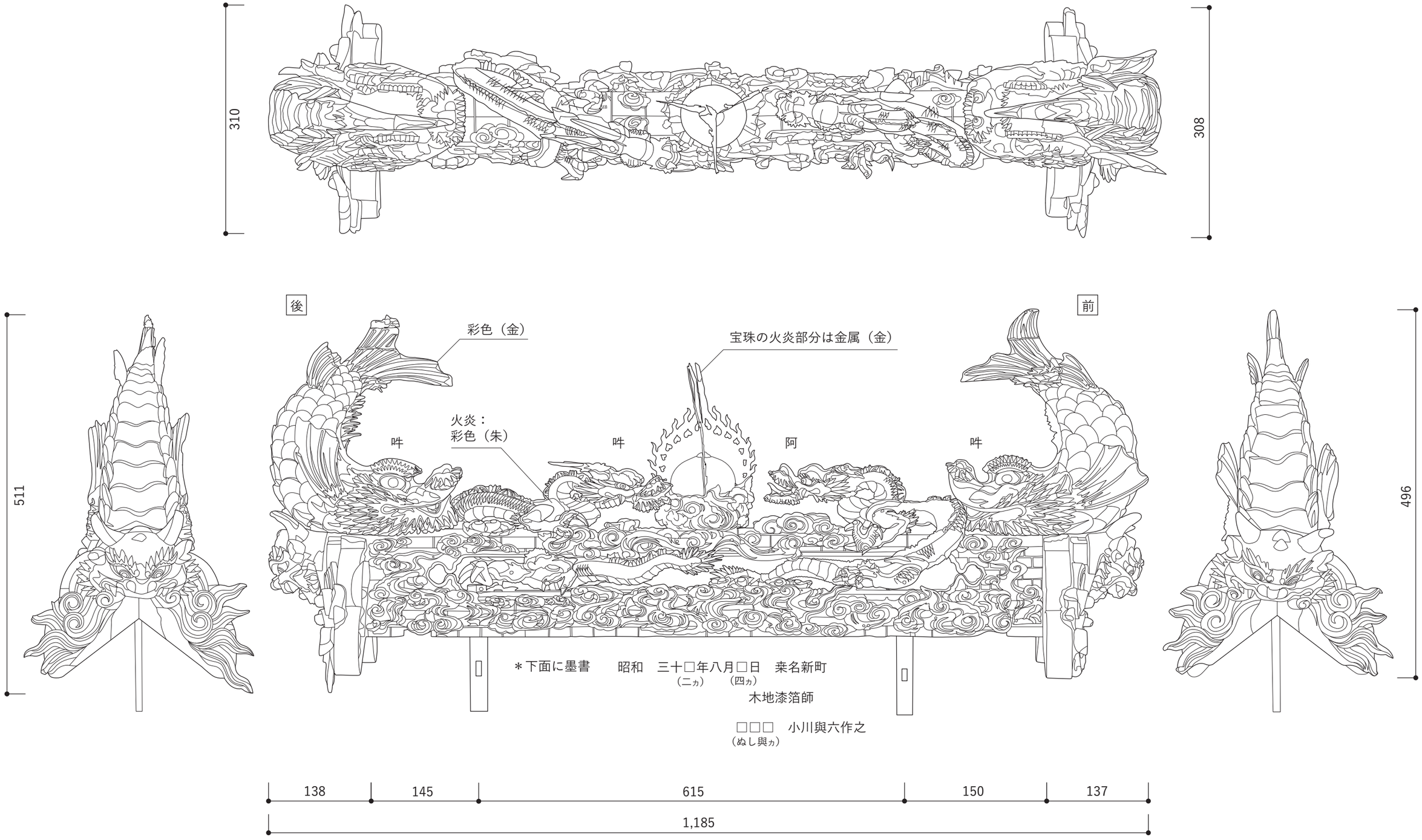


左　）4-12-FR：屋形 隅棟彫刻（右前）
右下）4-12-BR：屋形 隅棟彫刻（右後）
左下）4-12-BL：屋形 隅棟彫刻（左後）



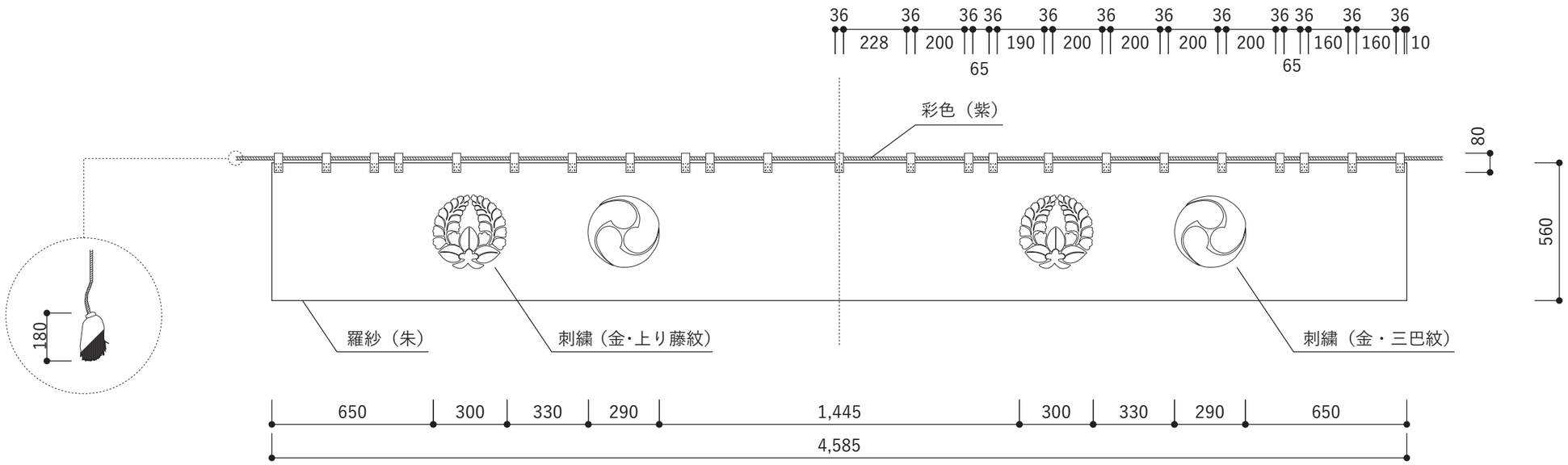


隅棟彫刻（1/5）



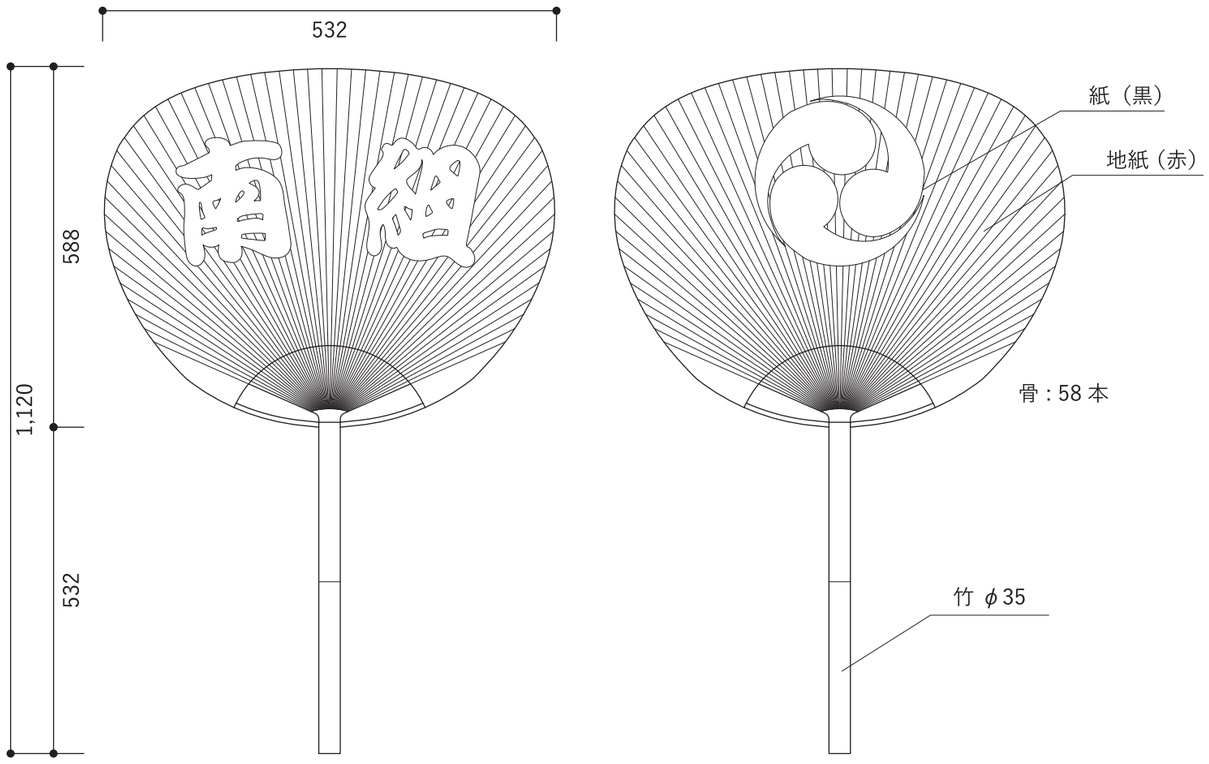
4-14：大棟

52　屋形　大棟（火炎宝珠に一対の竜（前阿後吽）と鯱の彫刻（前後吽））（1/5）

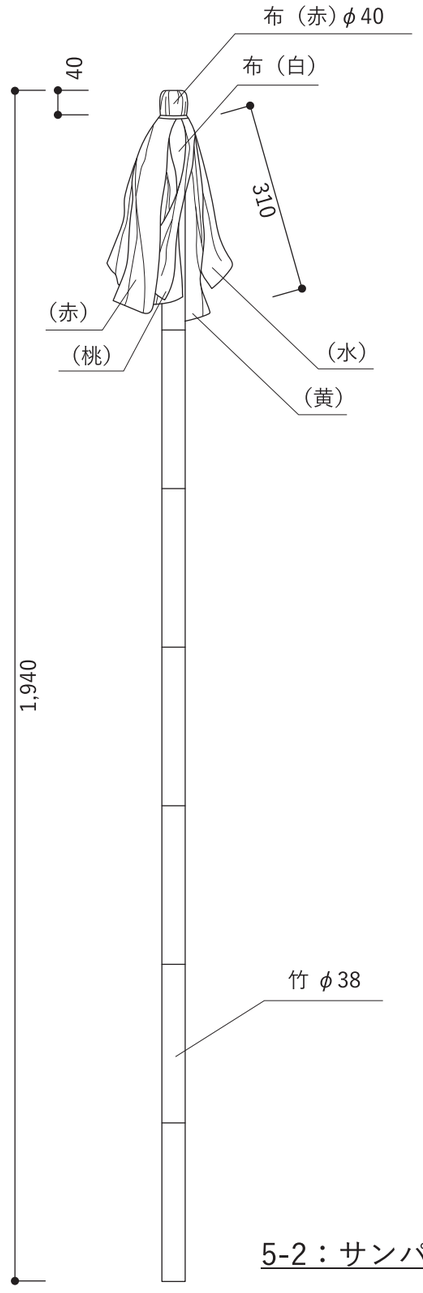


4-15：屋形　横幕

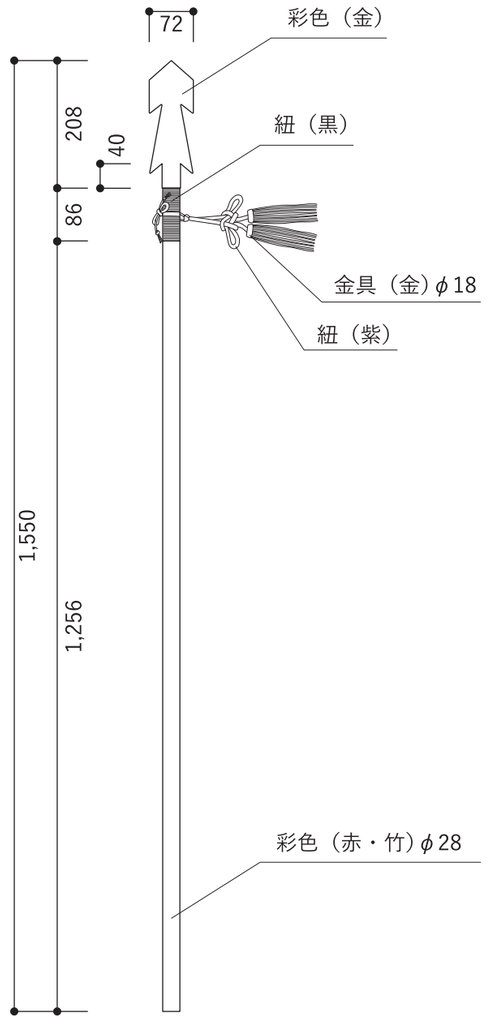
53　屋形 横幕（上り藤と三つ巴紋の刺繍）（1/20）



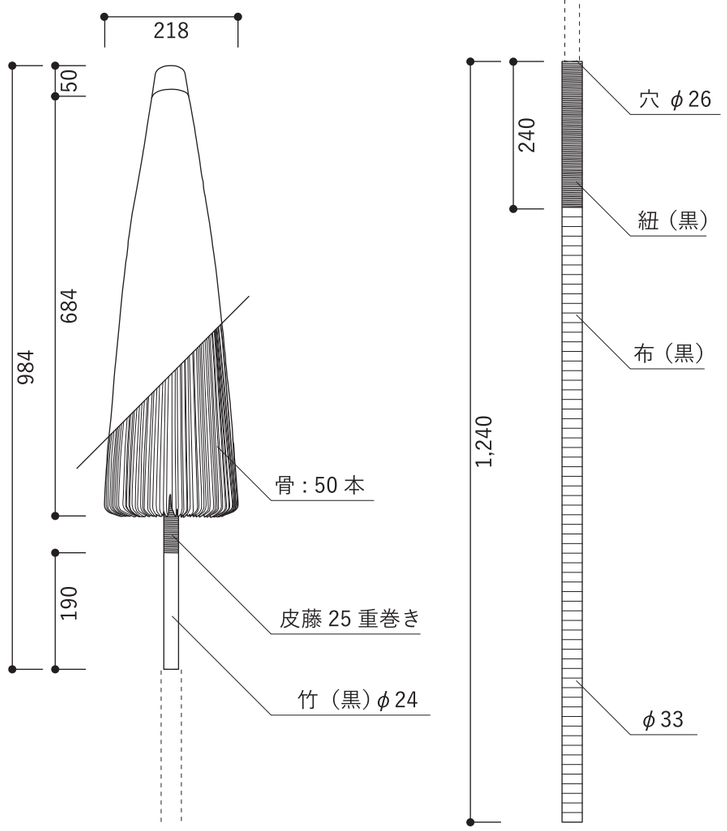
5-1：団扇



5-2：サンパライ

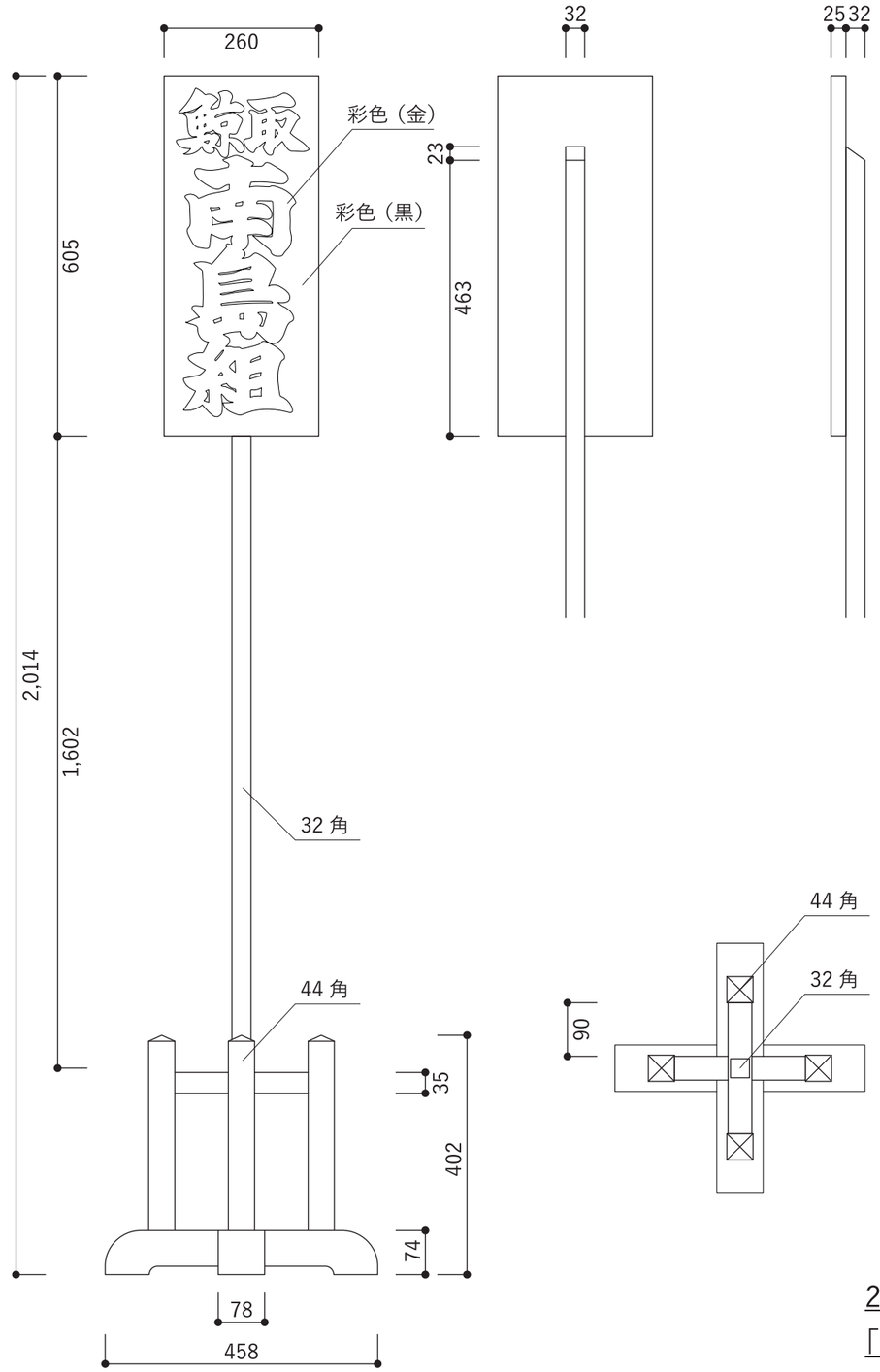


5-5：羽刺の使用する銛

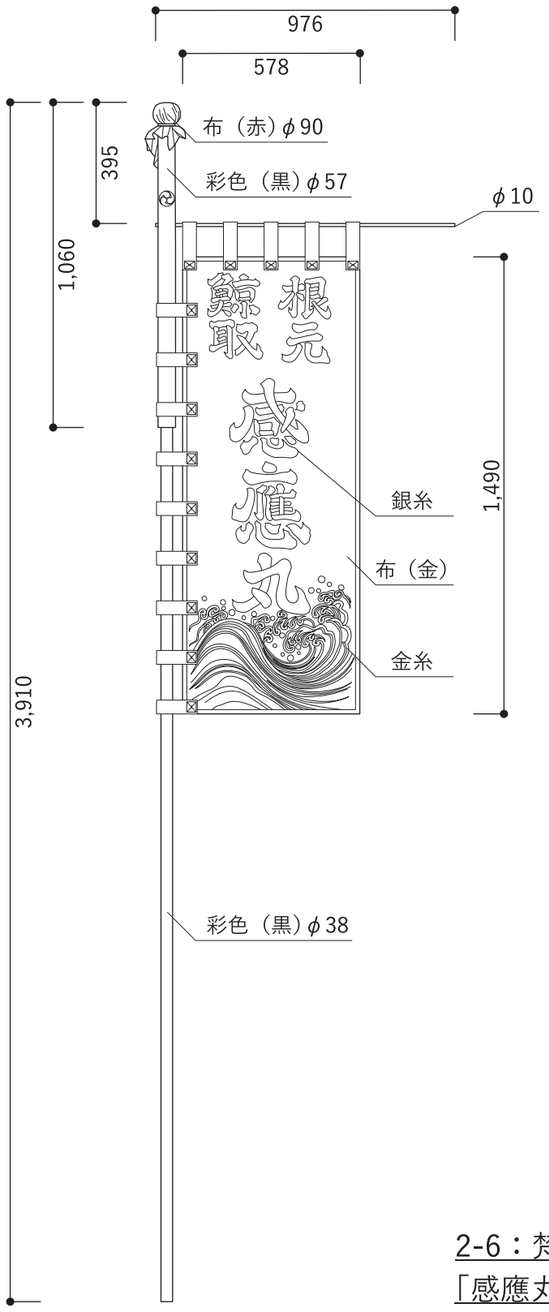


開いた状態：直径 1,300mm

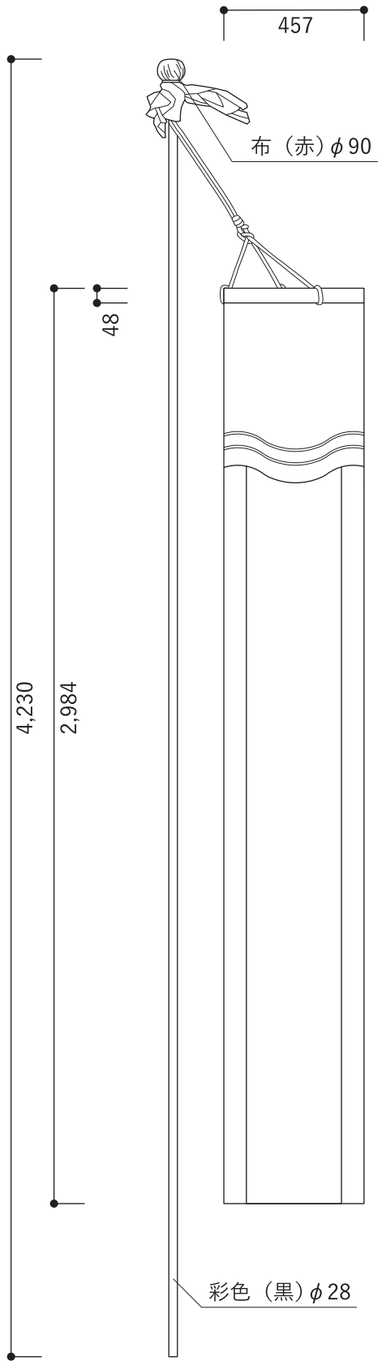
2-3：番傘



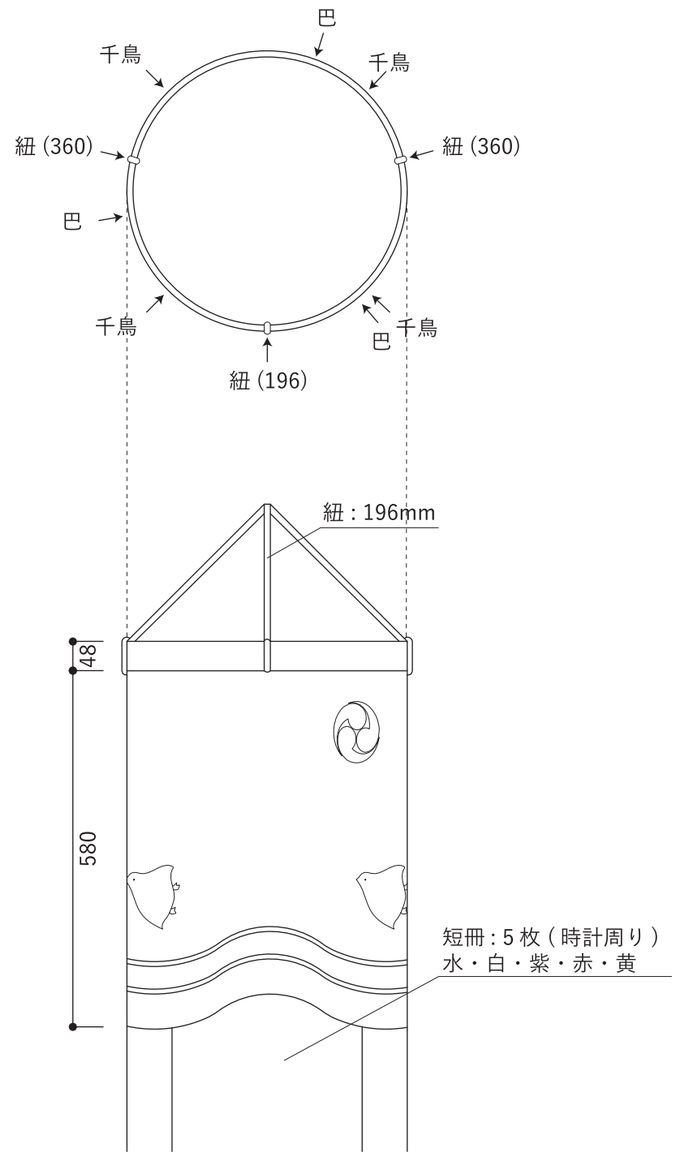
2-4：梵天（板）
「鯨取 南島組」



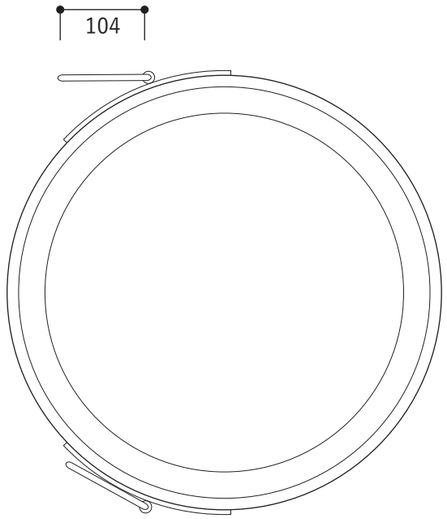
2-6：梵天旗
「感應丸」

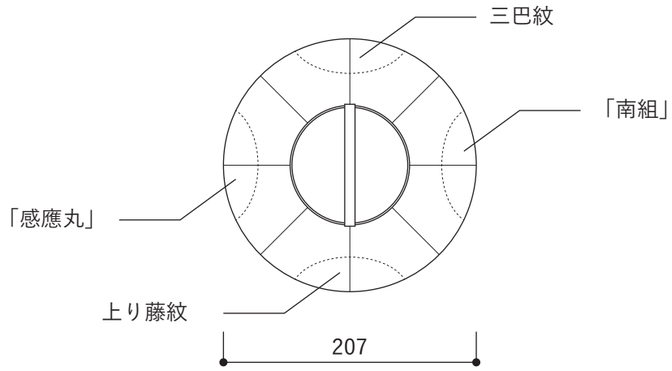


2-7：吹流し

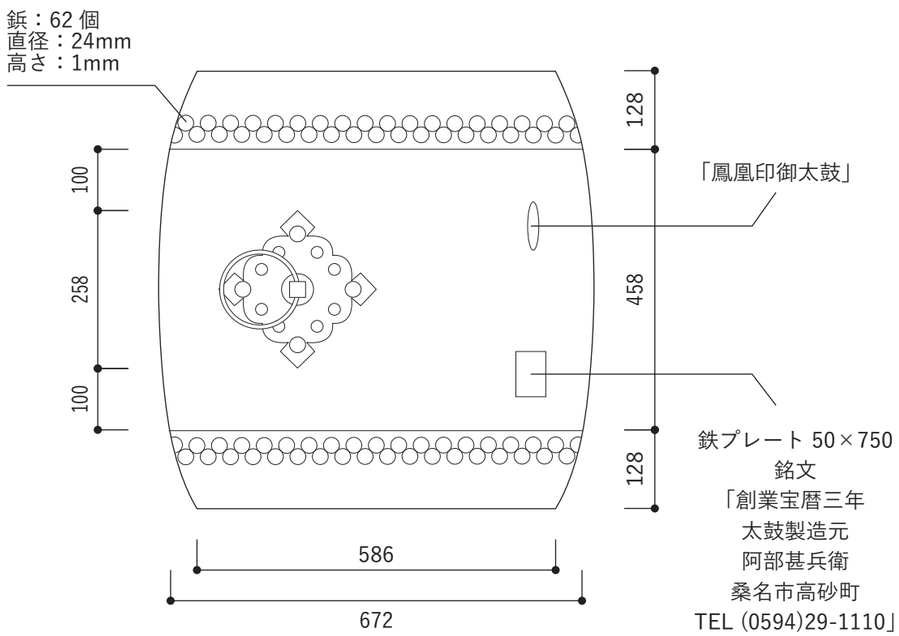


吹流し拡大（1/10）

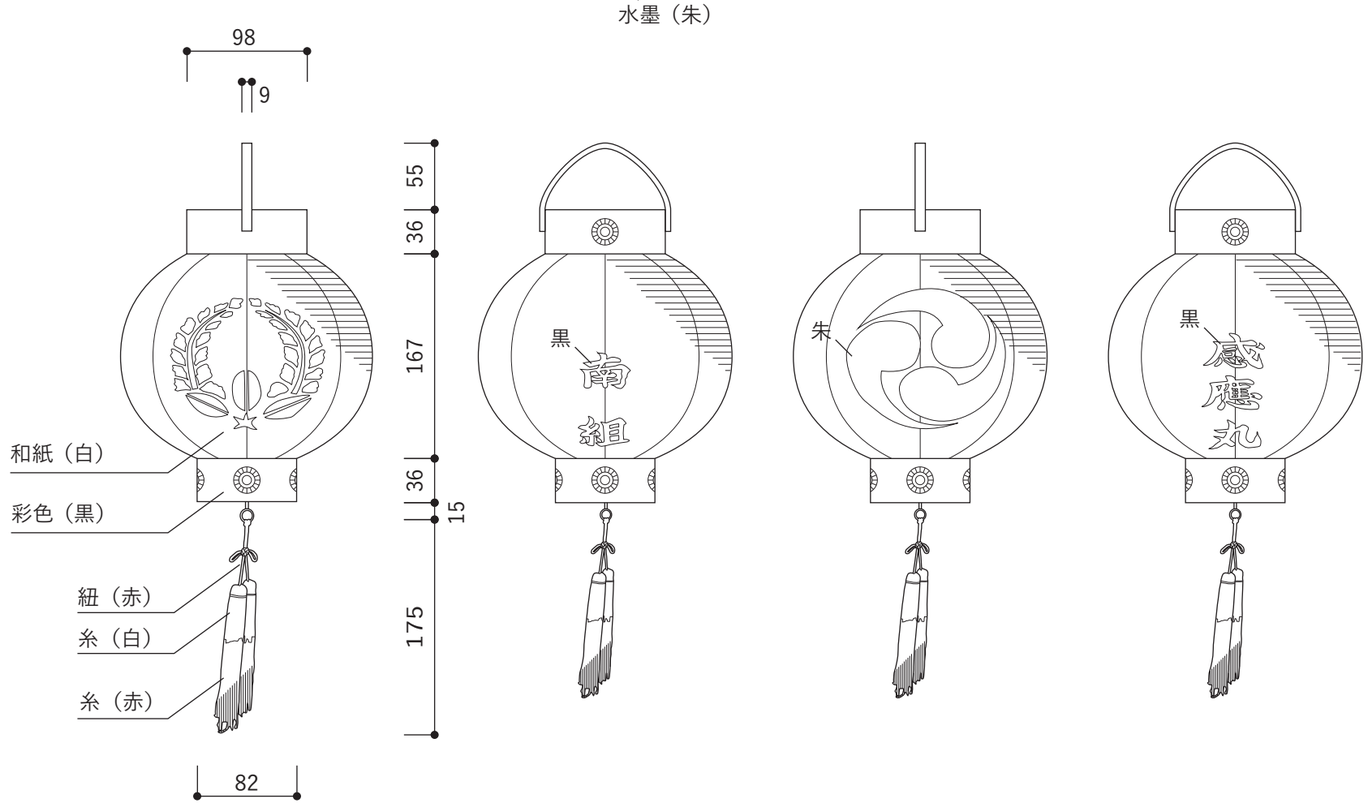

104


三巴紋
「南組」
「感應丸」
上り藤紋
207

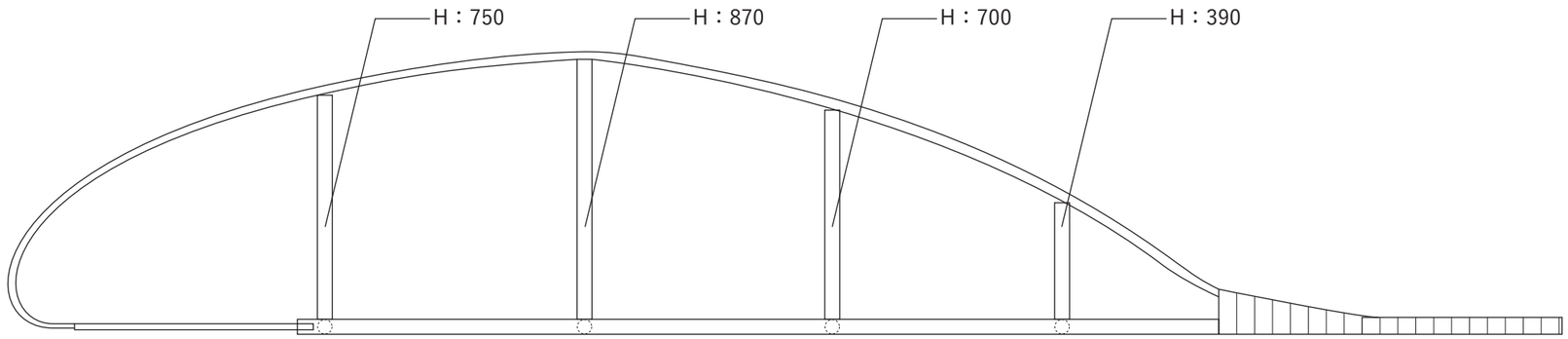
水墨（黒）
水墨（朱）

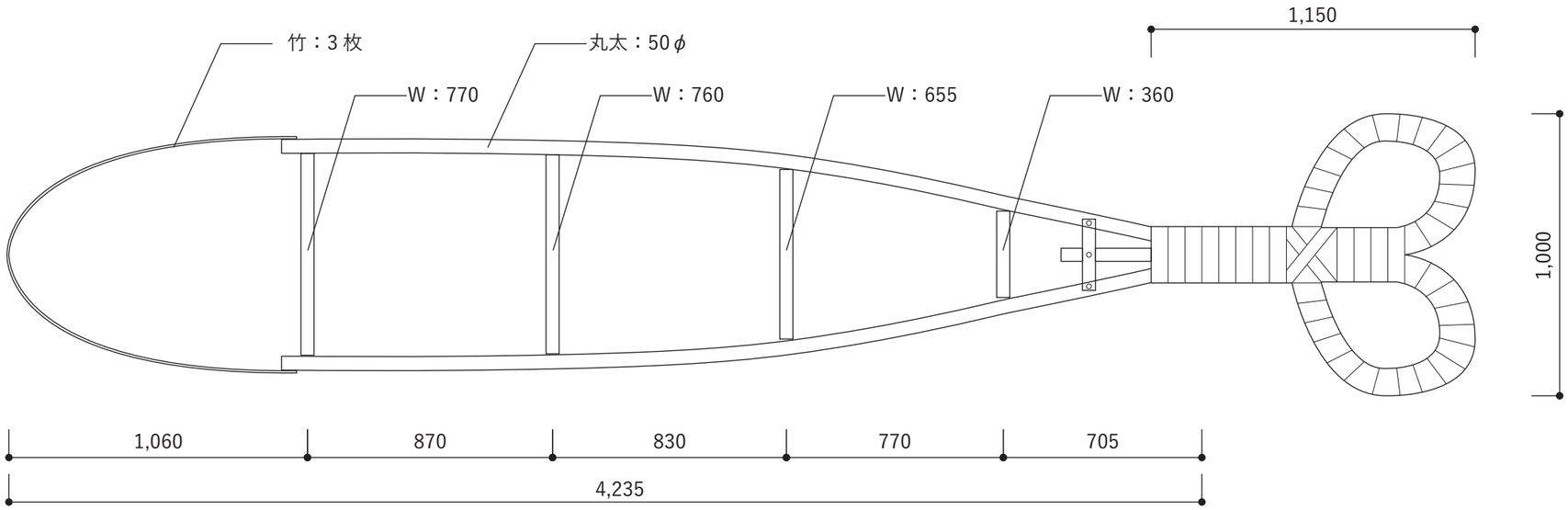

鋲：62 個
直径：24mm
高さ：1mm
128
100
258
100
458
128
「鳳凰印御太鼓」
鉄プレート 50×750
銘文
「創業宝暦三年
太鼓製造元
阿部甚兵衛
桑名市高砂町
TEL (0594)29-1110」
586
672

1-1：太鼓

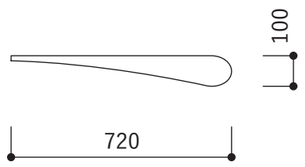

98
9
55
36
167
36
15
175
和紙（白）
彩色（黒）
紐（赤）
糸（白）
糸（赤）
82
黒
南
組
朱
黒
感
應
丸

5-9：提灯

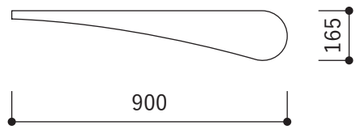




6：鯨ハリボテ



腹ヒレ



背ビレ

鯨ハリボテ構造図（1/20）